

公共交通の利用に関する調査（結果）

平成30年3月29日

つくば市 都市計画部 総合交通政策課



1 . アンケート実施概要

平成29年10月から11月にかけて、「公共交通の利用に関する調査」として、一般市民（無作為抽出）、路線バス・つくバス利用者（以下路線バス・つくバス（街頭配布）、つくタク利用者（利用者リストより抽出）を対象に、アンケート調査を実施した。

【調査概要】

対象者	調査期間	配布票数	回収票数	調査概要
(1) 一般市民	平成29年 10月18日～ 10月30日	4,000票 (郵送配 布・ 郵送回収)	910票 (22.8%)	<ul style="list-style-type: none"> ・個人属性 ・普段の交通の利用状況 ・公共交通の利用実態・不満点 ・市民の地域公共交通の維持・運営への取り組み意向
(2) 路線バス・ つくバス利 用者	平成29年 10月15日 ～10月30日	2,000 (街頭配 布・ 郵送回収)	322票 (16.1%)	<ul style="list-style-type: none"> ・路線バス・つくバス（その他公共交通）の利用状況 ・路線バス・つくバス（その他公共交通）の満足度 ・市民の地域公共交通の維持・運営への取り組み意向
(3) つくタク 利用者	平成29年 10月18日 ～11月6日	1,000 (郵送配 布・ 郵送回収)	215票 (21.5%)	<ul style="list-style-type: none"> ・つくタク（その他公共交通）の利用状況 ・つくタク（その他公共交通）の満足度 ・市民の地域公共交通の維持・運営への取り組み意向



平成29年度アンケート集計 (過年度との比較)

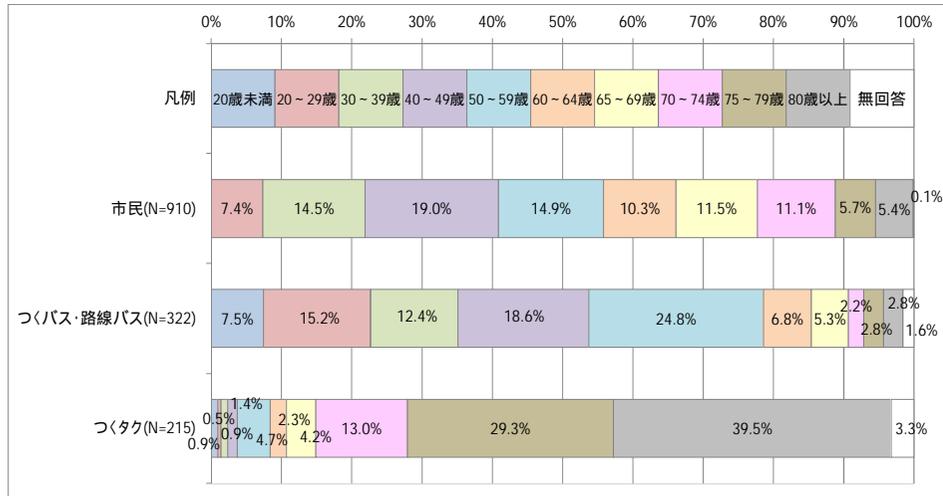
- 集計したグラフ等については、一般市民は(市民)、路線バス・つくバス利用者は(路線バス・つくバス)、つくタク利用者は(つくタク)と表記した。

2 . 調査概要（個人属性：年齢、職業、利用目的）

- 年齢は，市民及び路線バス・つくバスに比べ，つくタクでは75歳以上が過半数を占める。
- 職業及び利用目的を見ると，つくタクではそれぞれ，「無職」，「通院」が多くを占める。

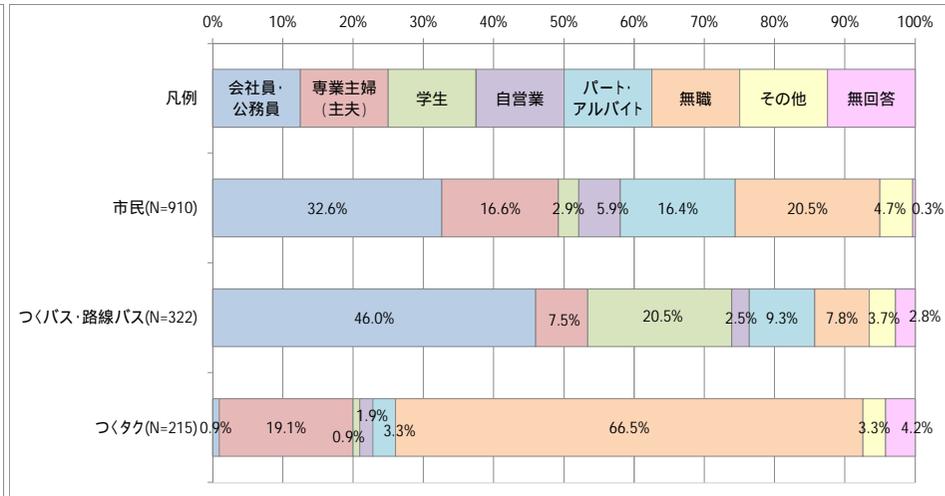
・年齢

市民、路線バス・つくバス、つくタク【問1-2】



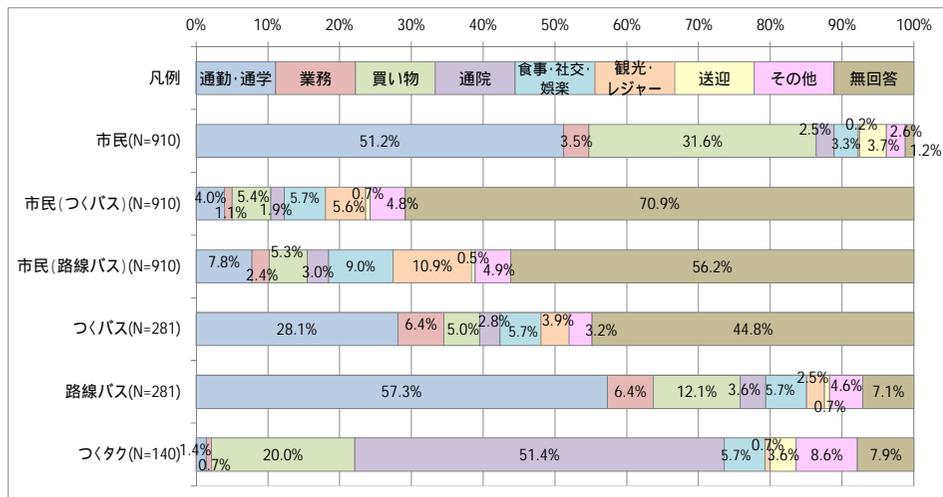
・職業

市民、路線バス・つくバス、つくタク【問1-4】



・利用目的

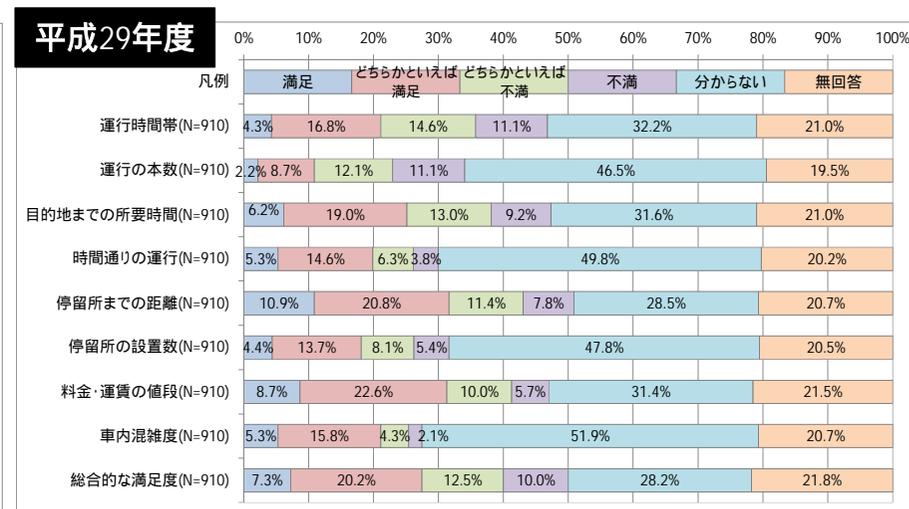
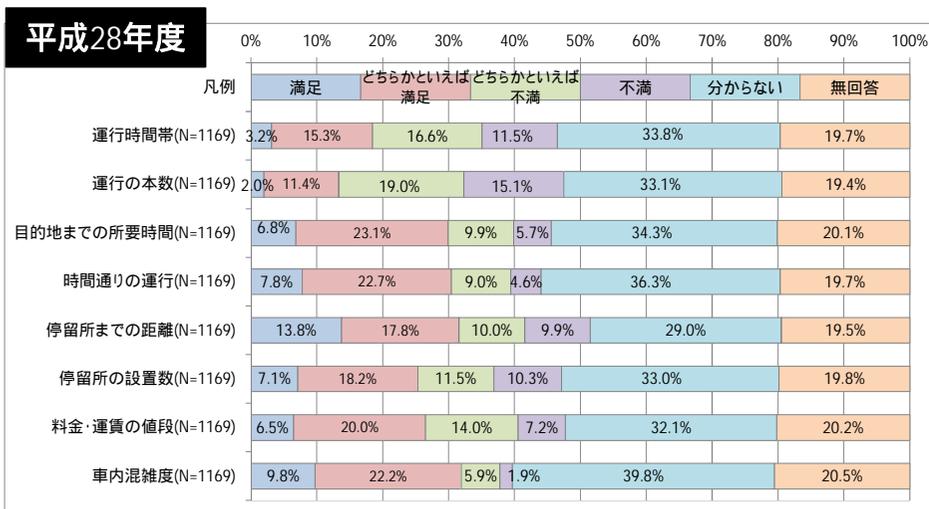
市民【問2-1-1、問3-4、問3-8】、路線バス・つくバス【問2-3、問2-7】、つくタク【問2-6】



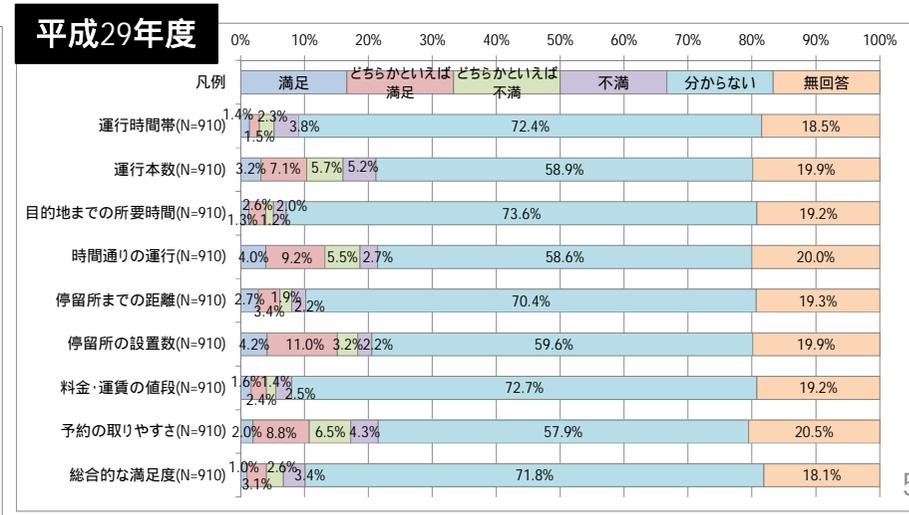
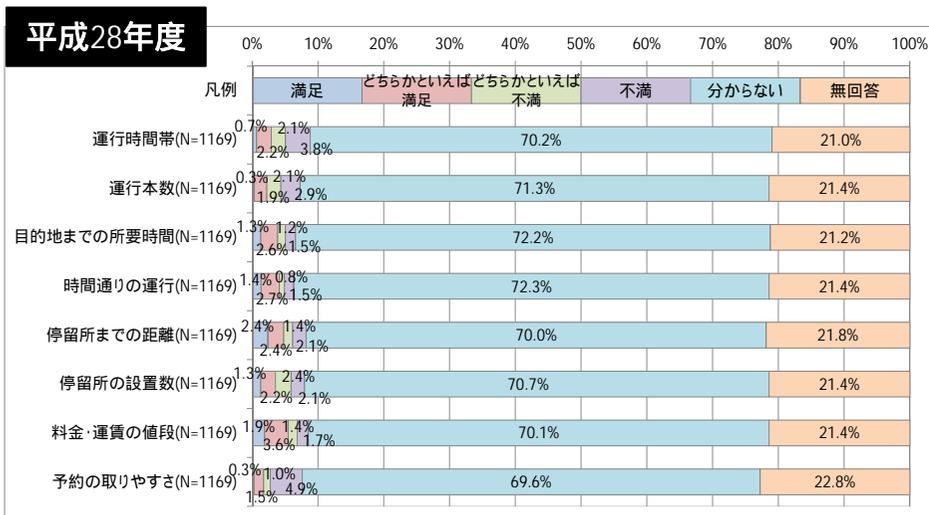
2. 調査概要（満足度の変化：市民アンケート）

- つくバス・路線バスでは、分からないという回答が多い。
- つくタクでは、運行本数，時間通りの運行，停留所の設置数，予約の取りやすさの満足度が高くなった。

つくバス・路線バスの満足度 市民【問4-15】



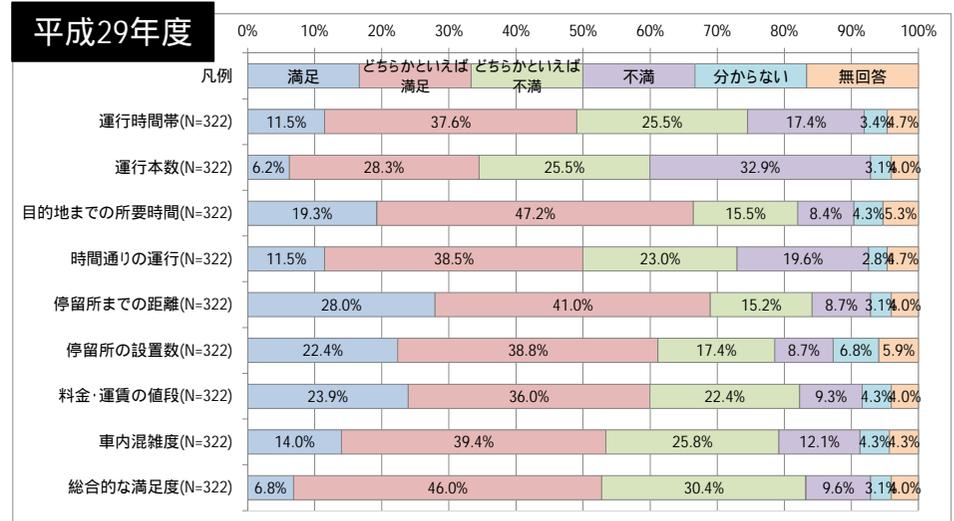
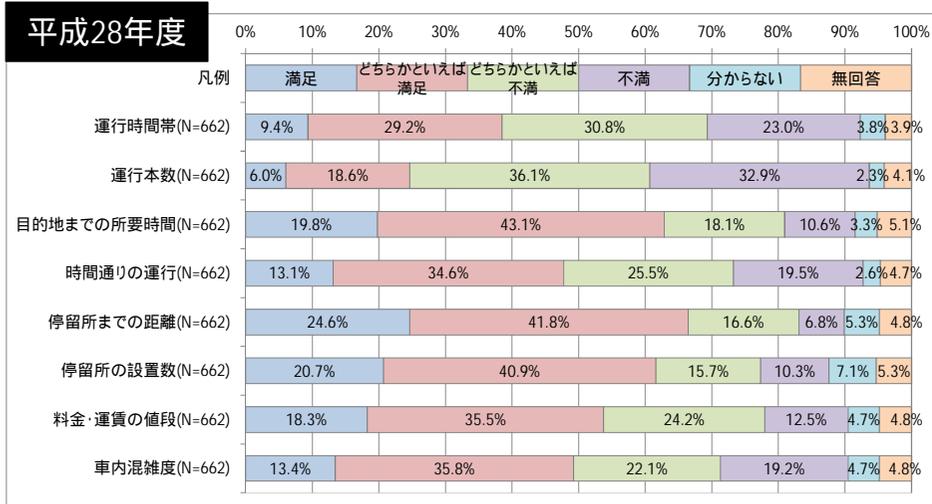
つくタクの満足度 市民【問4-15】



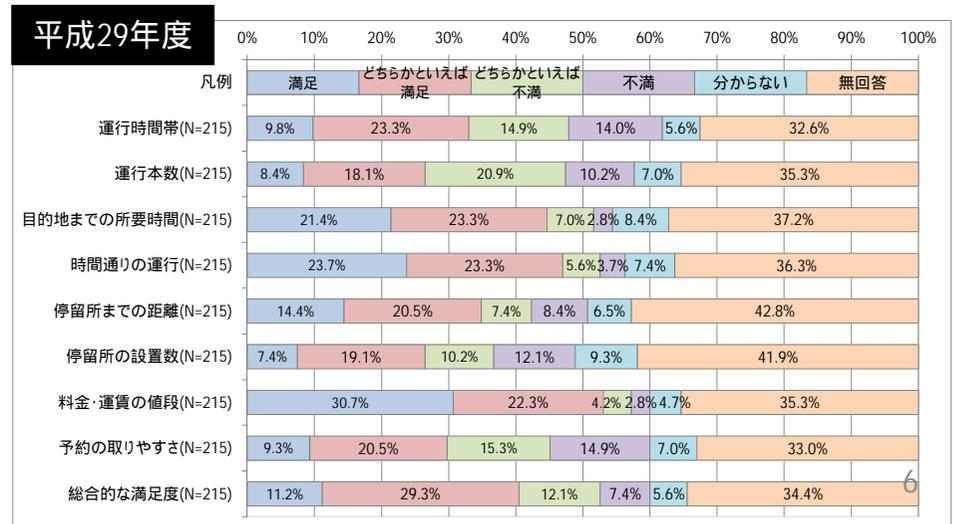
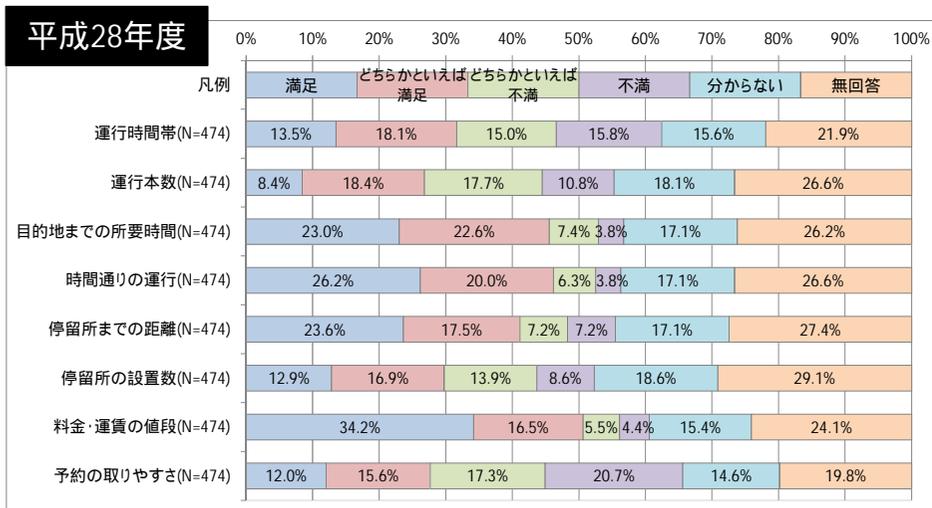
2. 調査概要 (満足度の変化：路線バス・つくバス・つくタク)

- 路線バス・つくバスでは，全体的な傾向に大きな変化が無い。
- つくタクでは，全体的に無回答の回答が増加している。

・路線バス・つくバス 路線バス・つくバス【問3-10】



・つくタクアンケート つくタク【問3-11】

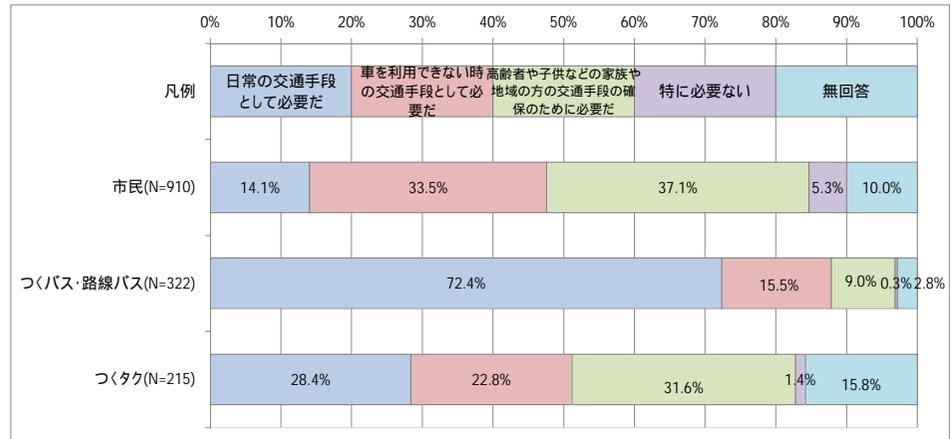


3 . 調査概要 (公共交通への協力)

・公共交通運行への意見，つくば市主体の取り組みの必要性について，各項目ともに必要性が理解されていることが分かる。また，つくたくを値上げした場合も利用頻度は下げないという回答が多い。

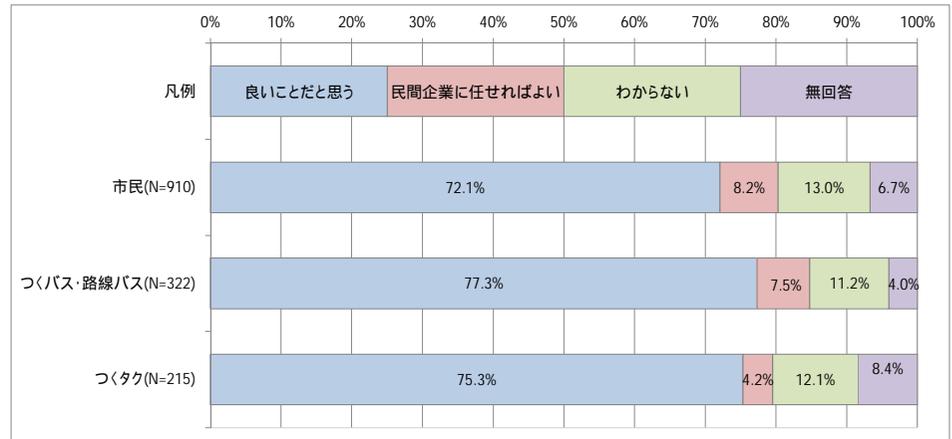
・公共交通運行への意見

市民【問4-15】
路線バス・つくバス【問4-15】
つくタク【問4-15】



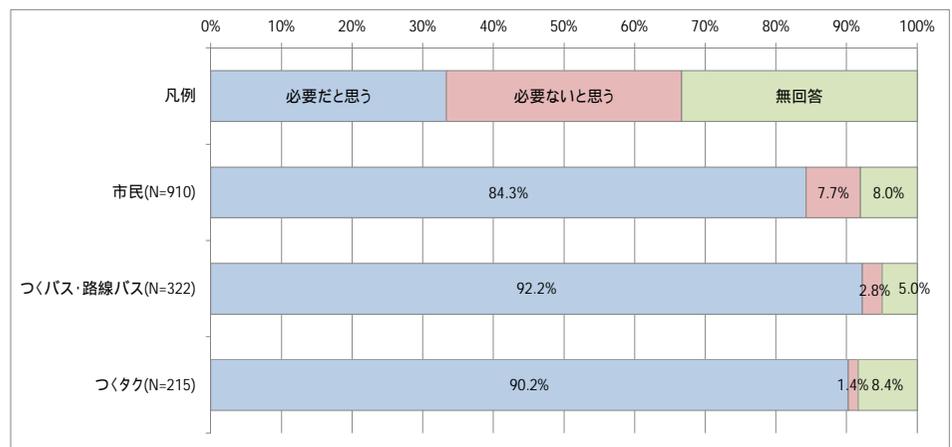
・つくば市主体の取り組みの必要性

市民【問4-15】
路線バス・つくバス【問4-15】
つくタク【問4-15】



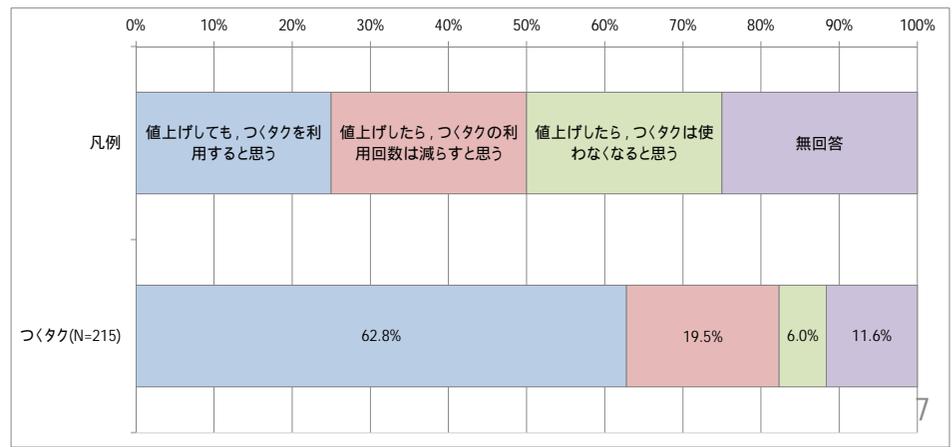
・採算性の確保のためのつくば市の取り組みの必要性

市民【問4-8】、路線バス・つくバス【問3-3】、つくタク【問3-3】



・値上げした場合の利用頻度 (つくタクアンケートのみ)

つくタク【問3-5】

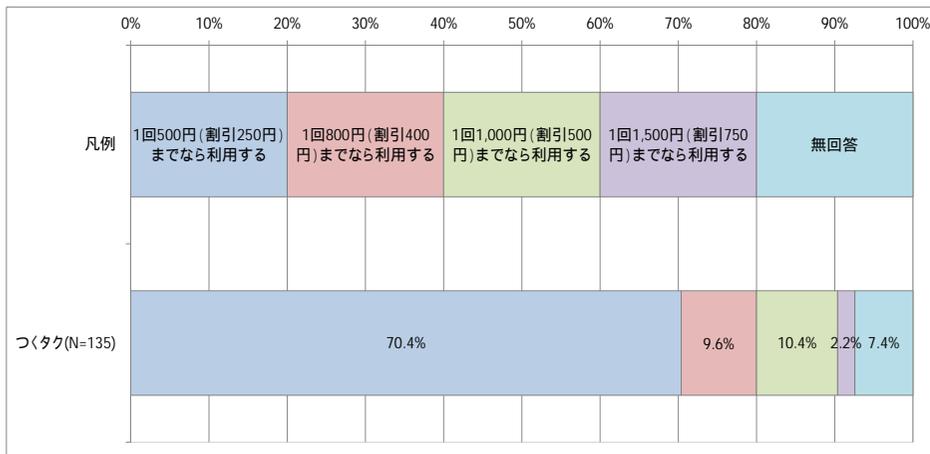


3 . 調査概要 (公共交通への協力)

- つくたくを値上げの上限について，1回500円までなら利用するという回答が多い。
- 公共交通サービス維持のために協力できることは，市民アンケートでは意見が分かれる状況にある。

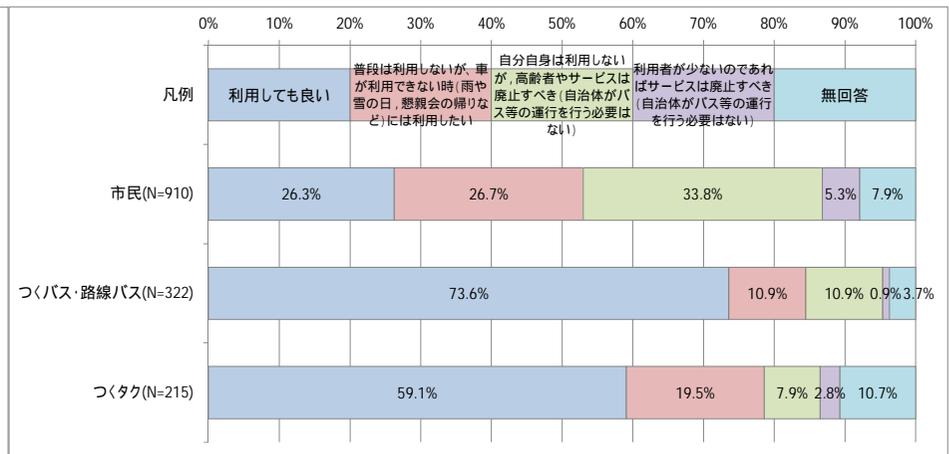
・値上げの上限について (つくたくアンケートのみ)

つくたく【問3-5】



・公共交通サービス維持のために協力できること

市民【問4-9】
路線バス・つくバス【問3-4】
つくたく【問3-6】



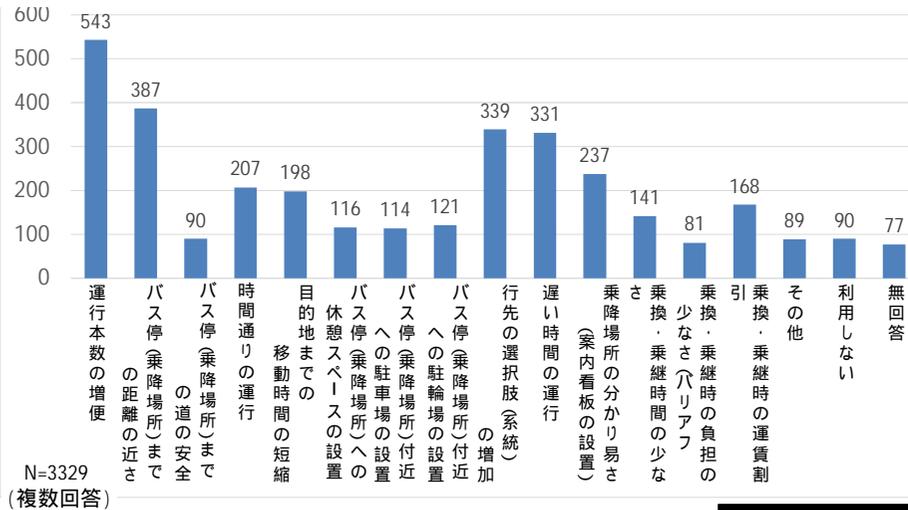
3. 調査概要 (公共交通への意識・要望)

市内の公共交通を利用するために必要な条件

・各アンケートともに、運行本数の増便、停留所までの近さ、行先選択肢の増加、遅い時間帯の運行の要望が高い。

・市民

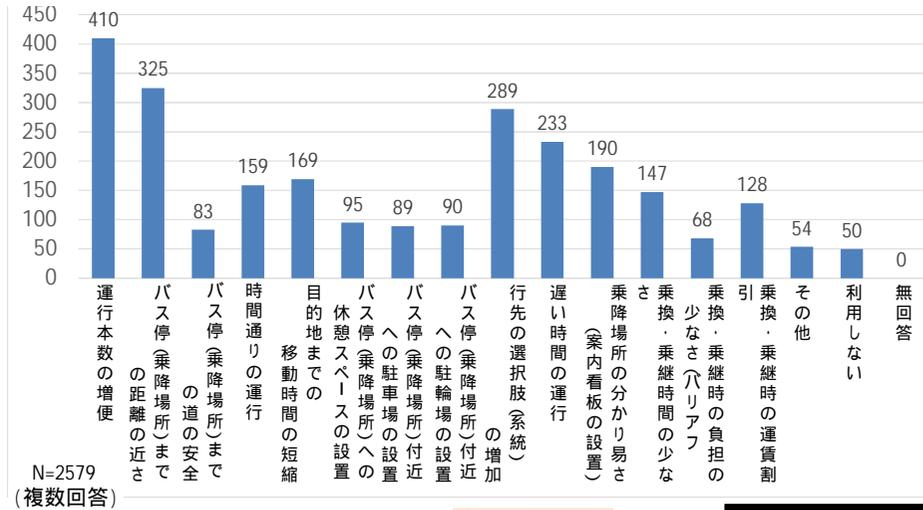
平成28年度



・市民

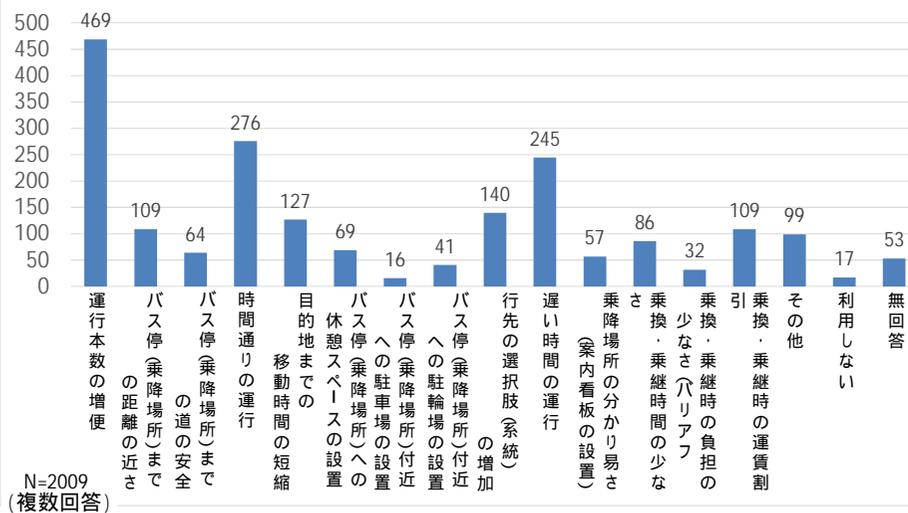
市民[問4-10]

平成29年度



・つくバス・路線バス

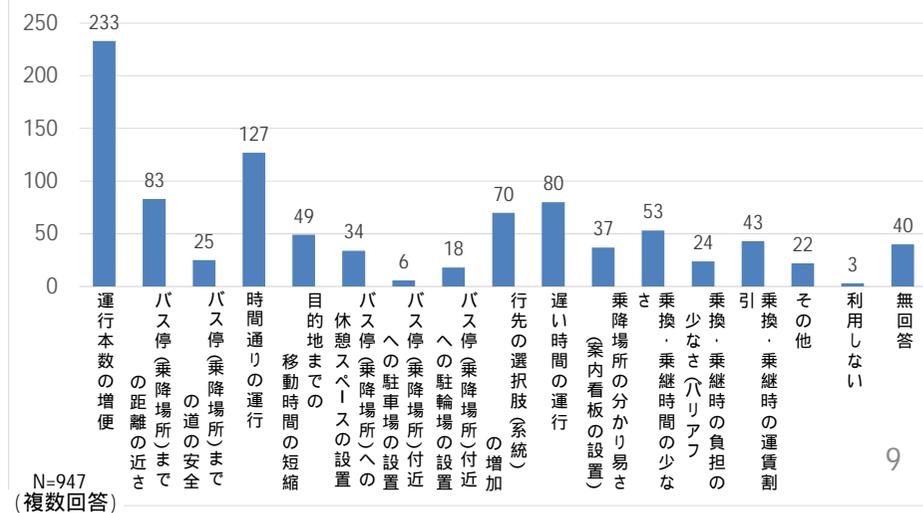
平成28年度



・つくバス・路線バス

つくタク[問3-5]

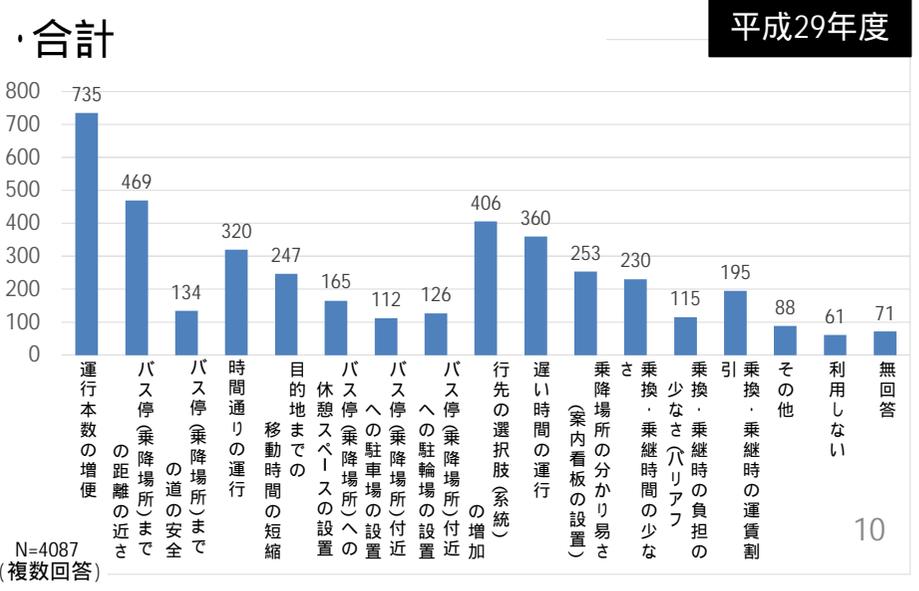
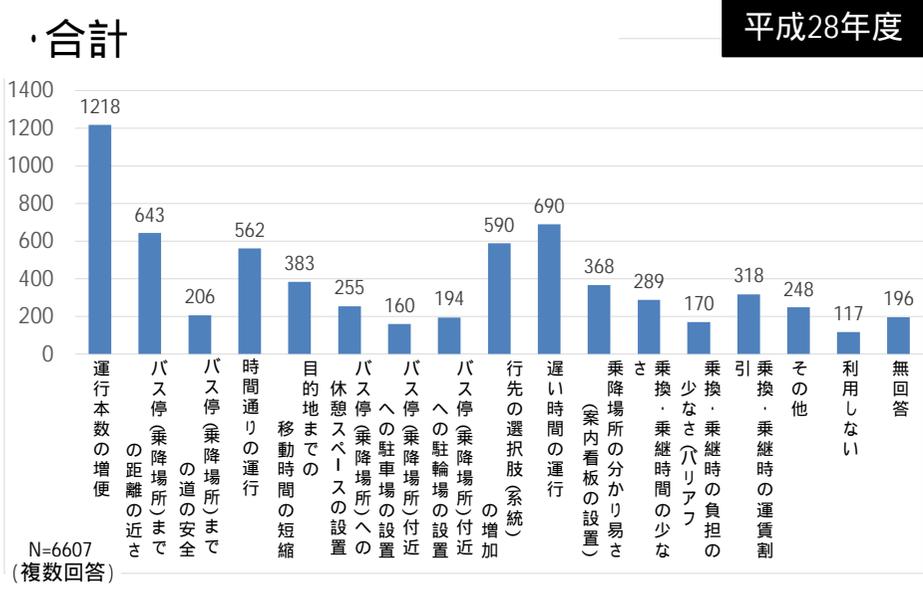
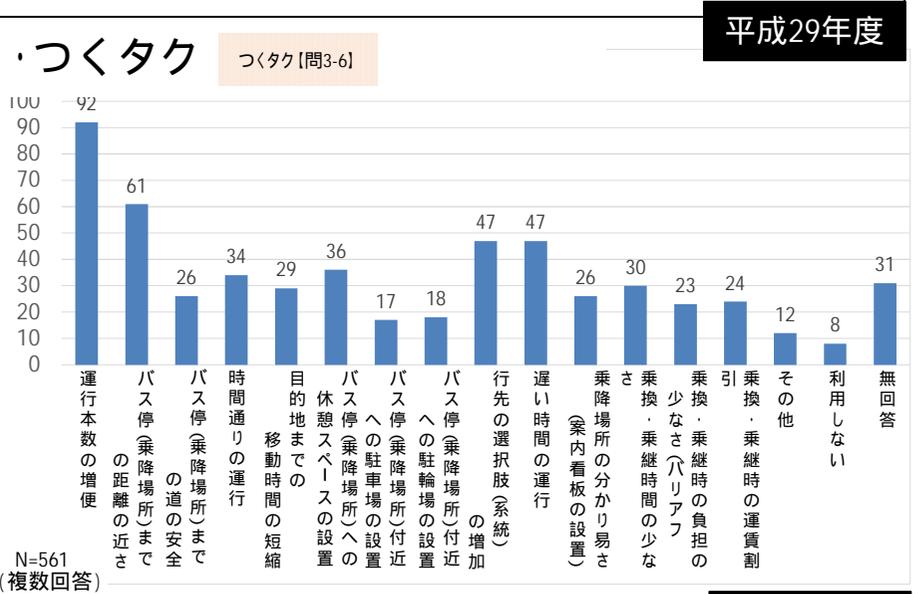
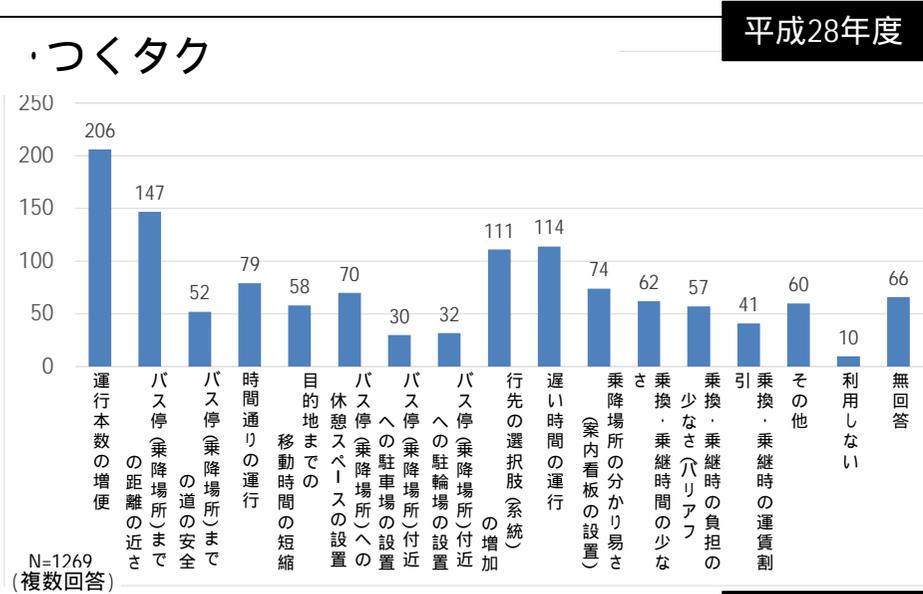
平成29年度



3. 調査概要 (公共交通への意識・要望)

市内の公共交通を利用するために必要な条件

- 各アンケートともに、運行本数の増便，停留所までの近さ，行先選択肢の増加，遅い時間帯の運行の要望が高い。

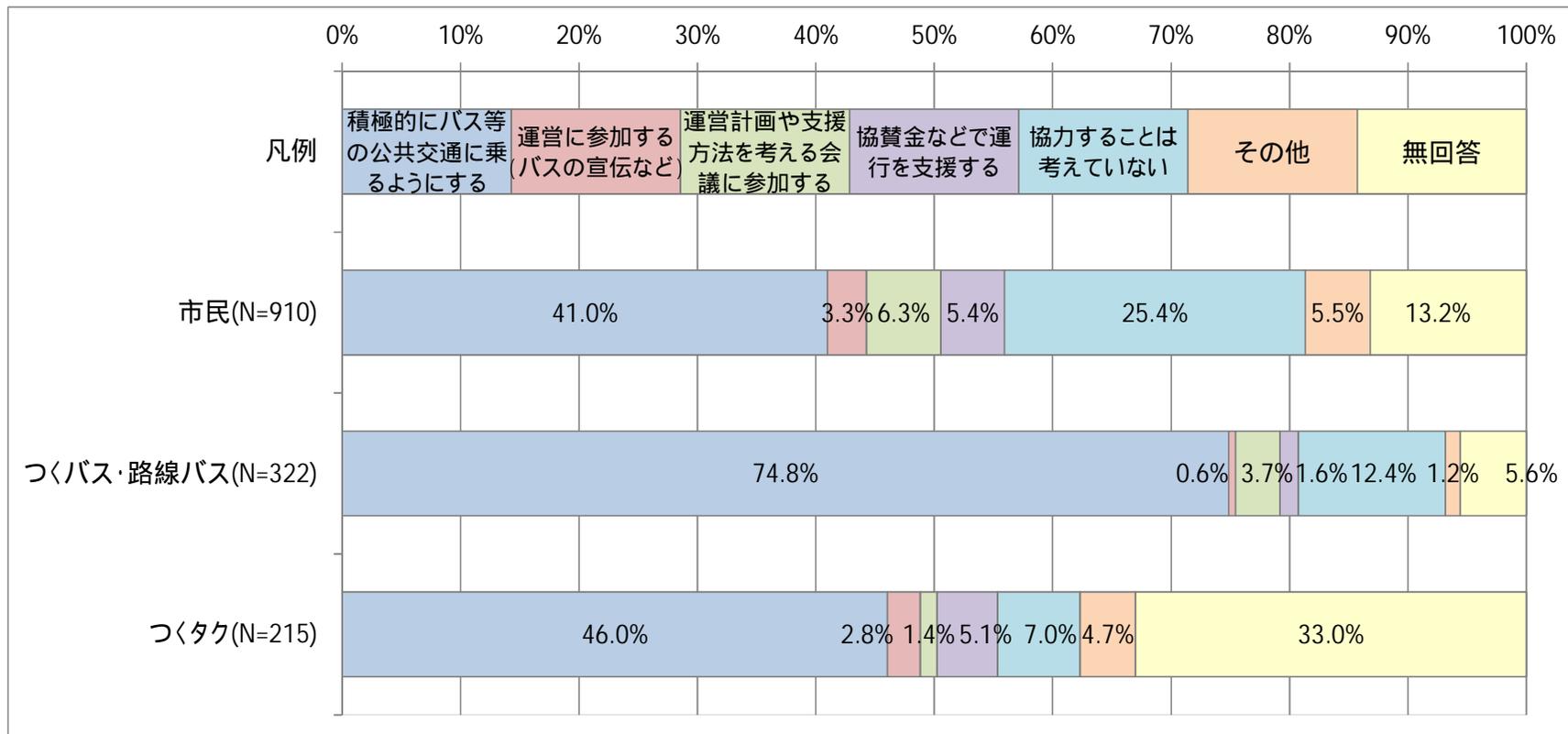


3 . 調査概要（公共交通への意識・要望）

- 各アンケートともに，積極的にバス等の公共交通に乗るようにするという回答が多い。但し，市民アンケートでは，協力することは考えていないという意見もある。

・公共交通の運営に協力できること

市民【問4-12】、路線バス・つくバス【問3-7】、つくタク【問3-9】



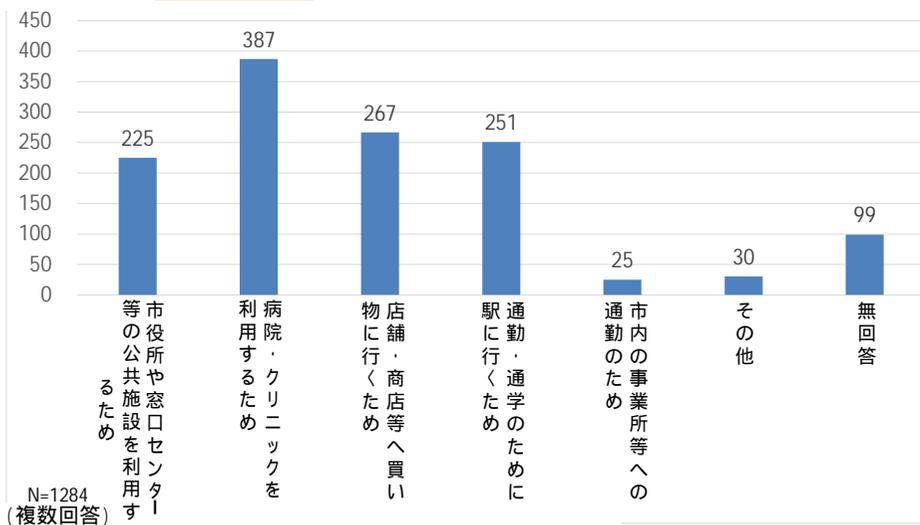
3 . 調査概要（公共交通への意識・要望）

・バス停設置場所を考える際に重視する利用目的

- 市民及びつくたくでは、病院クリニックを利用するためが高いが、つくバス・路線バスでは、通勤・通学のために駅に行くためと、鉄道駅に向かうニーズが高いことが分かる。

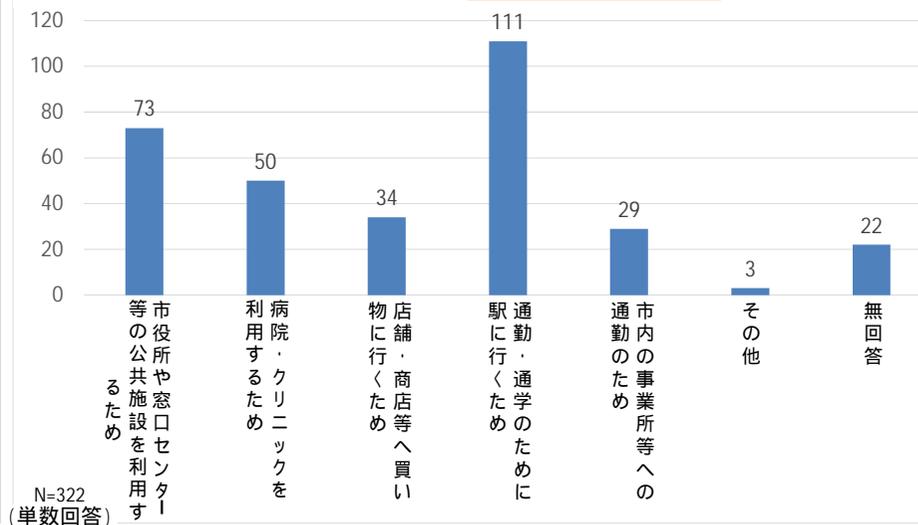
・市民

市民[問4-11]



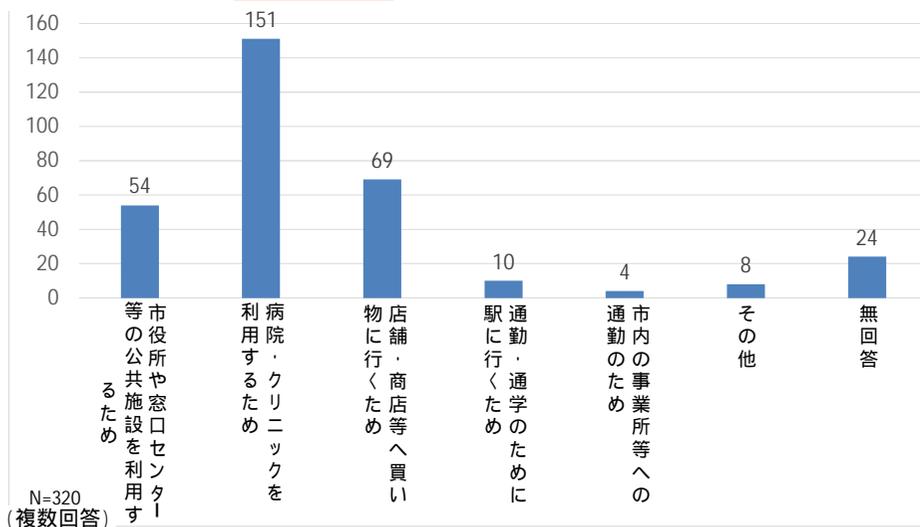
・つくバス・路線バス

路線バス・つくバス[問3-6]

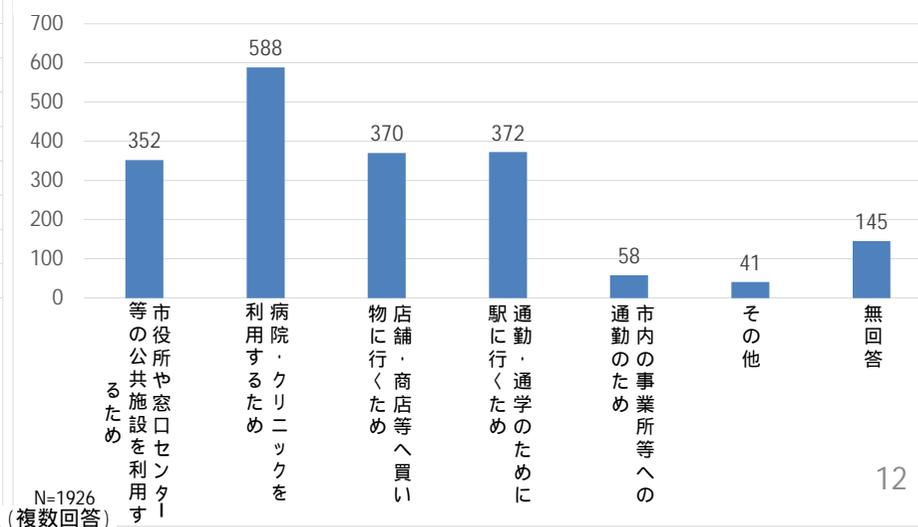


・つくたく

つくたく[問3-8]



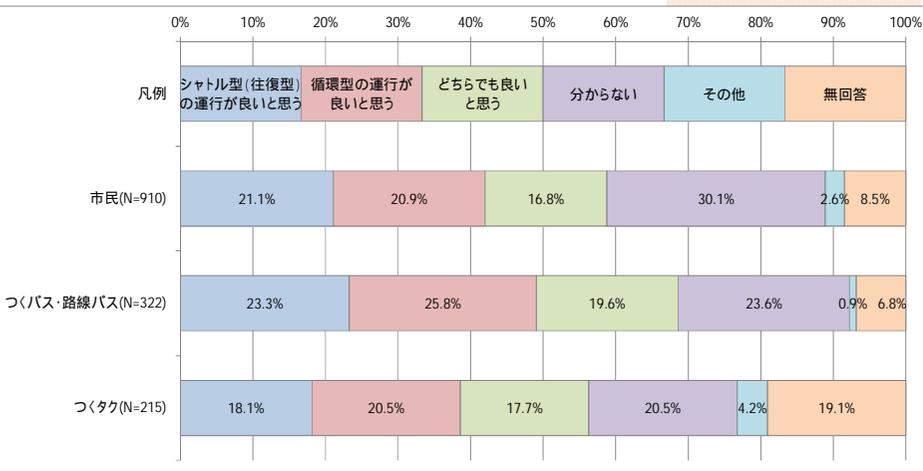
・合計



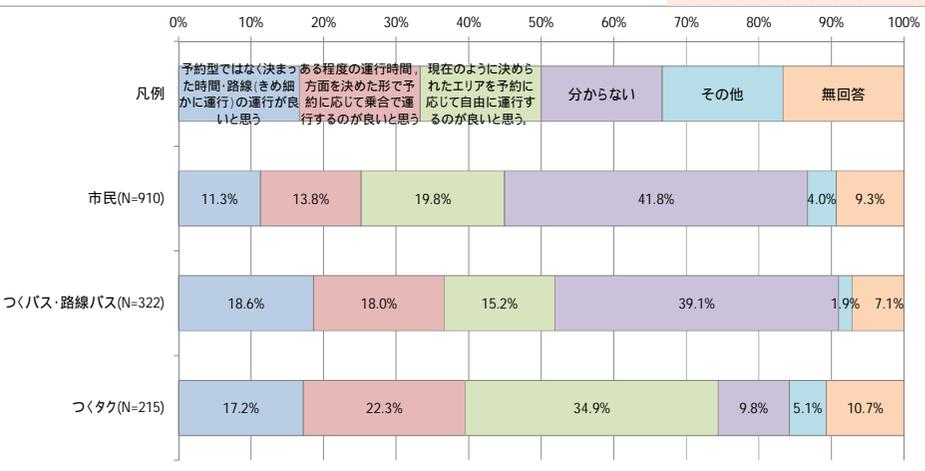
3 . 調査概要 (新規路線の開設の場合の希望)

・つくバス及びつくタクの運行方法について、つくタク利用者は現在のエリアによるサービスを運行することを前提とするが、つくバスの利用者はつくタクに変更を求める様子が見られる。

・つくバスの望ましい運行方法 市民【問5-1】
路線バス・つくバス【問4-1】
つくタク【問4-1】

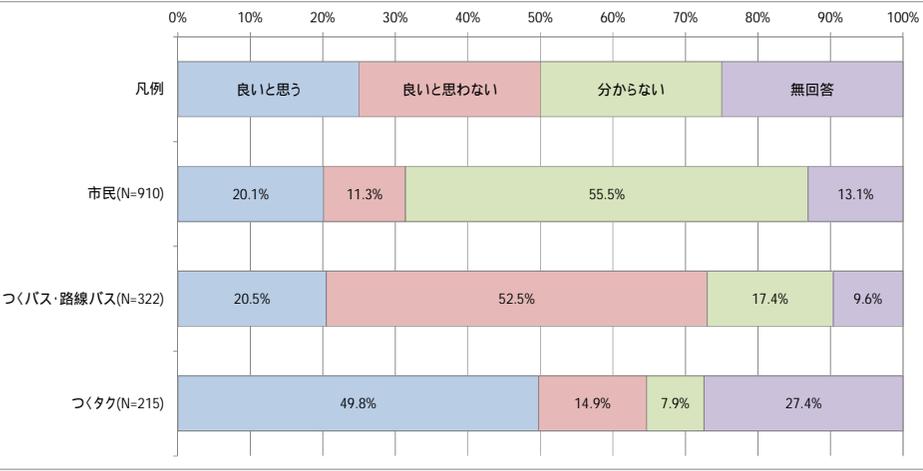


・つくタクの変更内容について 市民【問5-2】
路線バス・つくバス【問4-2】
つくタク【問4-2】

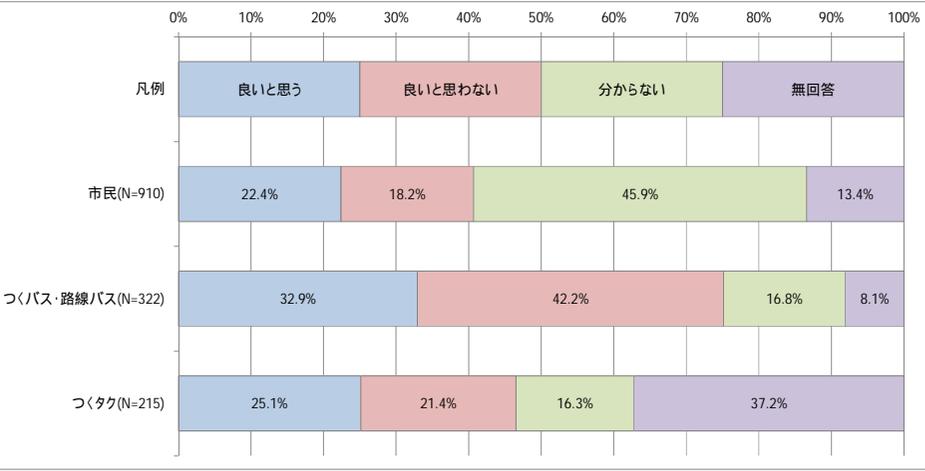


・手法の導入について 市民【問5-6】、路線バス・つくバス【問4-3】、つくタク【問4-3】

・現在のつくタクのサービスを変更せず続けて運行する



・定時路線で運行するつくタクを運行する



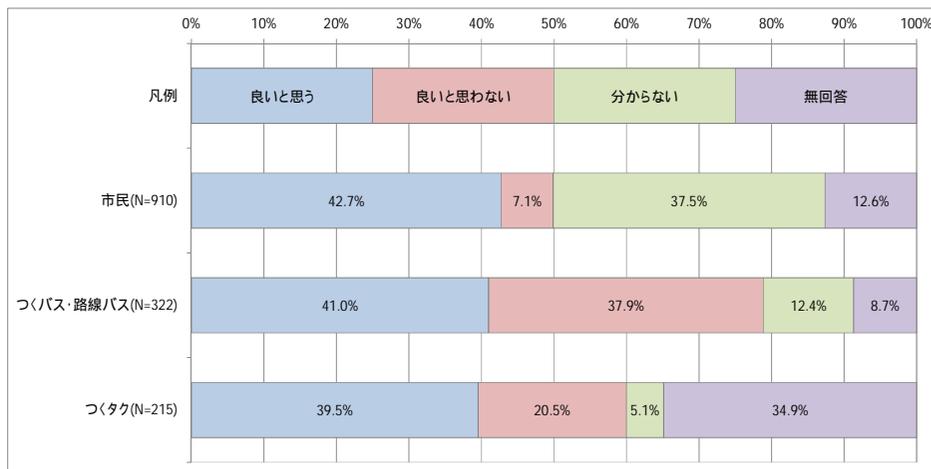
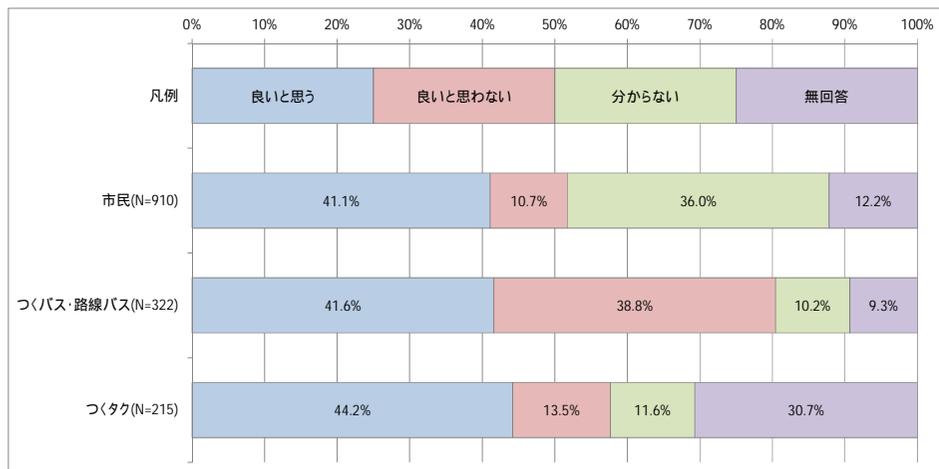
3 . 調査概要 (新規路線の開設の場合の希望)

・ 新規路線についての開設について，各施策について概ね良いと思うとの回答が高い傾向にあるが，住民主体の交通サービスについては良いと思わないという意見が多い。

・ 手法の導入について 市民【問5-6】、路線バス・つくバス【問4-3】、つくタク【問4-3】

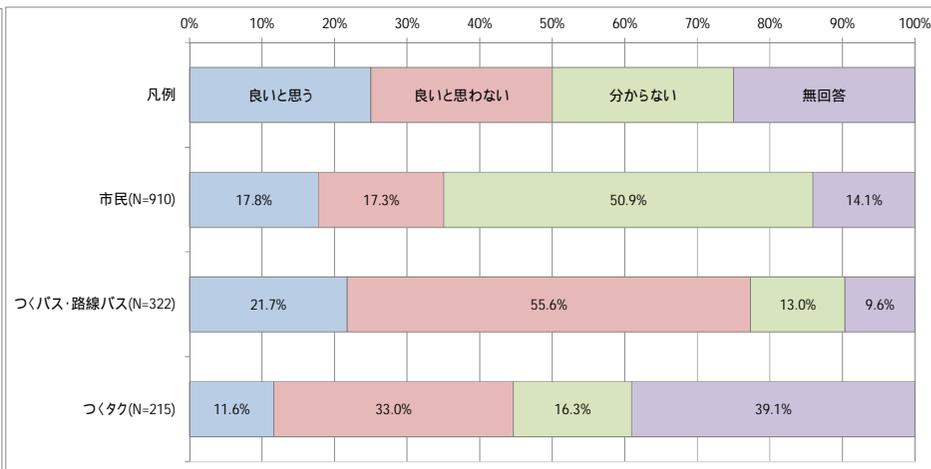
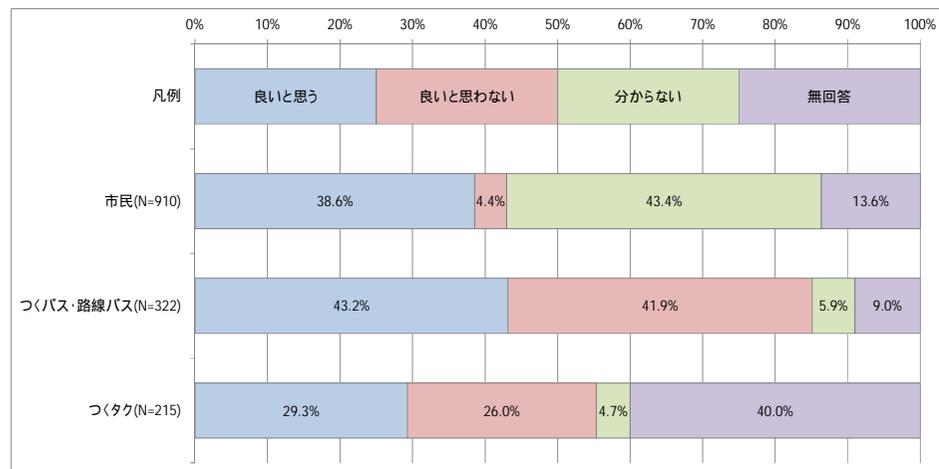
・ 医療機関だけを巡回するつくタクを運行する

・ タクシー利用料金助成事業の充実



・ 福祉有償運送を実施する団体を増やし，福祉有償運送サービスを利用できる人を増やす

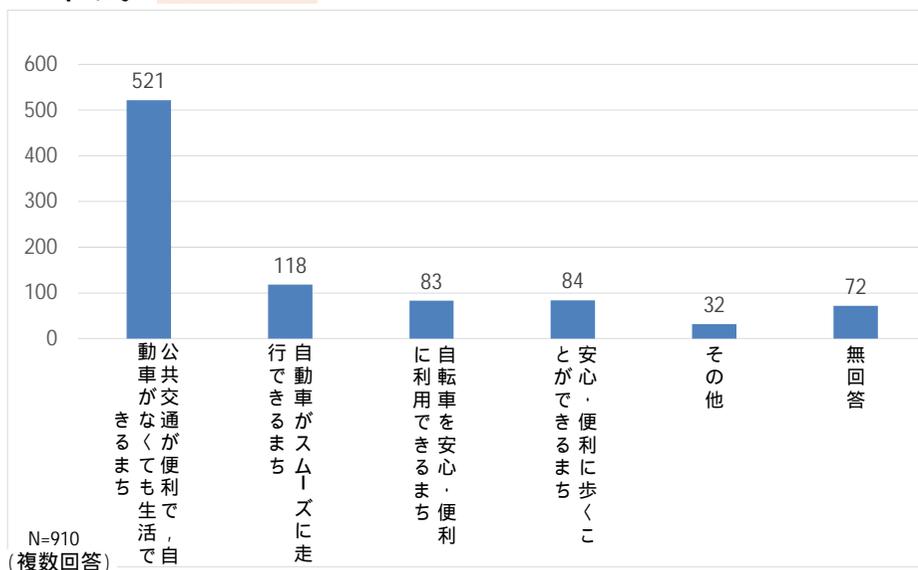
・ 住民主体の公共交通サービスの導入



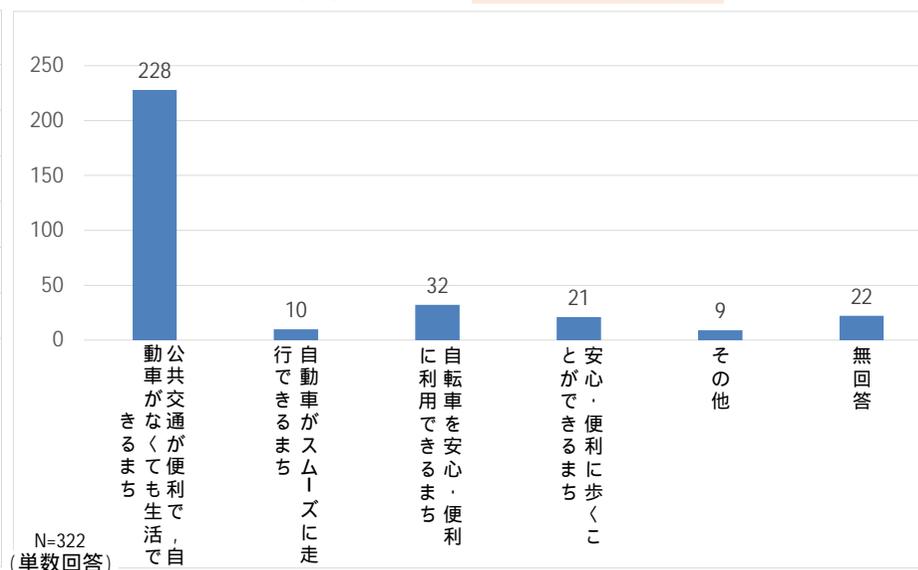
3 . 調査概要（公共交通への意識・要望）

・望ましい公共交通について

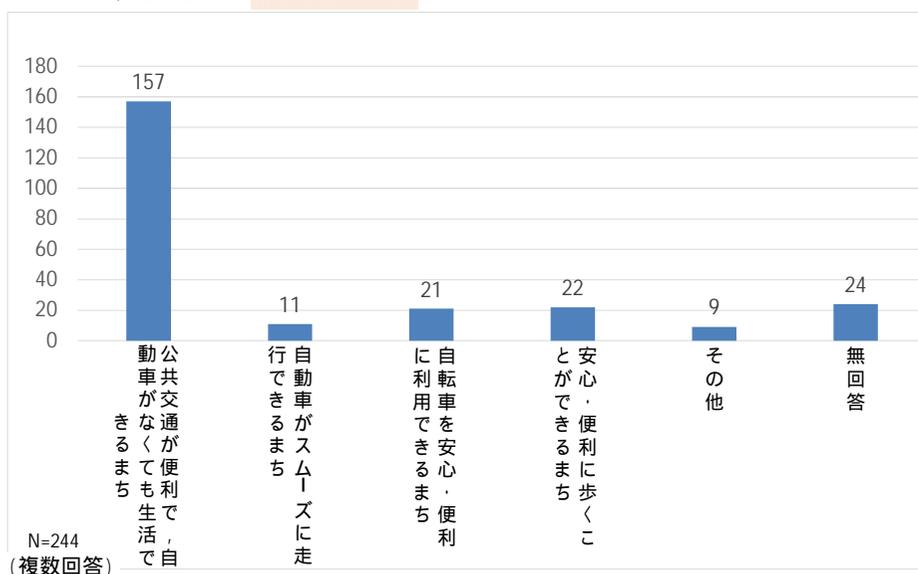
・市民 市民[問4-13]



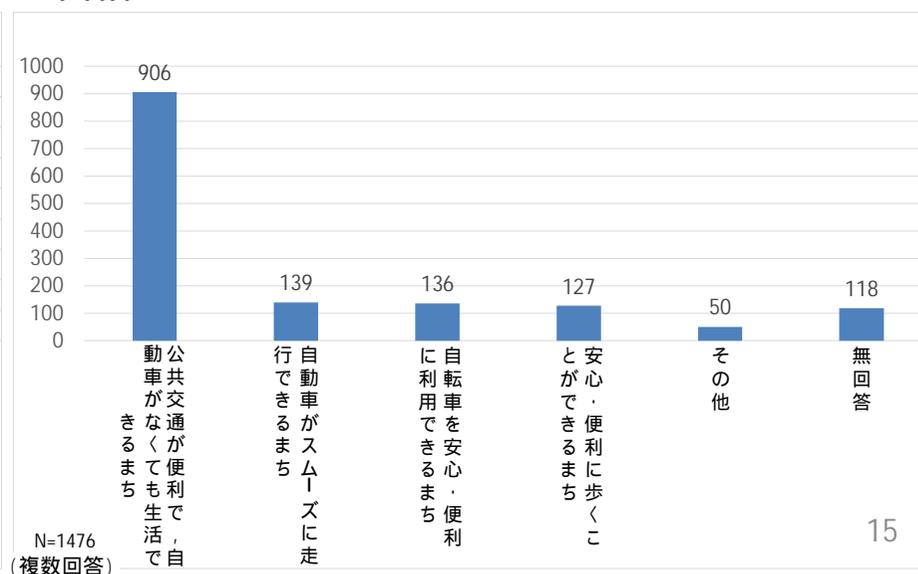
・つくバス・路線バス 路線バス・つくバス[問3-8]



・つくタク つくタク[問3-10]



・合計

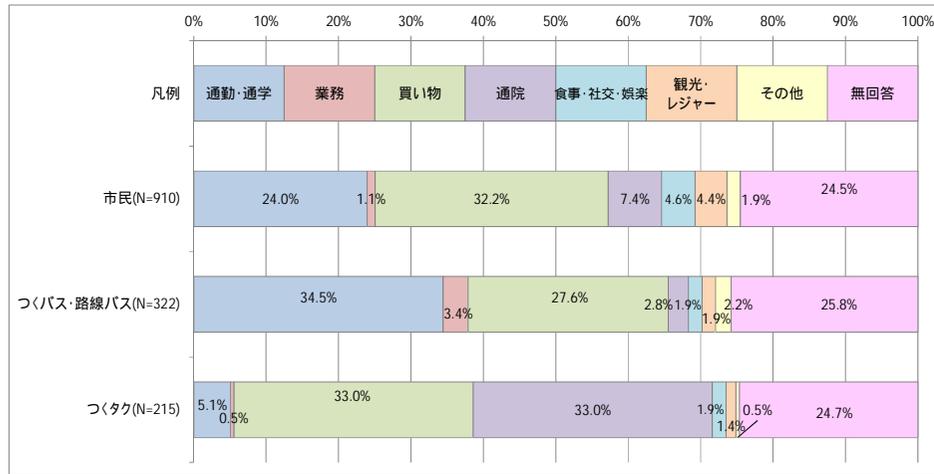


3 . 調査概要 (つくバス・つくタクの今後の方針について)

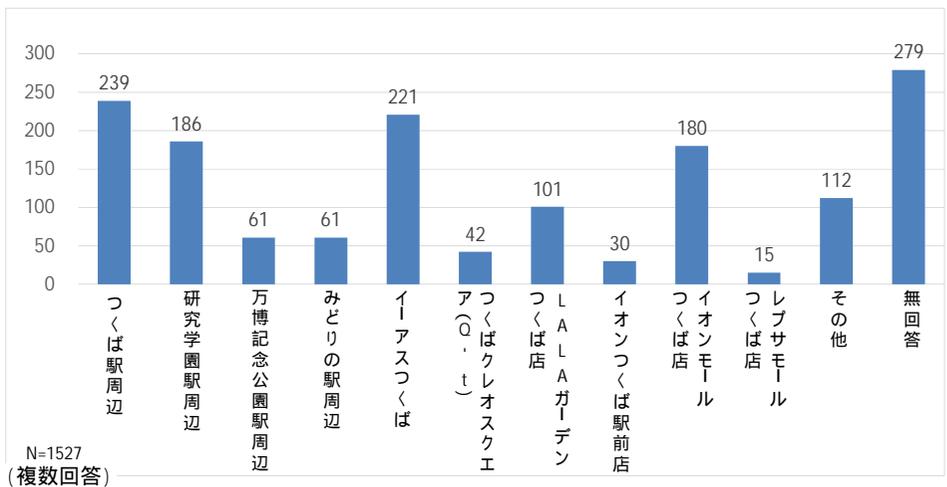
- 新規で開設されたバスの利用目的については，全体的に買い物の回答が高い傾向にある。
- 希望目的地は，つくば駅・研究学園駅周辺の他，イーアスつくば，イオンモールつくばが多い。

・利用目的

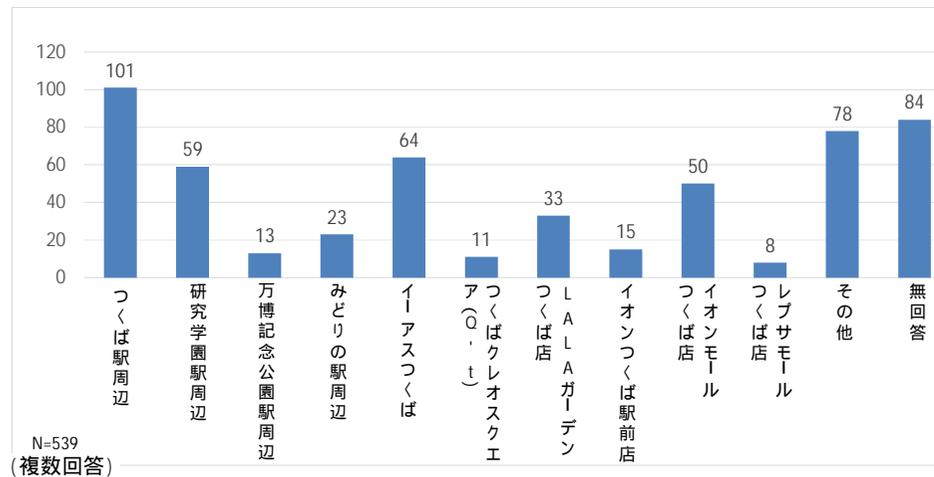
市民【問6】、路線バス【問5】、つくタク【問5】



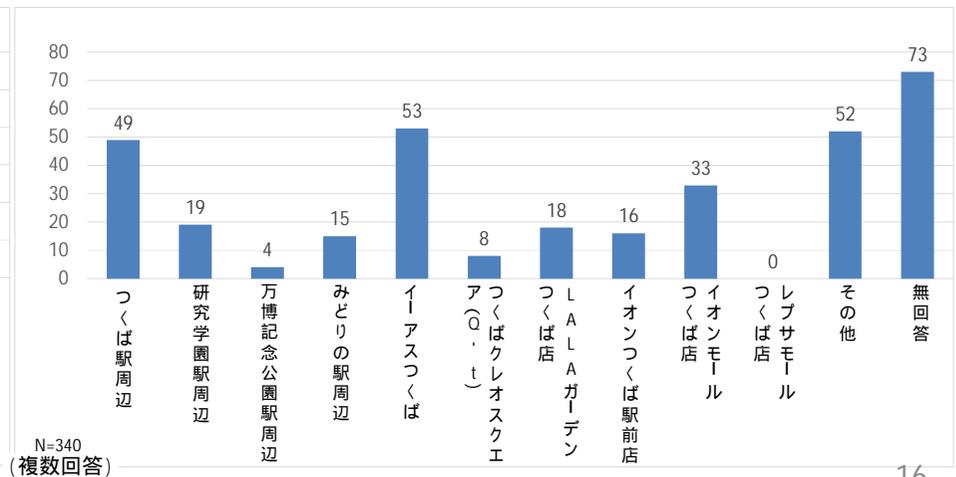
・希望目的地 (市民)



・希望目的地 (つくバス・路線バス)



・希望目的地 (つくタク)

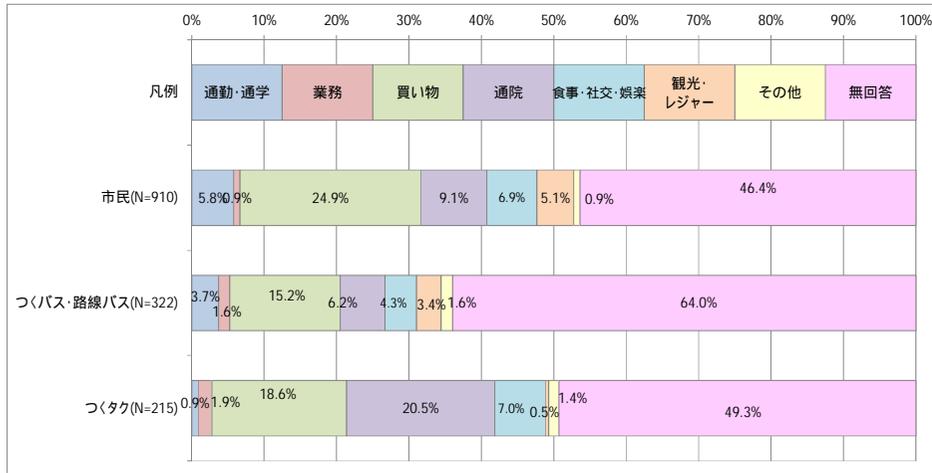


3 . 調査概要 (つくバス・つくタクの今後の方針について)

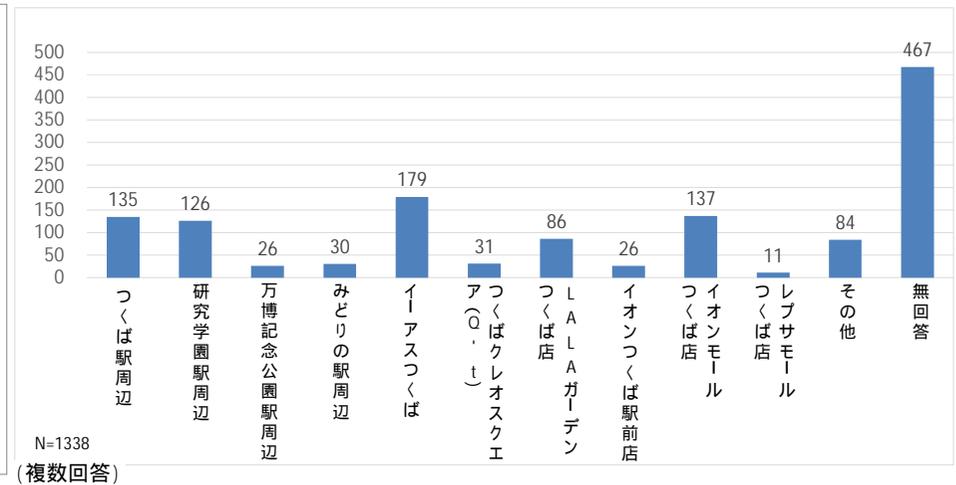
- 新規で開設されたバスの利用目的については、2番目の目的でも全体的に買い物の回答が高い傾向にある。

・利用目的

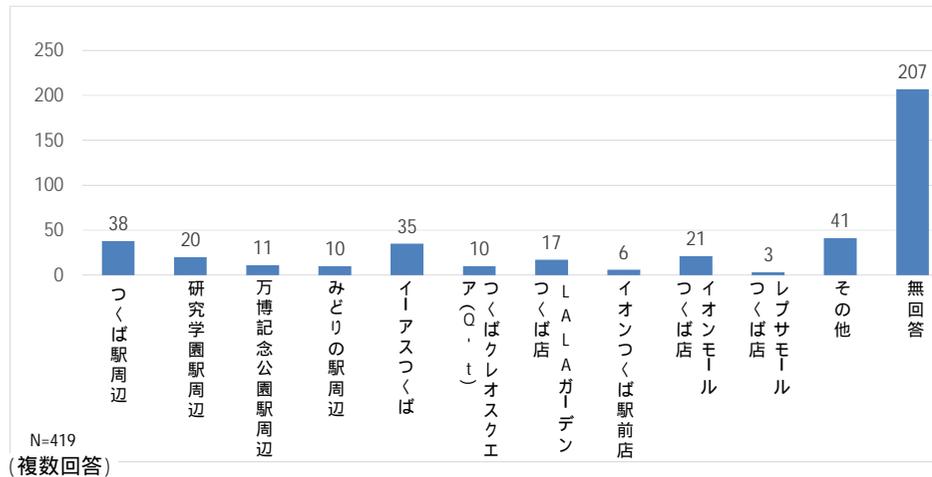
市民【問6】、路線バス【問5】、つくタク【問5】



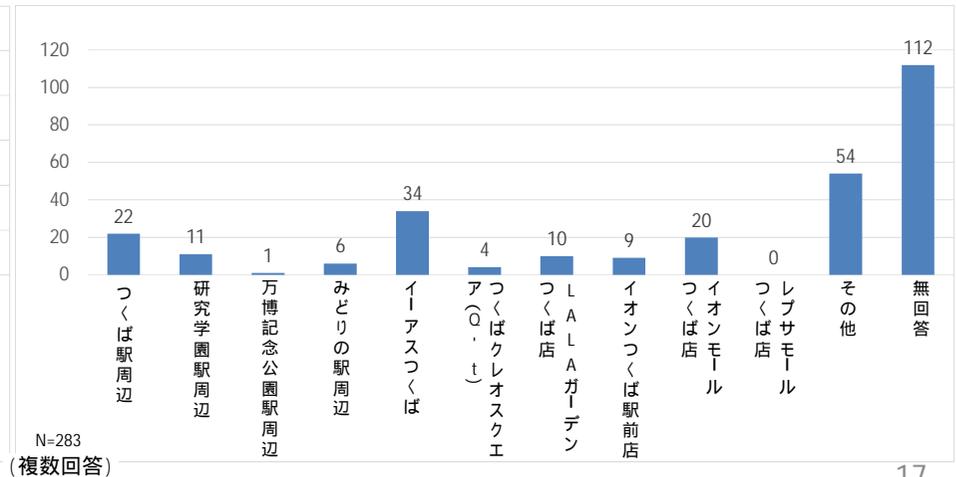
・希望目的地 (市民)



・希望目的地 (つくバス・路線バス)



・希望目的地 (つくタク)

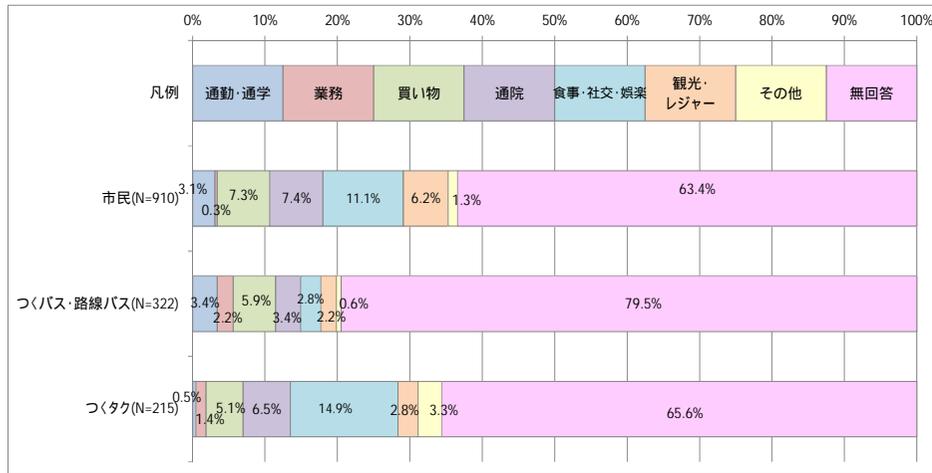


3 . 調査概要 (つくバス・つくタクの今後の方針について)

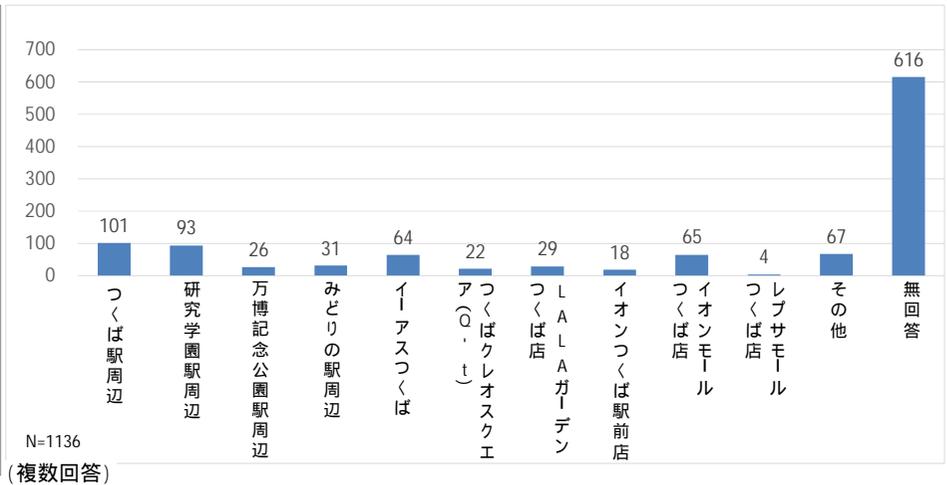
• 新規で開設されたバスの利用目的については，3番目の目的は食事・社交・娯楽が高い。

・利用目的

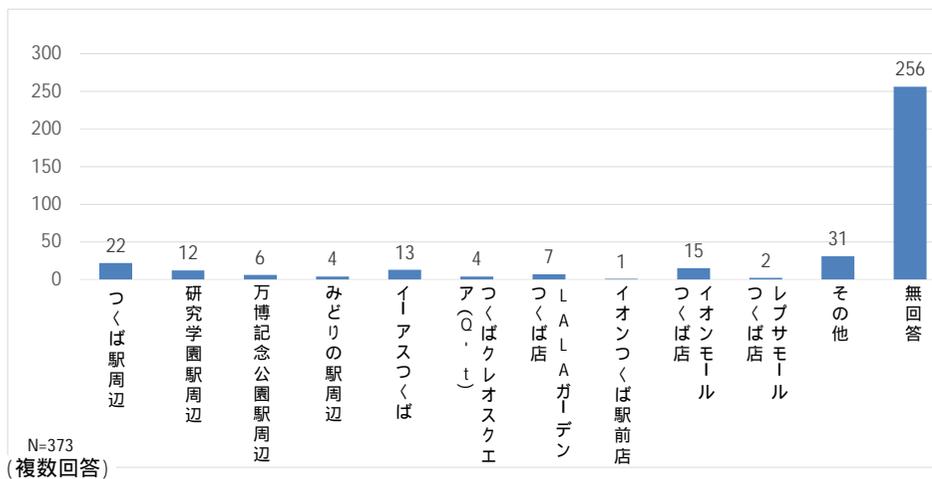
市民[問6]、路線バス[問5]、つくタク[問5]



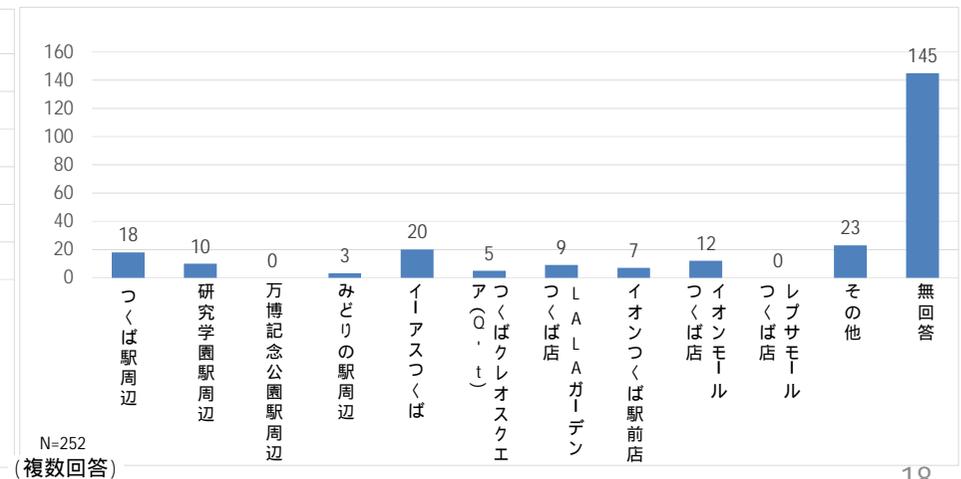
・希望目的地 (市民)



・希望目的地 (つくバス・路線バス)



・希望目的地 (つくタク)





平成29年度アンケート集計 (自由意見)

3 . 調査概要 (自由意見)

- 路線バスやつくバスでは路線や本数、つくタクでは利用方法がわからないという意見が多い。

・市民 (バスに関する) 市民 [問7]

項目	内容	路線バス (N=277)	つくバス (N=267)
バスサービス (路線・停留所)	路線(新設・変更・増設)	17.3%	22.1%
	路線見直し(効率化)	1.4%	9.7%
	停留所設置	9.7%	21.0%
バスサービス (本数・所要時間・運賃等)	本数	27.4%	10.9%
	始発・最終	10.1%	4.5%
	定時性確保	2.9%	1.1%
	ダイヤ調整/乗り継ぎ	5.4%	6.0%
	運賃	10.5%	3.4%
	ICカード	2.2%	0.0%
マナー	混雑	0.4%	1.1%
	バス運転	3.2%	1.9%
環境	利用者マナー	0.7%	0.0%
	路線等情報提供	5.1%	9.7%
バス事業	遅延など情報提供	1.1%	0.7%
	バス待ち環境	3.6%	1.1%
その他	バス存続	1.1%	0.4%
	事業形態見直し	1.4%	1.5%
	車両(小型化など)	1.8%	0.7%
その他	将来利用	5.4%	4.1%
	その他	11.9%	17.2%

(複数回答)

・市民 (つくタクに関する)

項目	内容	つくタク (N=177)
利用方法	方法がわからない(PR必要)	29.4%
予約について	予約しにくい	12.4%
	予約が取れない	3.4%
サービス向上	予約緩和	5.1%
	運行時間拡大	11.9%
	利用範囲拡大	5.1%
	運賃	7.3%
	増車	1.7%
	乗車場所	2.8%
	相乗り	2.3%
制度	頻度	1.7%
	利用層の絞り込み	4.5%
その他	制度見直し(タクシー券との統合等)	7.3%
	その他	15.3%
	将来利用	1.7%

(複数回答)

・つくバス・路線バス (バスに関する) 路線バス・つくバス [問6]

項目	内容	路線バス (N=159)	つくバス (N=104)
バスサービス (路線・停留所)	路線(新設・変更・増設)	3.1%	10.6%
	路線見直し(効率化)	0.6%	5.8%
	停留所設置	3.1%	23.1%
バスサービス (本数・所要時間・運賃等)	本数	41.5%	28.8%
	始発・最終	8.8%	4.8%
	定時性確保	23.3%	8.7%
	ダイヤ調整/乗り継ぎ	13.2%	8.7%
	運賃	7.5%	1.9%
	ICカード	6.3%	1.9%
マナー	混雑	17.0%	5.8%
	バス運転	11.9%	4.8%
環境	利用者マナー	2.5%	0.0%
	路線等情報提供	2.5%	2.9%
バス事業	遅延など情報提供	1.3%	1.0%
	バス待ち環境	4.4%	4.8%
その他	バス存続	0.6%	1.9%
	事業形態見直し	0.6%	0.0%
	車両(小型化など)	3.1%	2.9%
その他	将来利用	0.0%	0.0%
	その他	13.2%	12.5%

(複数回答)

・つくバス・路線バス (つくタクに関する)

項目	内容	つくタク (N=53)
利用方法	方法がわからない(PR必要)	18.9%
予約について	予約しにくい	3.8%
	予約が取れない	15.1%
サービス向上	予約緩和	5.7%
	運行時間拡大	11.3%
	利用範囲拡大	7.5%
	運賃	5.7%
	増車	5.7%
	乗車場所	1.9%
	相乗り	0.0%
制度	頻度	0.0%
	利用層の絞り込み	0.0%
その他	制度見直し(タクシー券との統合等)	0.0%
	その他	39.6%
	将来利用	1.9%

(複数回答)

3 . 調査概要 (自由意見)

- 路線バスやつくバスでは路線・本数や停留所位置、つくタクでは予約への不満や運行時間・利用範囲の拡大が多い。

・つくタク (バスに関する)

つくタク [問6]

項目	内容	路線バス (N=30)	つくバス (N=35)
バスサービス (路線・停留所)	路線(新設・変更・増設)	23.3%	20.0%
	路線見直し(効率化)	3.3%	2.9%
	停留所設置	23.3%	25.7%
バスサービス (本数・所要時間・運賃等)	本数	36.7%	14.3%
	始発・最終	6.7%	2.9%
	定時性確保	3.3%	0.0%
	ダイヤ調整/乗り継ぎ	0.0%	11.4%
	運賃	0.0%	0.0%
	ICカード	0.0%	0.0%
	混雑	0.0%	0.0%
マナー	バス運転	0.0%	0.0%
	利用者マナー	0.0%	0.0%
環境	路線等情報提供	3.3%	5.7%
	遅延など情報提供	0.0%	0.0%
	バス待ち環境	0.0%	0.0%
バス事業 (複数回答)	バス存続	0.0%	0.0%
	事業形態見直し	0.0%	0.0%
	車両(小型化など)	0.0%	0.0%
その他	将来利用	0.0%	0.0%
	その他	6.7%	17.1%

・つくタク (つくタクに関する)

項目	内容	つくタク (N=41)
利用方法	方法がわからない(PR必要)	2.4%
予約について	予約しにくい	12.2%
	予約が取れない	24.4%
サービス向上	予約緩和	2.4%
	運行時間拡大	22.0%
	利用範囲拡大	19.5%
	運賃	0.0%
	増車	2.4%
	乗車場所	0.0%
	相乗り	0.0%
(複数回答)	頻度	0.0%
	利用層の絞り込み	0.0%
その他	制度見直し(タクシー券との統合等)	0.0%
	その他	22.0%
	将来利用	0.0%

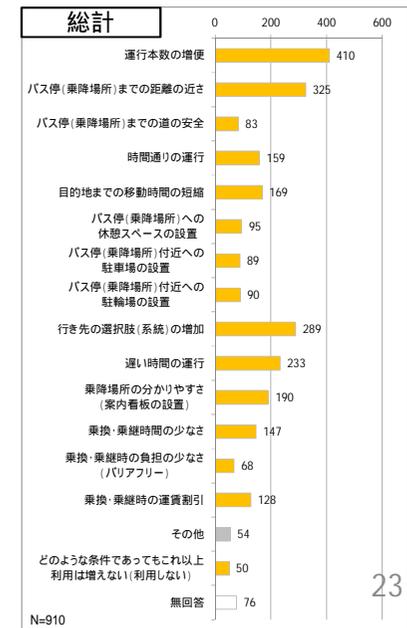
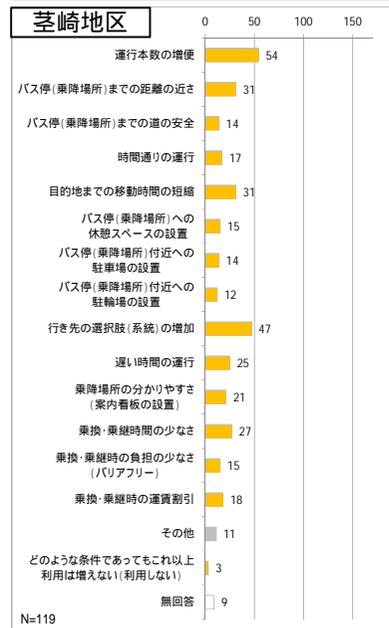
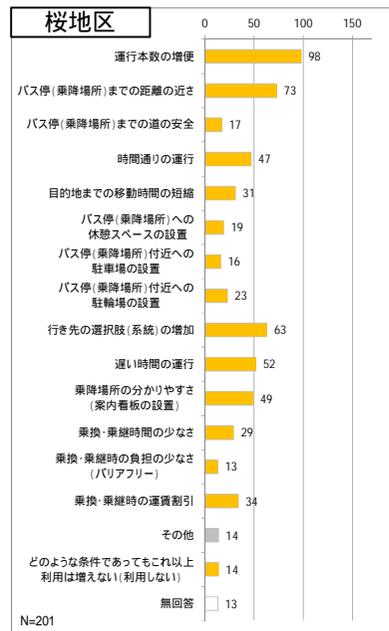
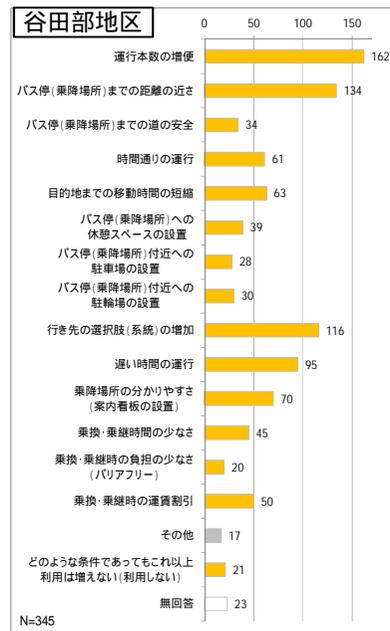


平成29年度アンケート クロス集計（市民）

3 . 調査概要 (市内の公共交通を利用するために必要な条件：市民)

- 各地区ともに、運行本数の増便、バス停までの距離の近さ、行先の選択肢の増加の回答が多い。

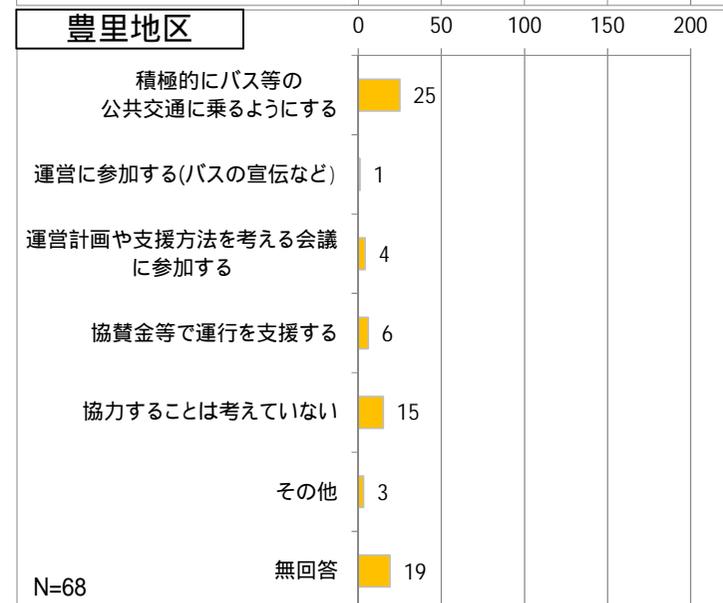
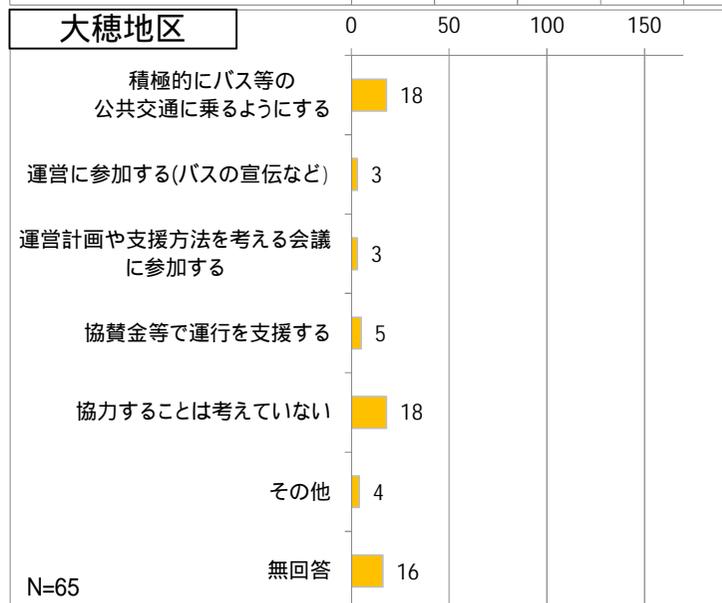
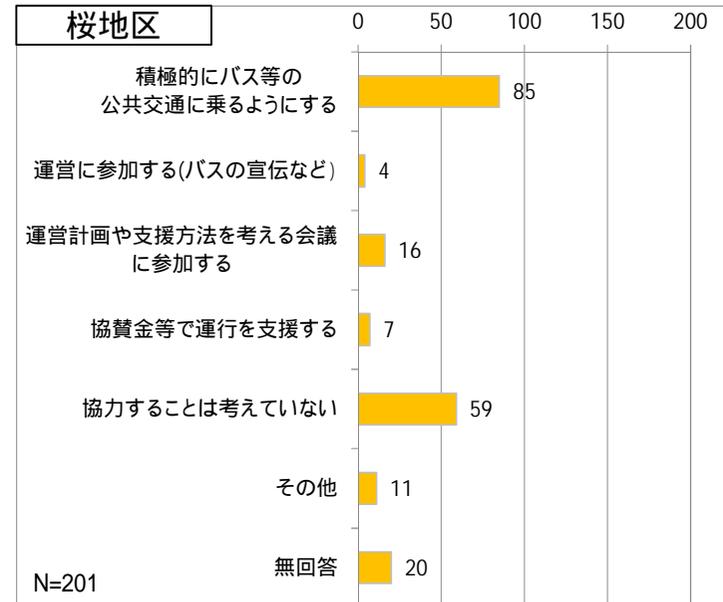
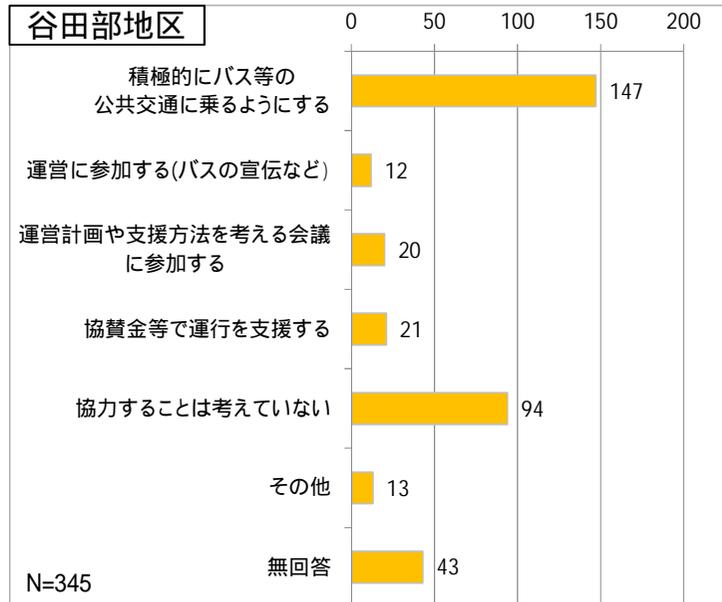
市民 [問4-10]



3 . 調査概要（公共交通の運営に協力できること：市民）

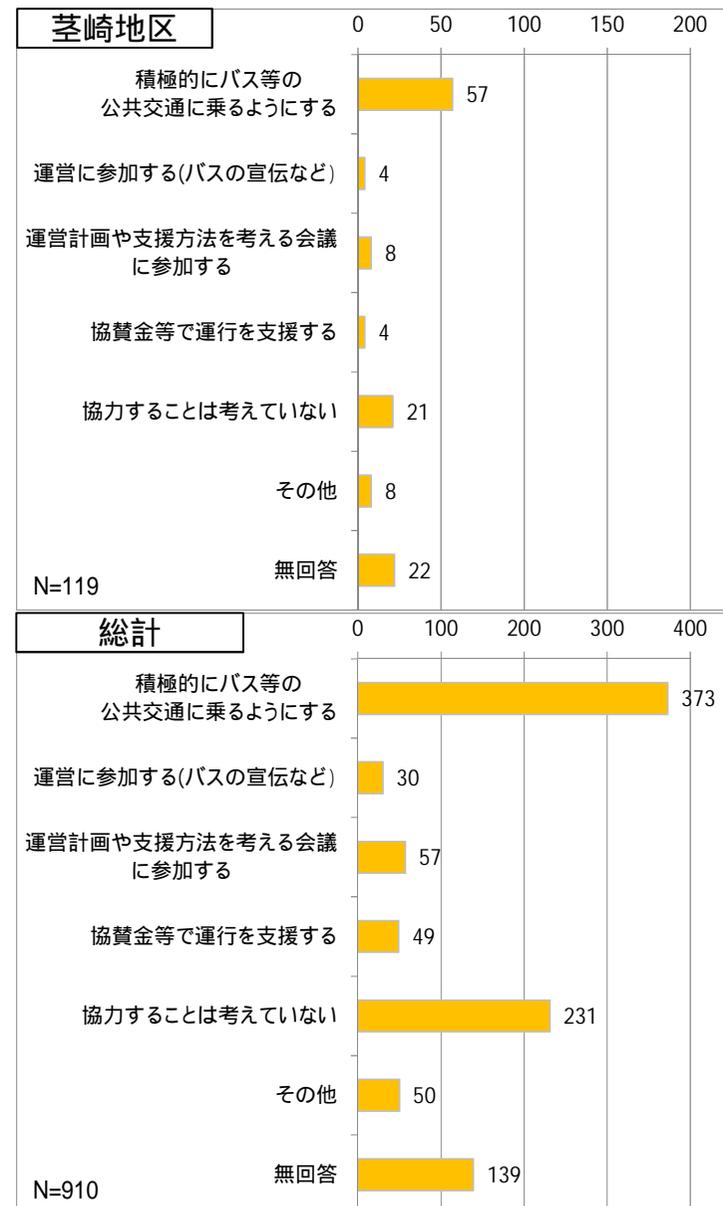
- 各地区ともに、積極的にバス等の公共交通に乗るようにする、協力することは考えていないという回答が多い。
- 谷田部地区や荳崎地区では、積極的にバス等の公共交通に乗るようにするとの回答が他に比べ高い傾向なる。

市民[問4-12]



3 . 調査概要（公共交通の運営に協力できること：市民）

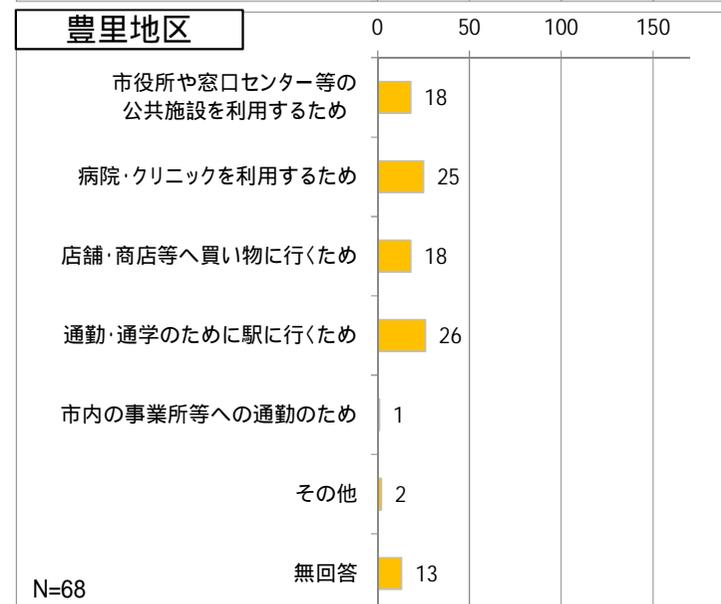
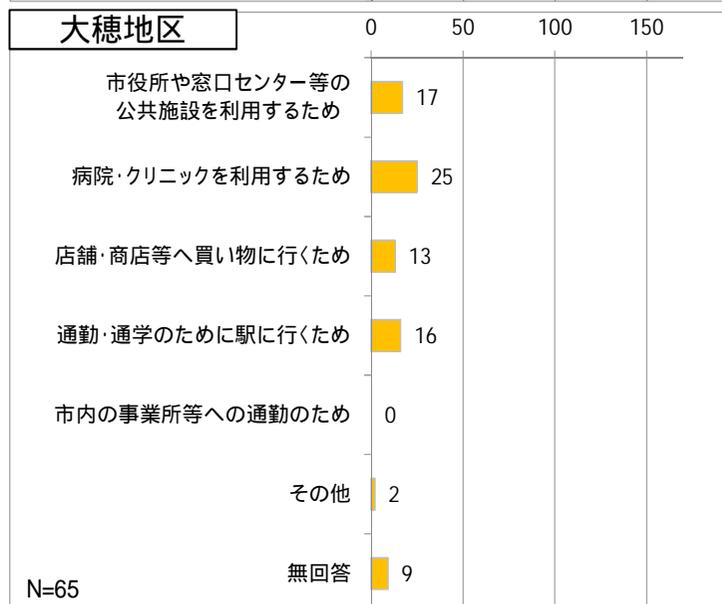
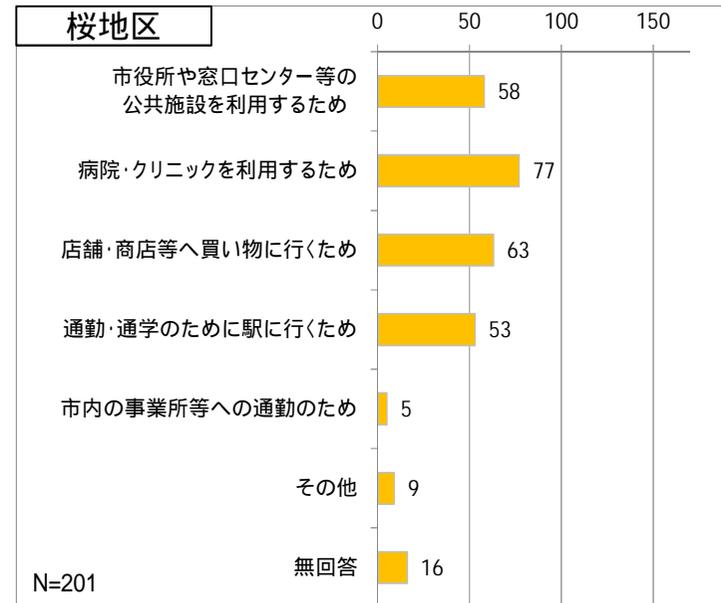
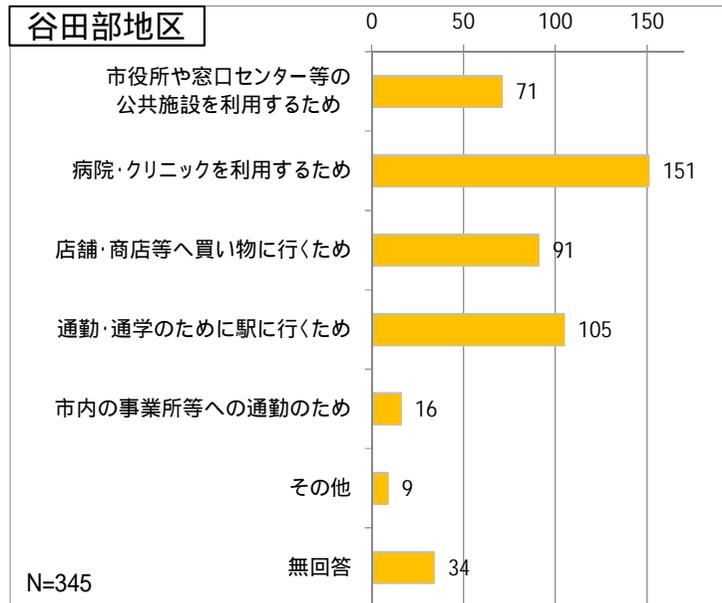
- 各地区ともに、積極的にバス等の公共交通に乗るようにする、協力することは考えていないという回答が多い。
- 谷田部地区や荃崎地区では、積極的にバス等の公共交通に乗るようにするとの回答が他に比べ高い傾向なる。



3 . 調査概要 (バス停設置場所を考える際に重視する利用目的：市民)

- 各地区ともに、病院・クリニックを利用するため、店舗・商店等へ買い物に行くため、通勤・通学のため駅に行くためとの回答が多いが、上位3つの順番が地区によりやや異なる。

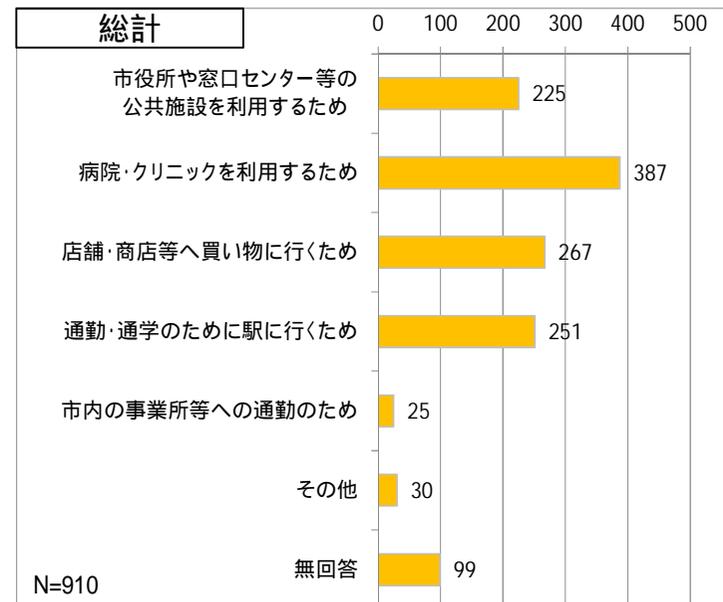
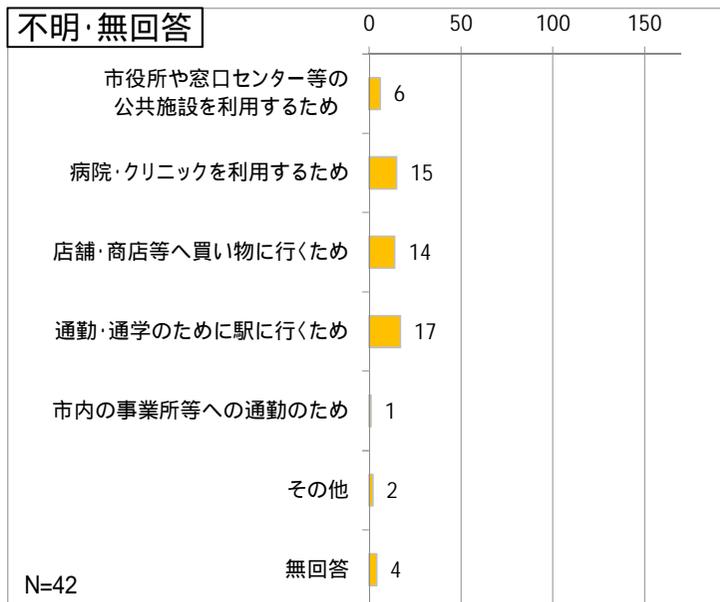
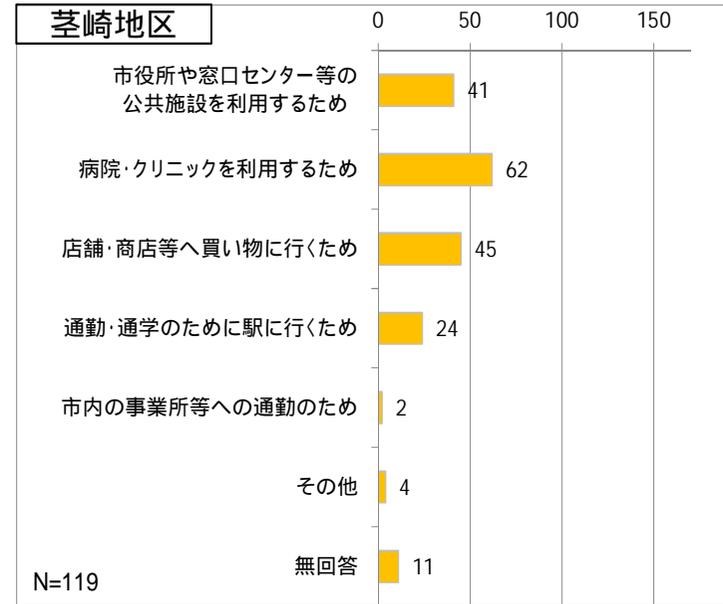
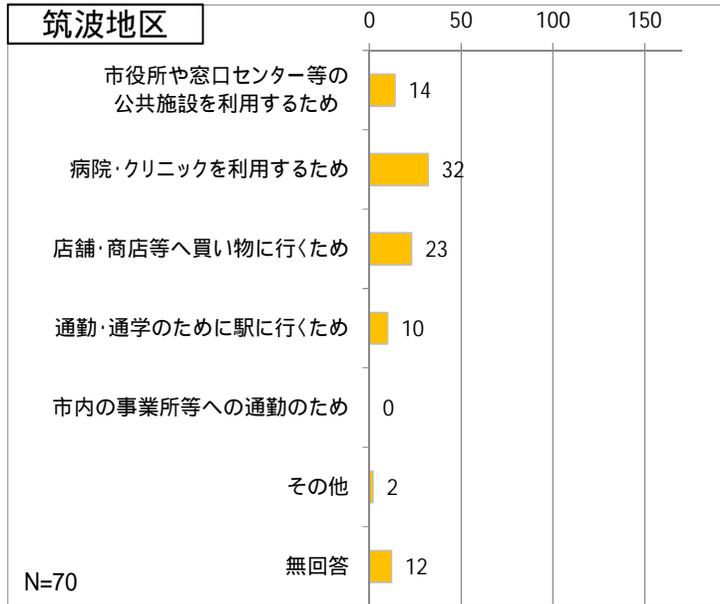
市民(問4-11)



3 . 調査概要（バス停設置場所を考える際に重視する利用目的：市民）

- 各地区ともに、病院・クリニックを利用するため、店舗・商店等へ買い物に行くため、通勤・通学のため駅に行くためとの回答が多いが、上位3つの順番が地区によりやや異なる。

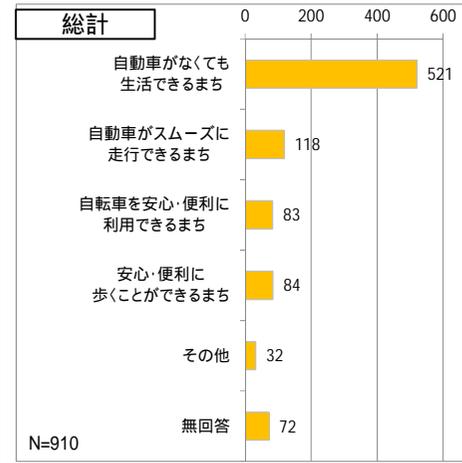
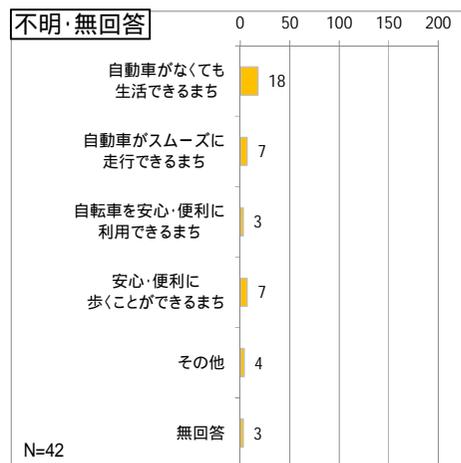
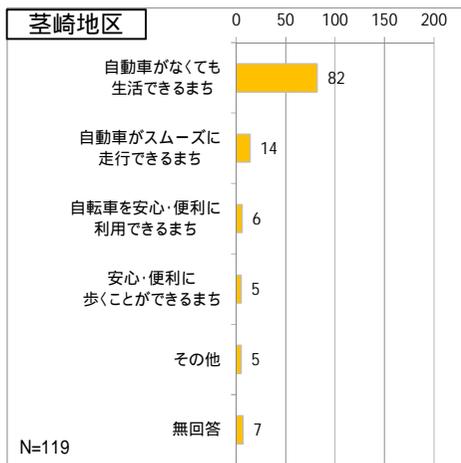
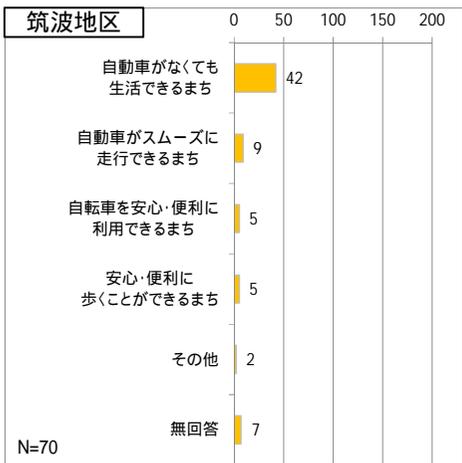
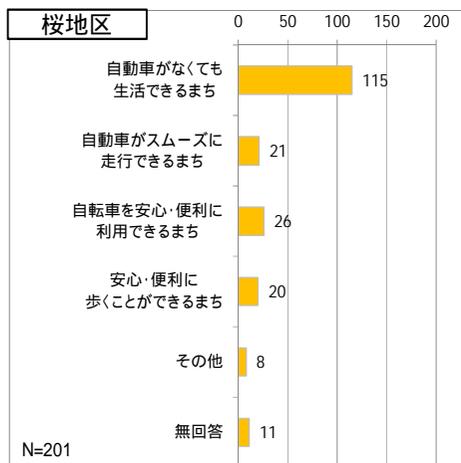
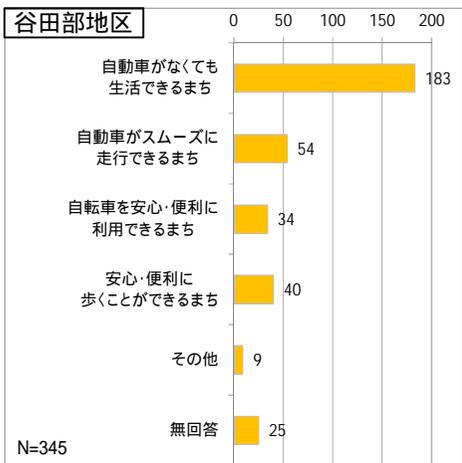
市民[問4-11]



3 . 調査概要 (望ましい公共交通について：市民)

• 各地区ともに、自動車がなくとも生活ができるまちの回答が多い。

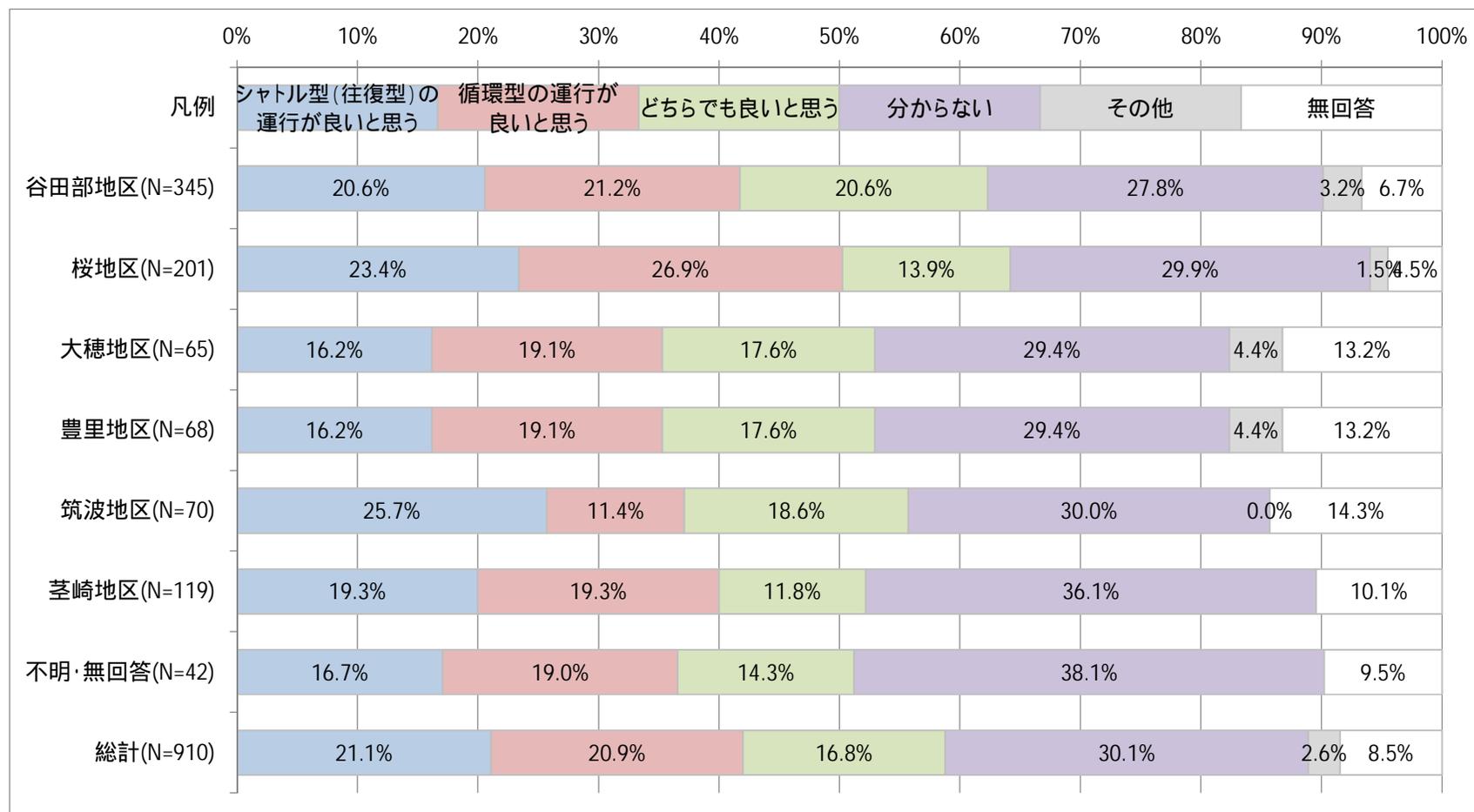
市民 [問4-13]



3 . 調査概要（つくバスの望ましい運行方法：市民）

- シャトル型と循環型の回答割合を見ると、筑波地区ではではシャトル型の回答割合が高い傾向にある。

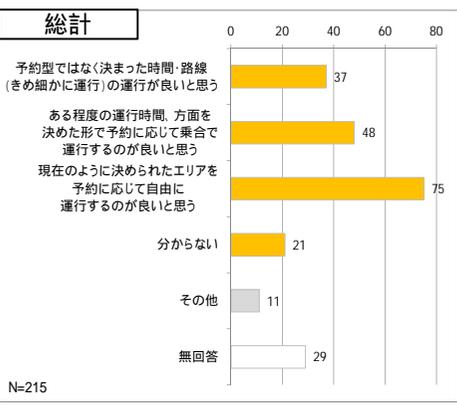
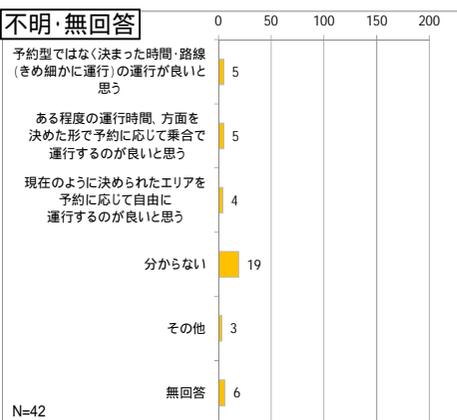
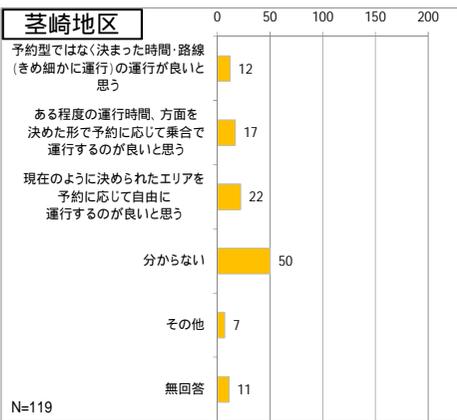
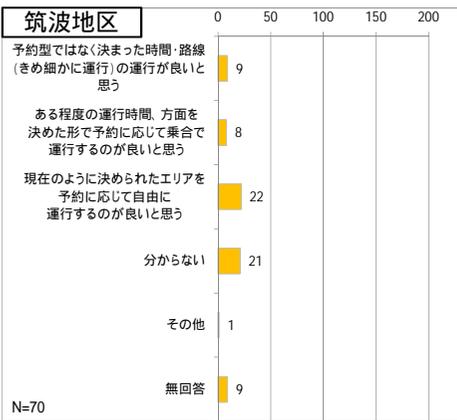
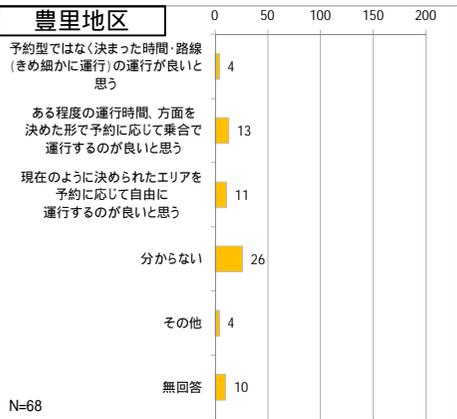
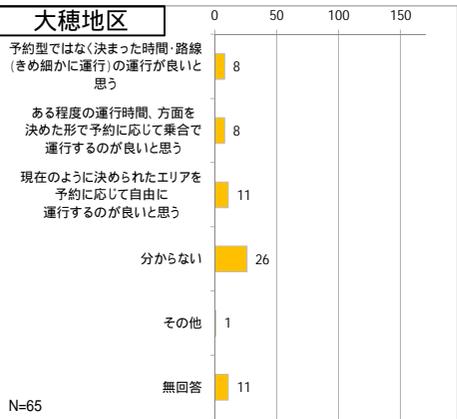
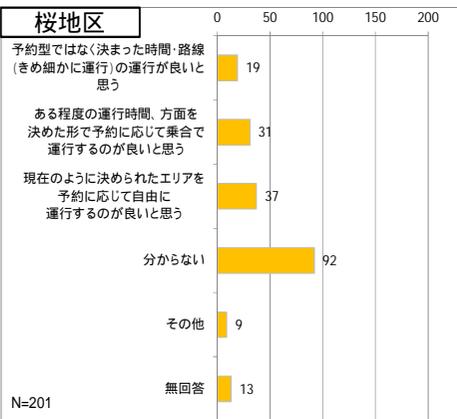
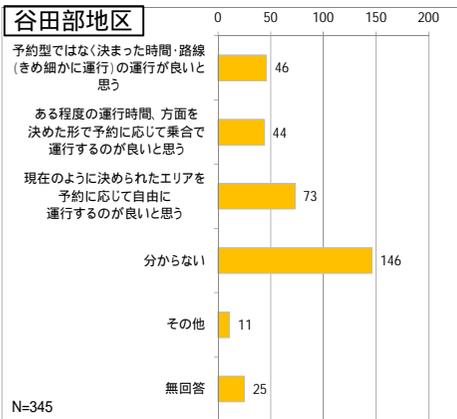
市民[問5-1]



3 . 調査概要 (つくタクの変更内容について：市民)

- 全体的にわからないとの回答が最も多く、次に現在のように決められたエリアを予約に応じて自由に運行するのがよいと思う回答が多い。

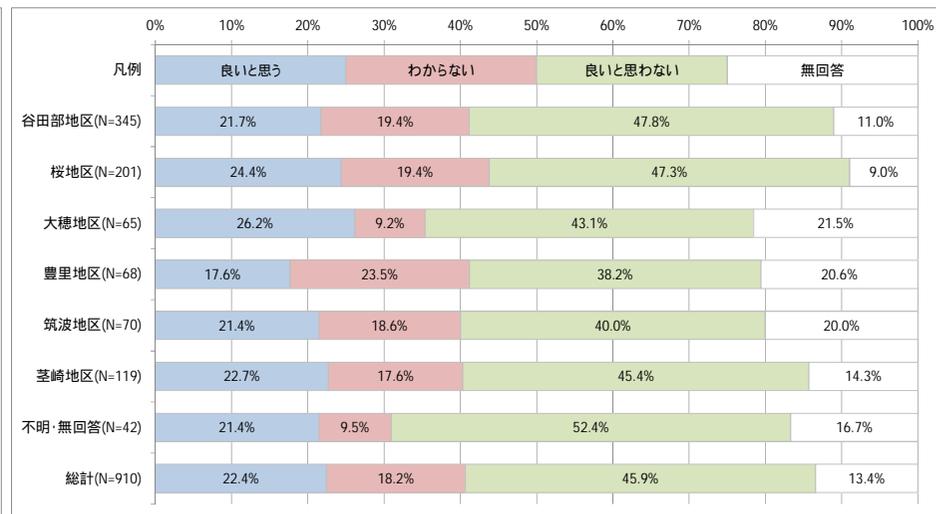
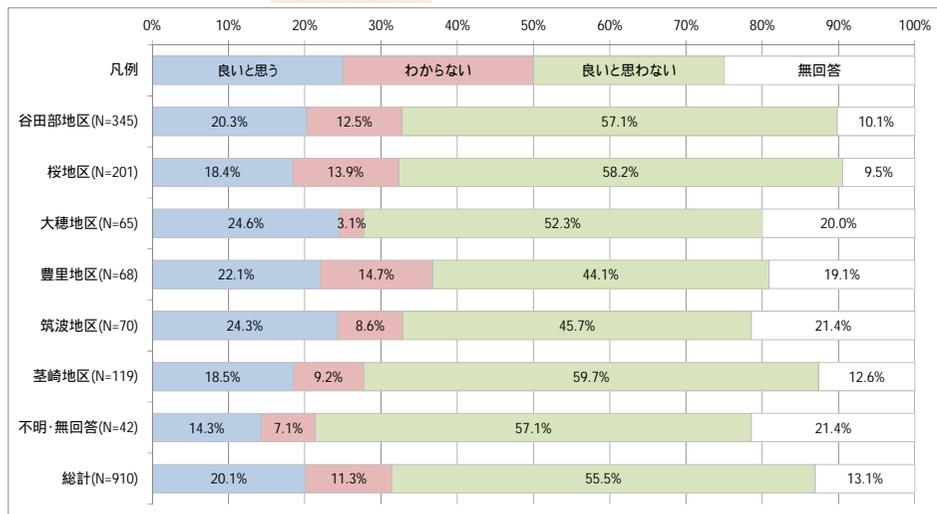
市民 [問5-2]



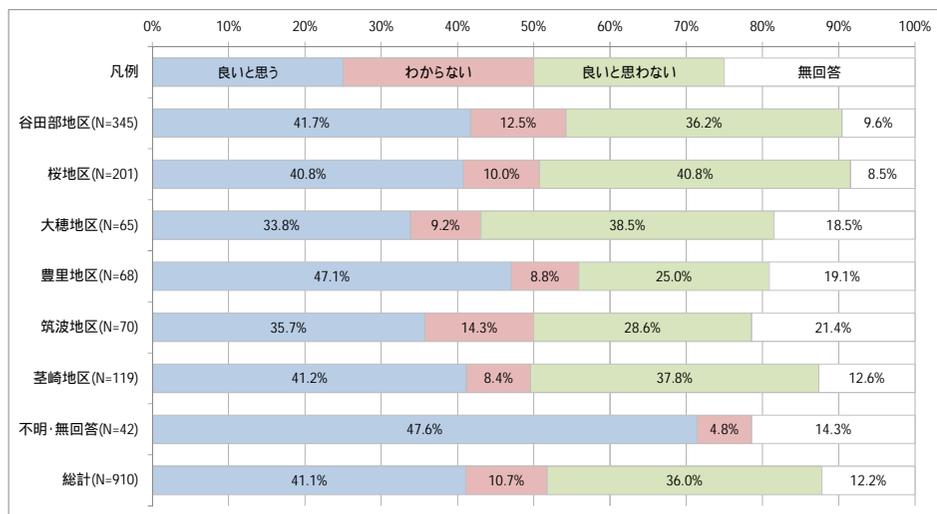
3 . 調査概要（手法の導入について：市民）

・豊里地区では、「医療機関だけを巡回するつくたくを運行する」ことが良いと思うより、タクシー利用料金助成事業の充実をさせるのがよいと思うとの回答が多い。

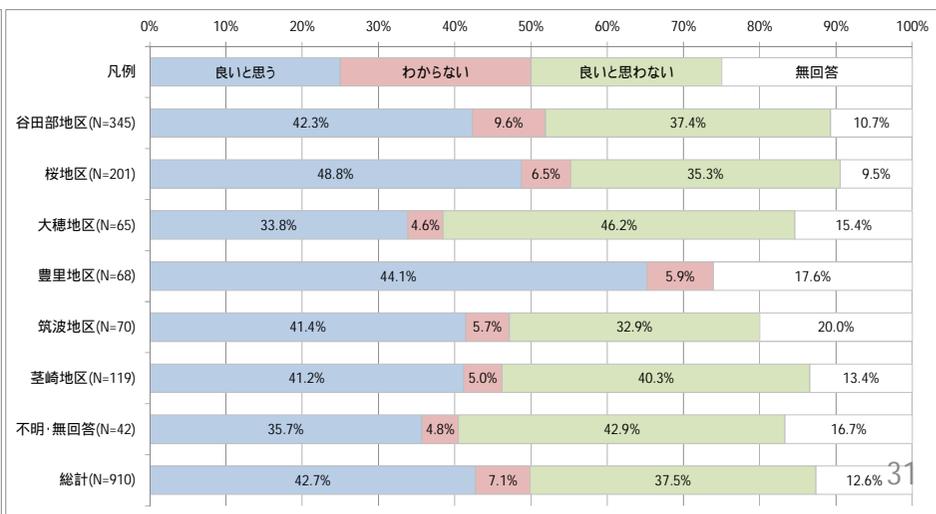
・現在のつくたくのサービスを変更せず継続して ・定時路線で運行するつくたくを運行する
 運行する 市民[問5-3]



・医療機関だけを巡回するつくたくを運行する



・タクシー利用料金助成事業の充実



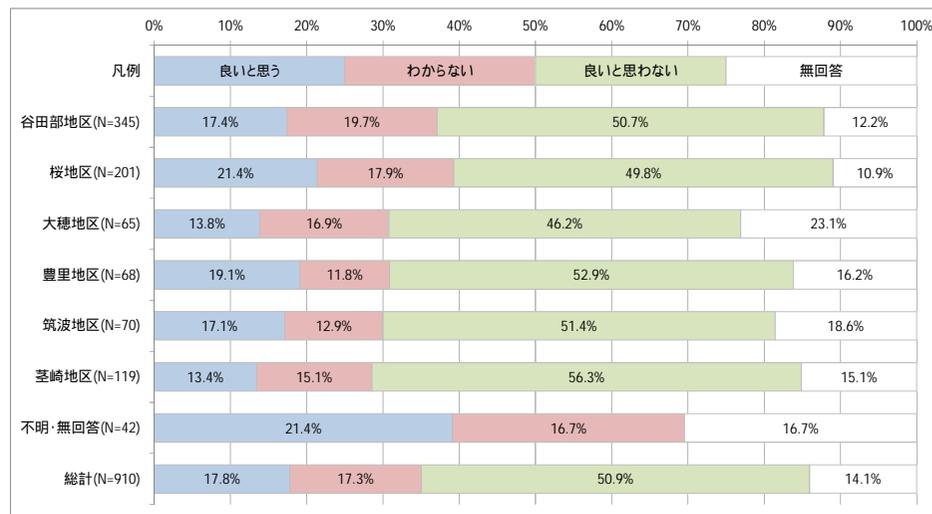
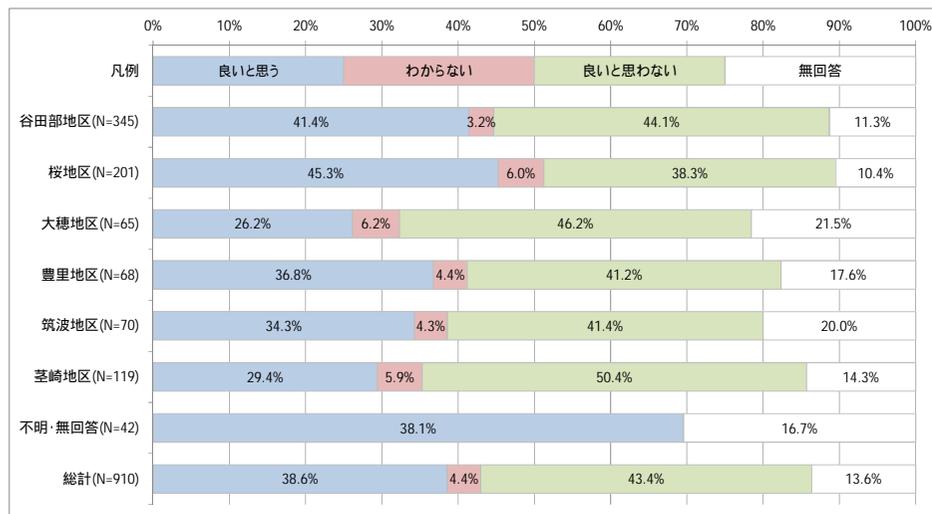
3 . 調査概要（手法の導入について：市民）

- 福祉有償運送サービスを利用できる人を増やすは桜地区でよいと思うという回答が高いが、住民主体の公共交通サービスの導入は全体的に良いと思わないとの回答が多い。

市民【問5-3】

・福祉有償運送を実施する団体を増やし、福祉有償運送サービスを利用できる人を増やす

・住民主体の公共交通サービスの導入

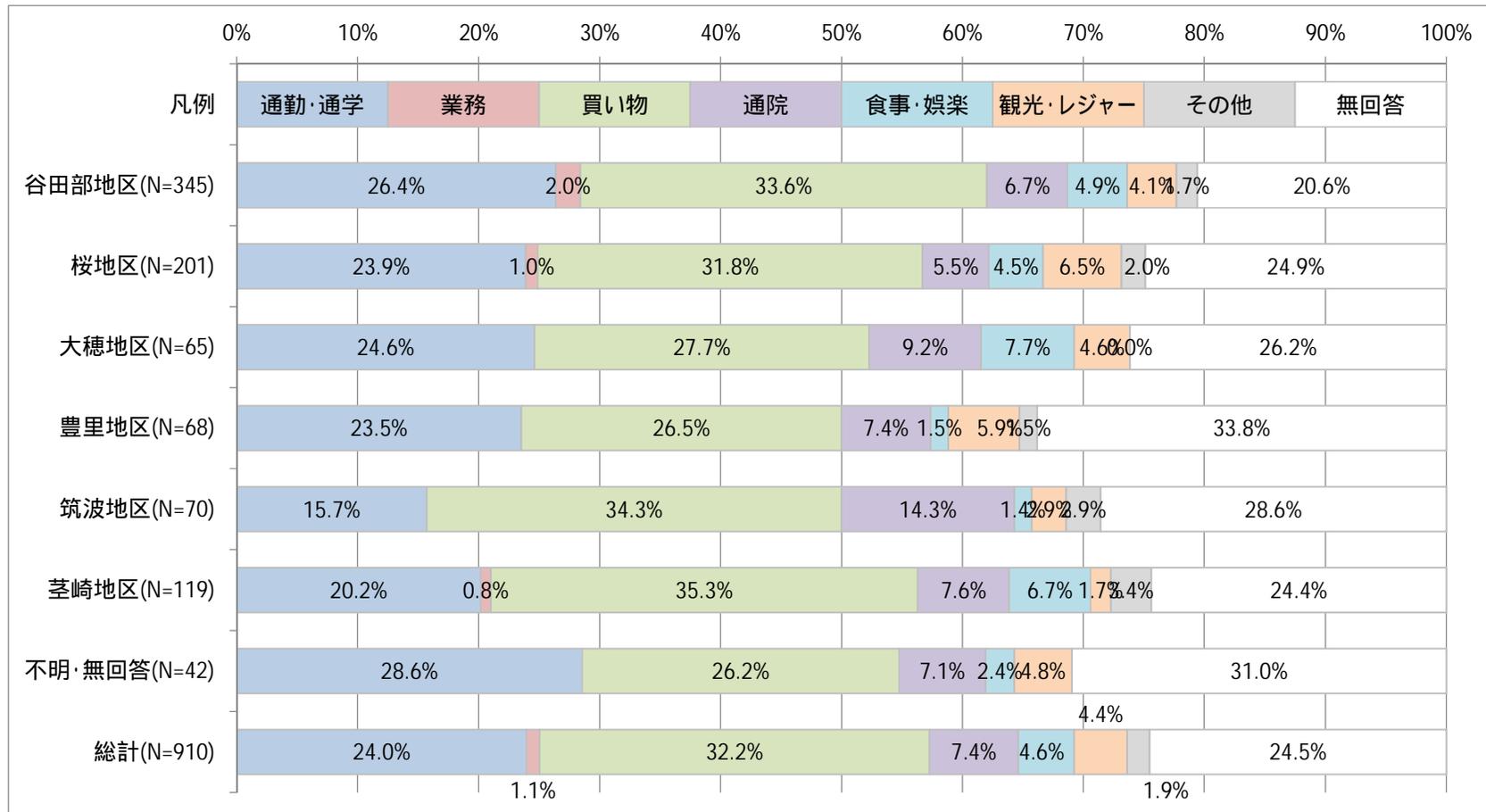


3 . 調査概要（つくバス・つくタクの今後の方針について：市民 ）

- 利用目的 では、全体的に買い物の割合が最も多く、次に通勤・通学となるが、筑波地区では、通勤・通学のほかに通院の割合が高い傾向にある。

・利用目的

市民(問6)

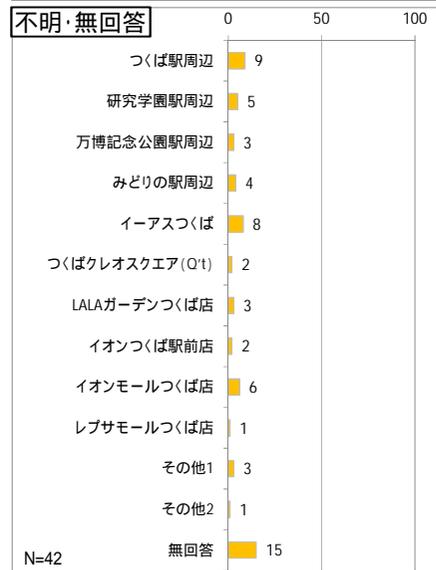
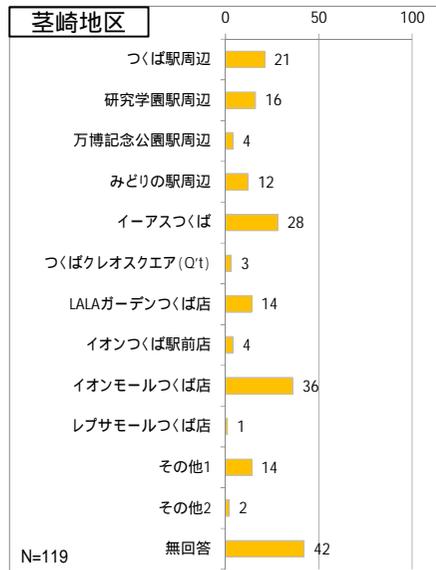
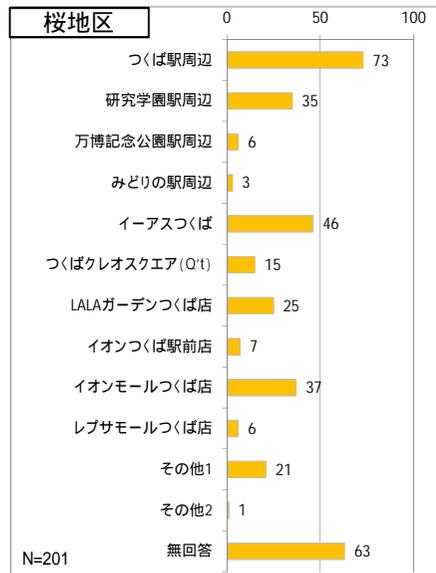
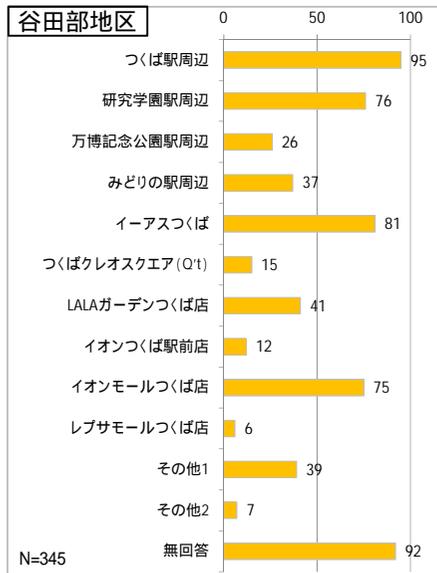


3. 調査概要（つくバス・つくタクの今後の方針について：市民）

- 希望する目的地は、谷田部地区、桜地区ではつくば駅周辺、豊里地区では研究学園駅周辺、大穂地区、筑波地区ではイースつくば、荃崎地区ではイオンモールつくばが多い

希望目的地

市民(問6)

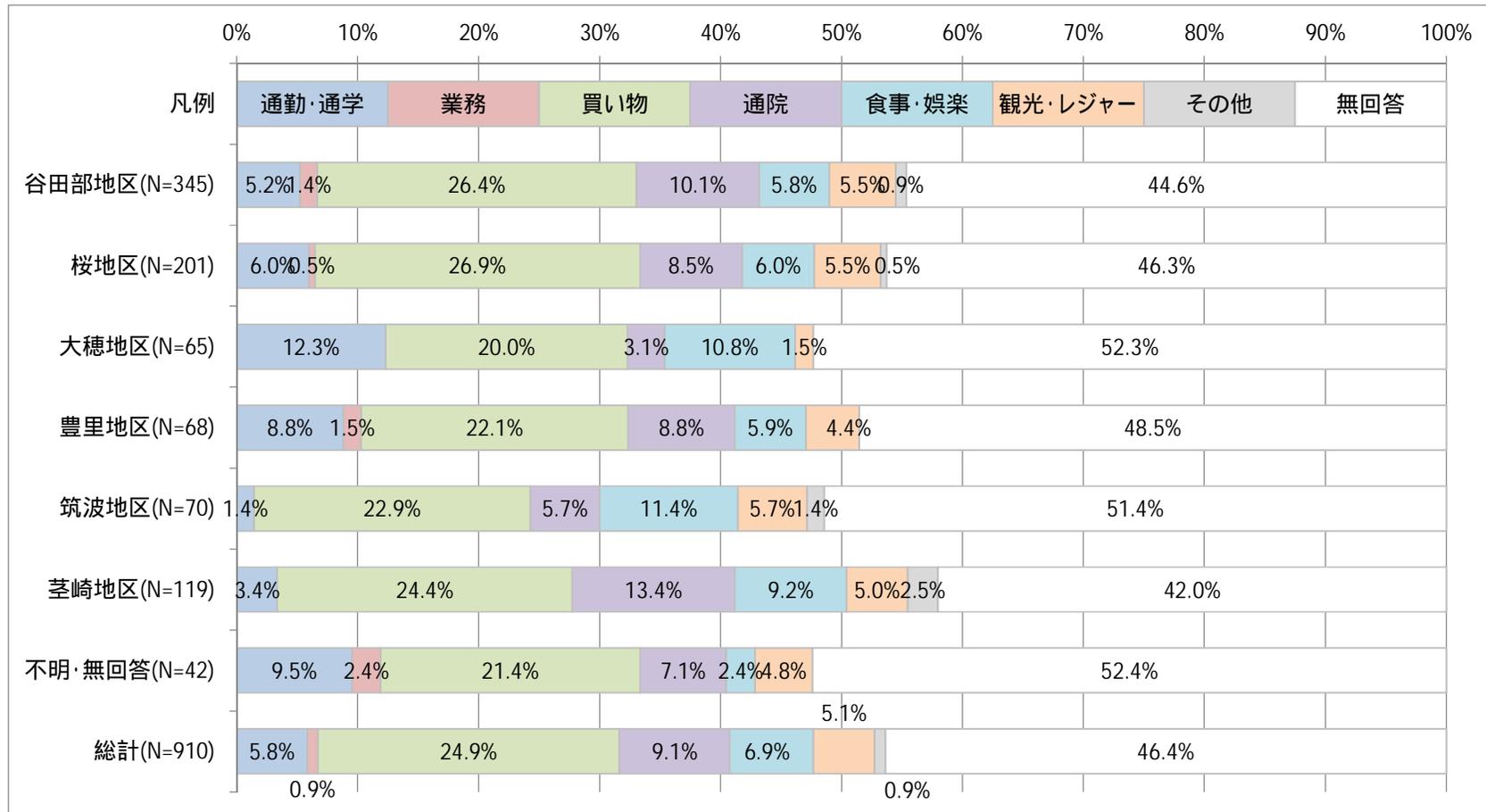


3. 調査概要（つくバス・つくタクの今後の方針について：市民）

- 各地区ともに、買い物がもっと多く、次に通院が多い傾向にあるが、大穂地区では通院に比べ通勤・通学が多い。

・利用目的

市民[問6]

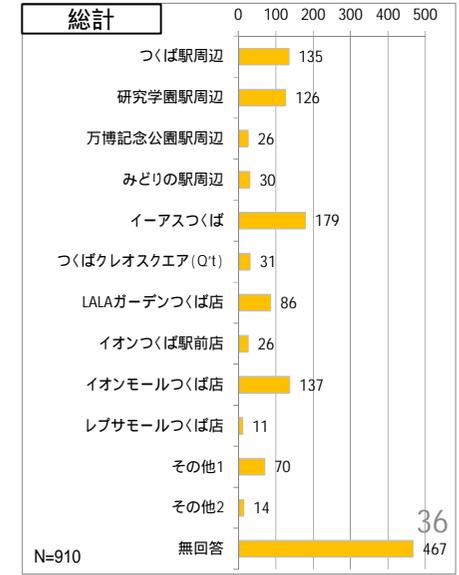
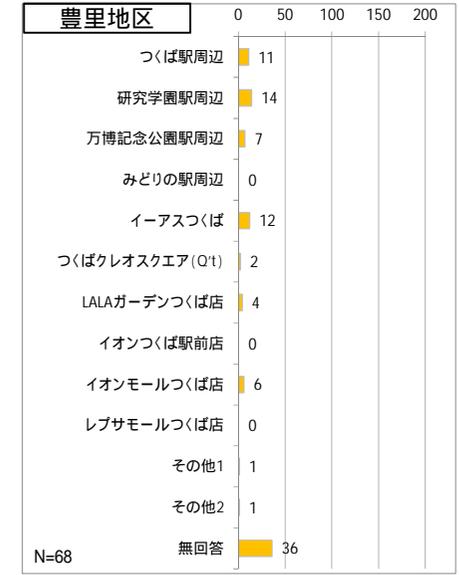
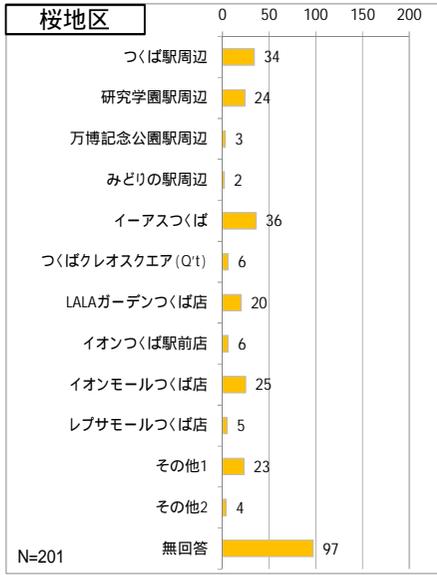
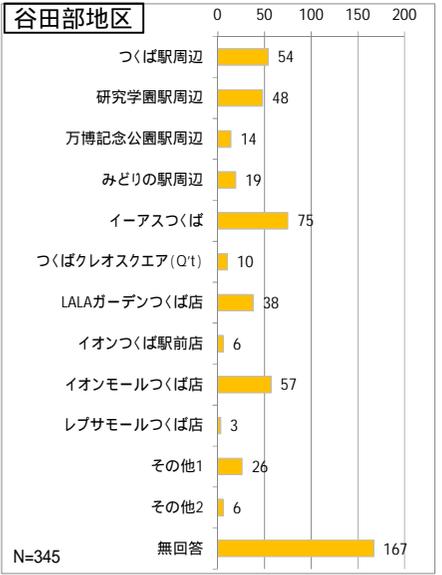


3. 調査概要（つくバス・つくタクの今後の方針について：市民）

• 各地区ともに、イーアスつくばの回答が高く、その他つくば駅周辺や研究学園駅周辺が多い。

希望目的地

市民 [問6]

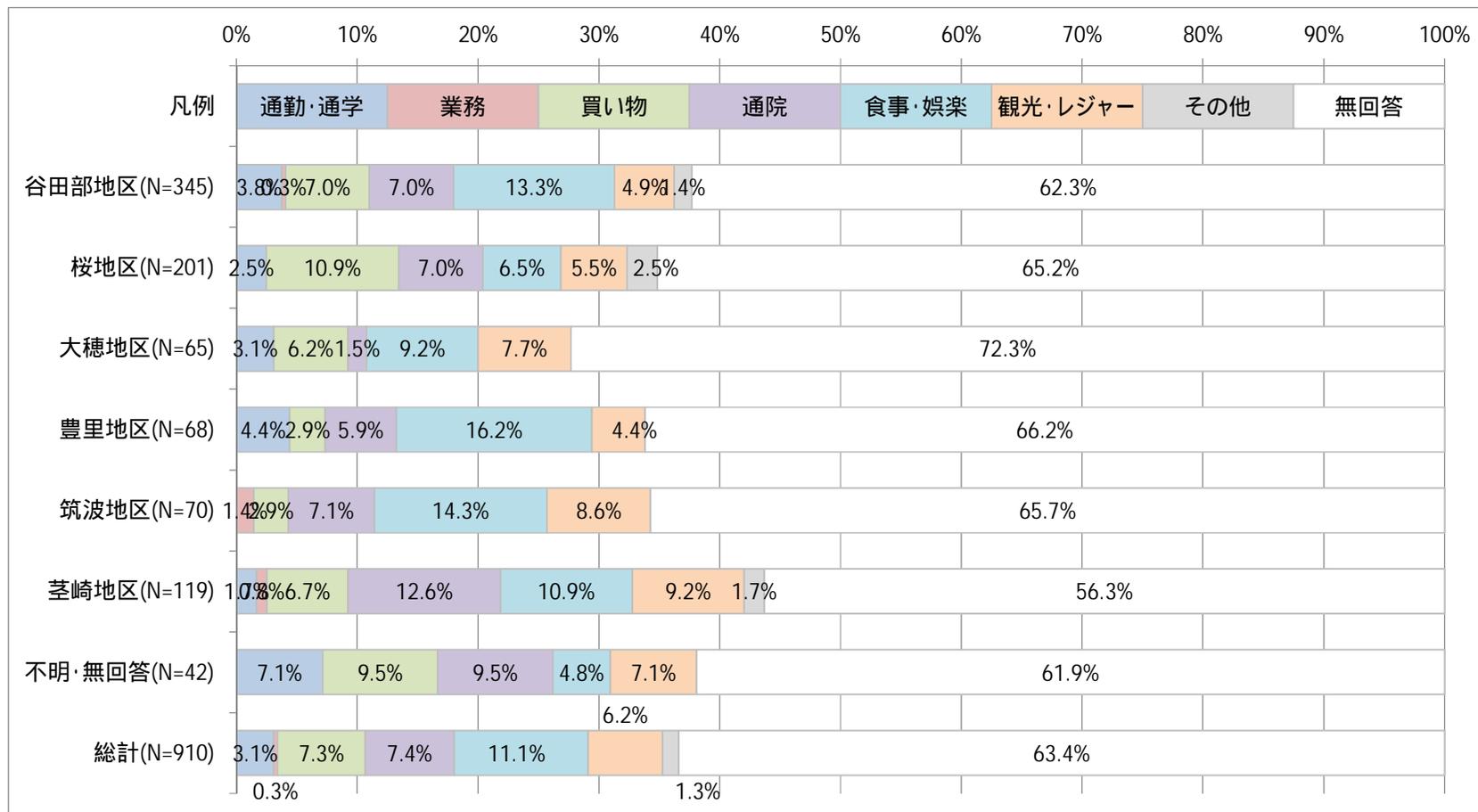


3. 調査概要（つくバス・つくタクの今後の方針について：市民）

- 各地区ともに、食事・娯楽が多い傾向にあるが、桜地区では買い物、荃崎地区では通院が多い傾向にある。

・利用目的

市民[問6]

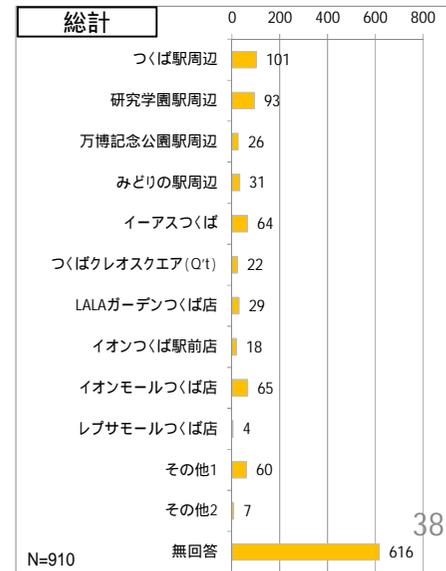
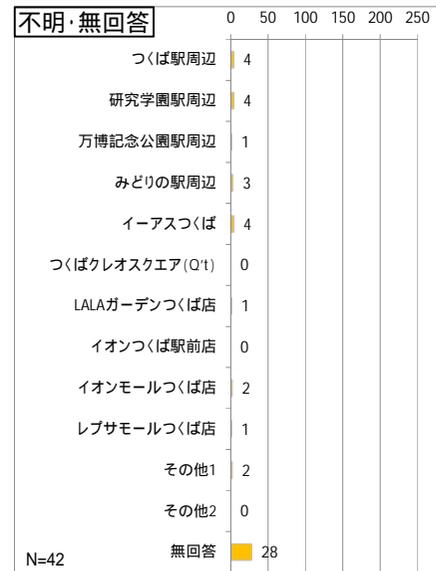
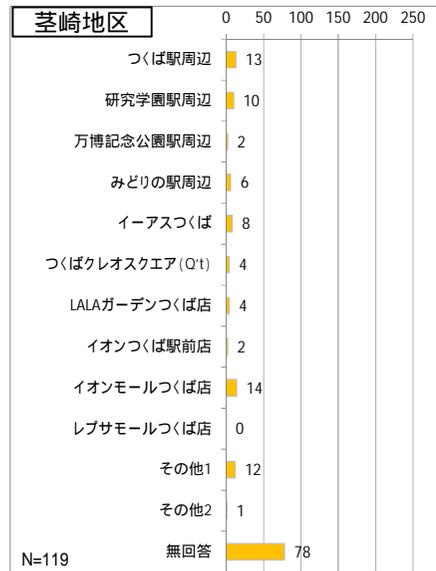
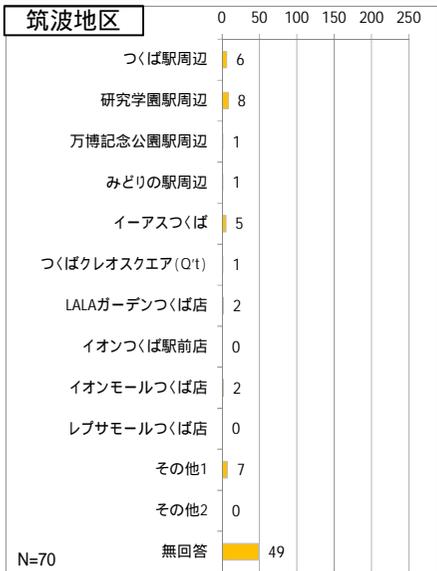


3. 調査概要（つくバス・つくタクの今後の方針について：市民）

• 回答が少ないが、各地区ともに、つくば駅周辺、研究学園駅周辺やイーアスつくばが多い。

希望目的地

市民[問6]

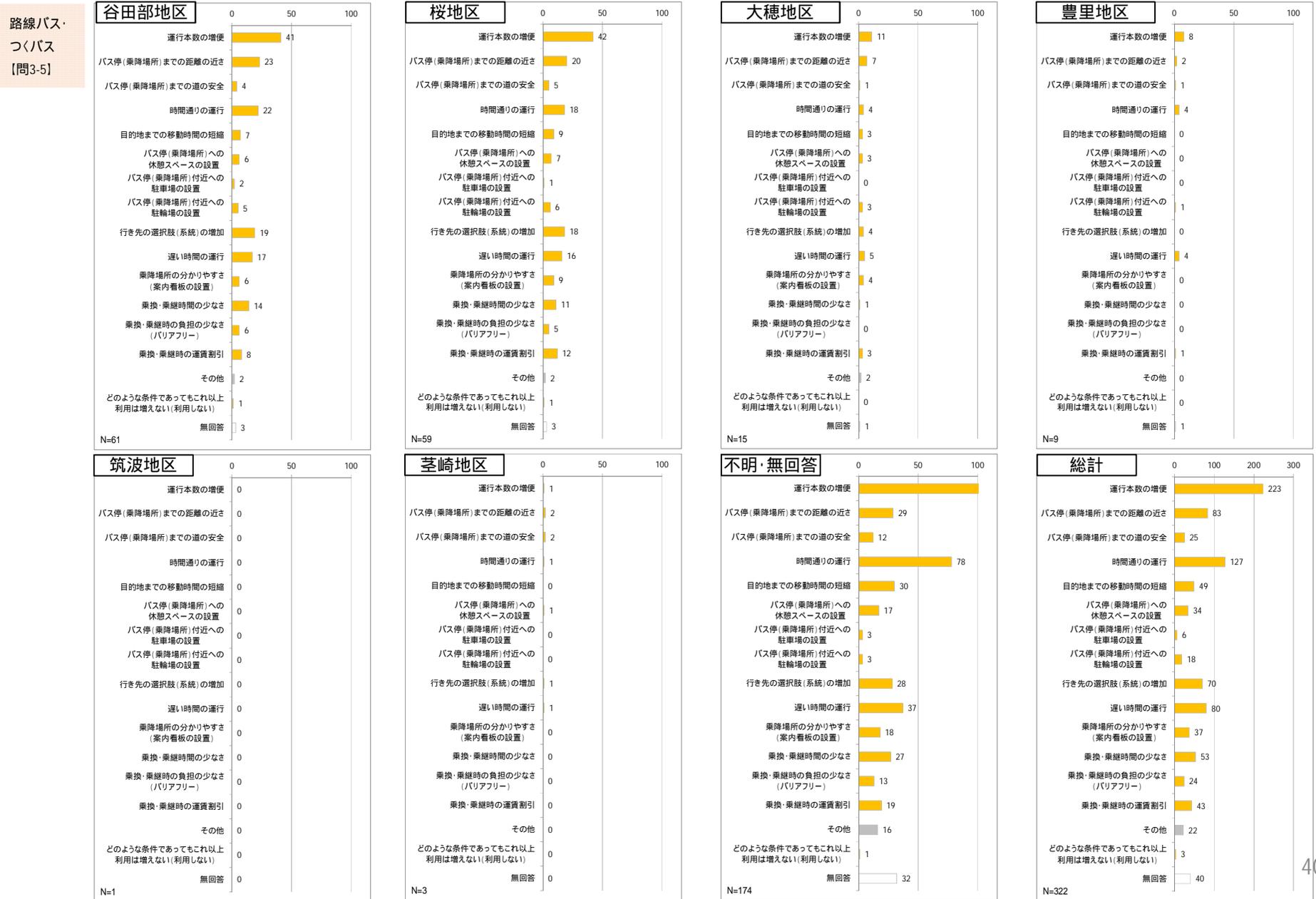




平成29年度アンケート クロス集計(路線バス・つくバス)

3. 調査概要（市内の公共交通を利用するために必要な条件：路線バス・つくバス）

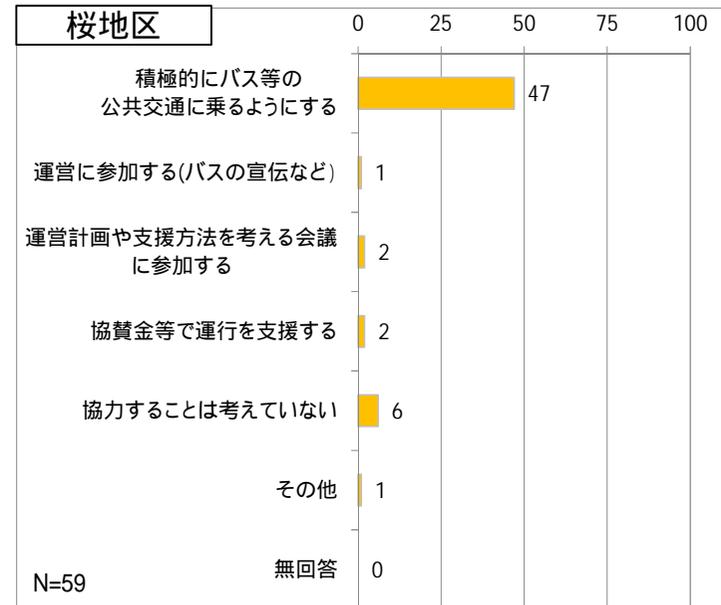
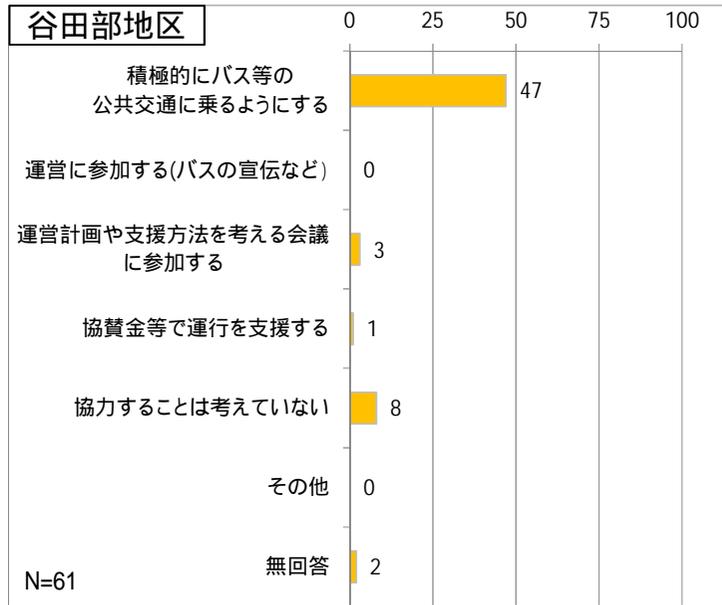
• 各地区ともに、運行本数の増便、バス停までの距離の近さ、時間通りの運行の回答が多い。



3. 調査概要（公共交通の運営に協力できること：路線バス・つくバス）

• 各地区ともに、「積極的にバス等の公共交通に乗るようにする」との割合が多い。

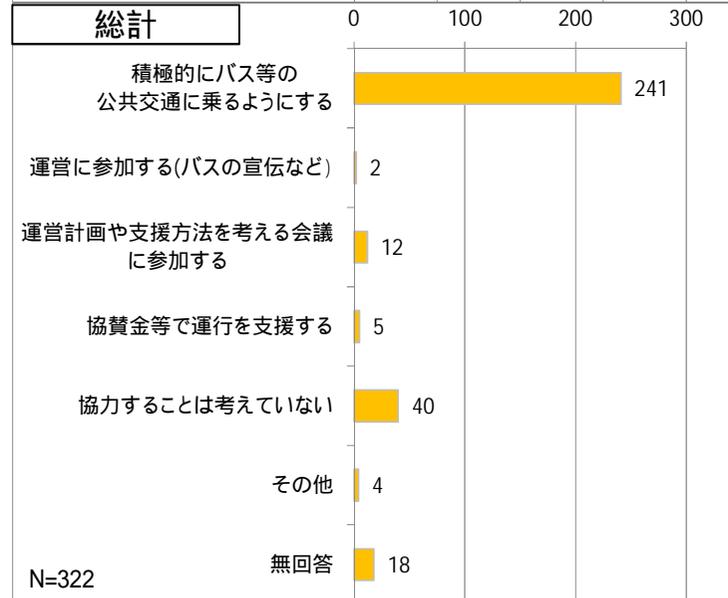
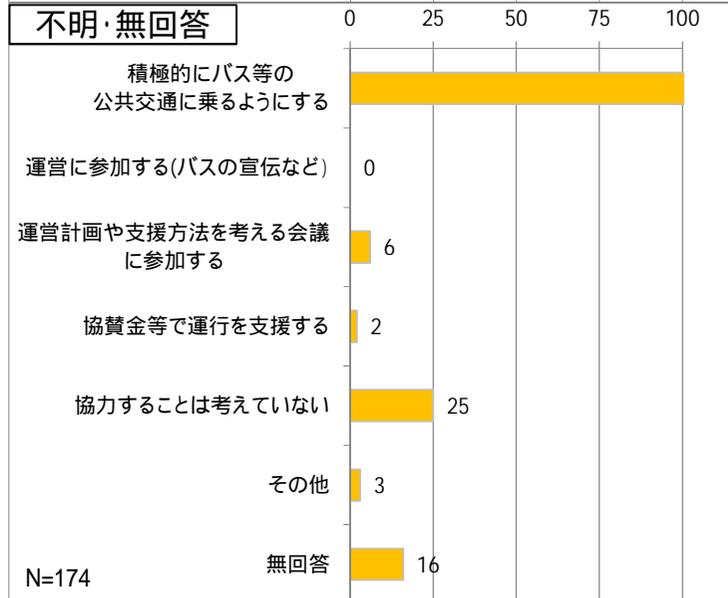
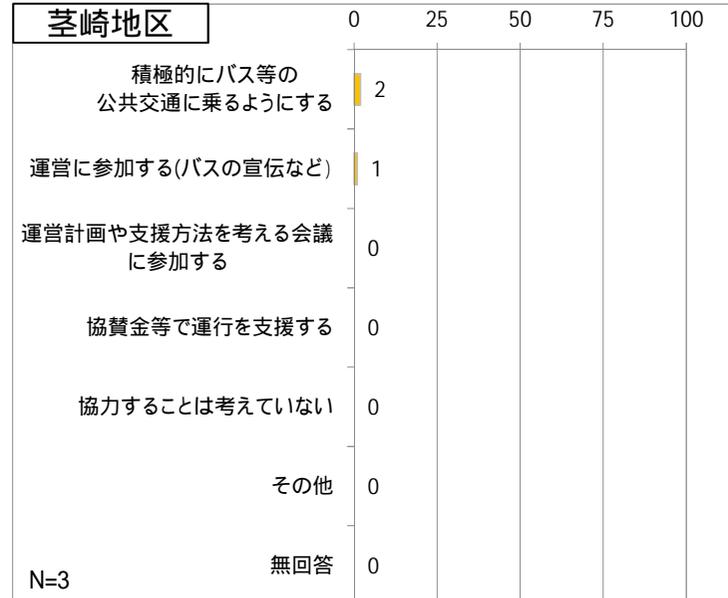
路線バス・つくバス【問3-7】



3. 調査概要（公共交通の運営に協力できること：路線バス・つくバス）

• 各地区ともに、「積極的にバス等の公共交通に乗るようにする」との割合が多い。

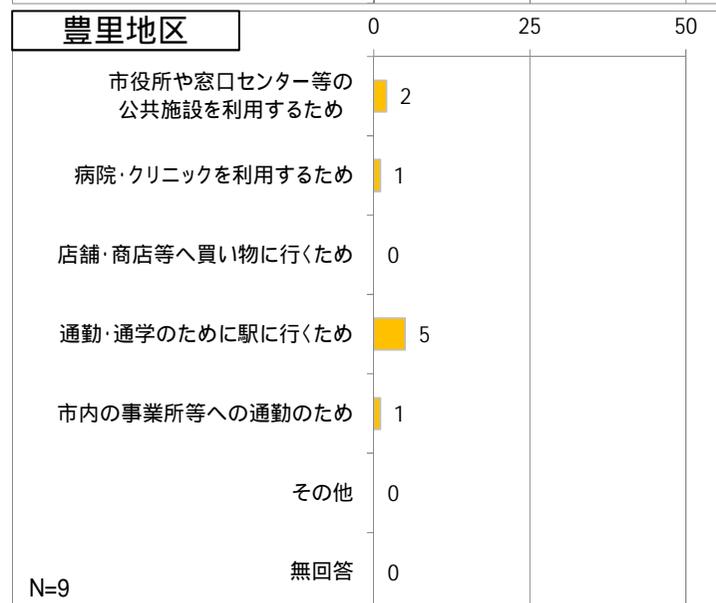
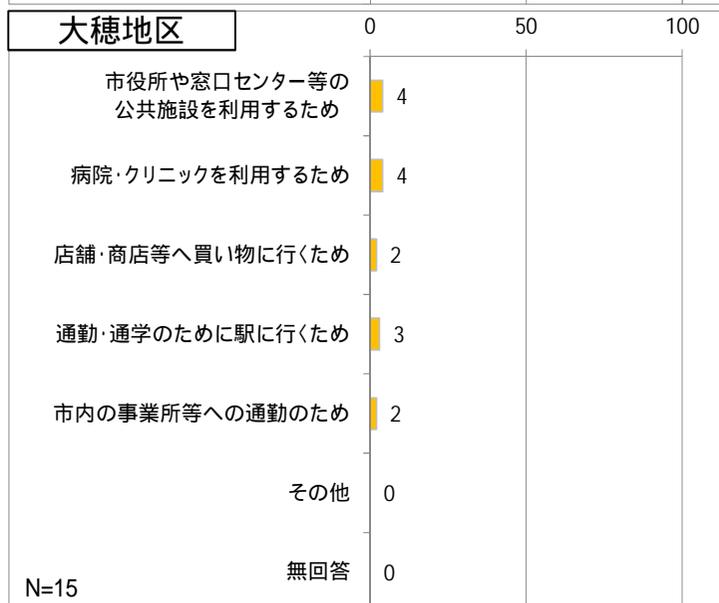
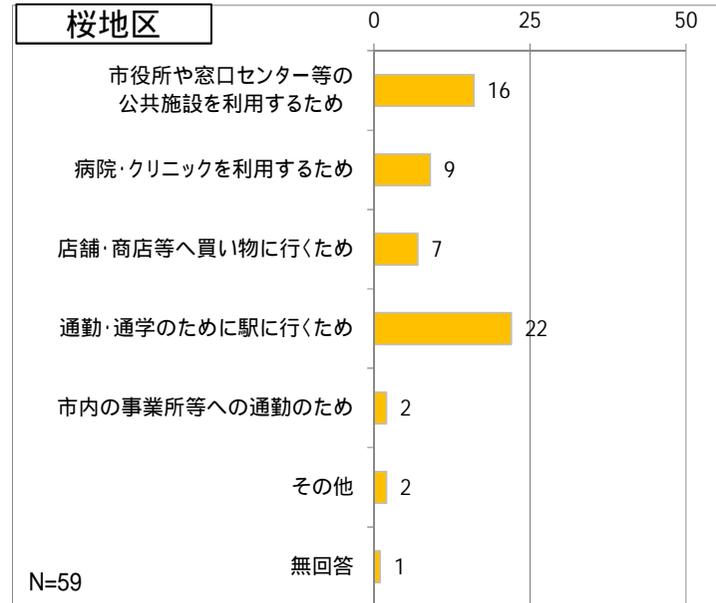
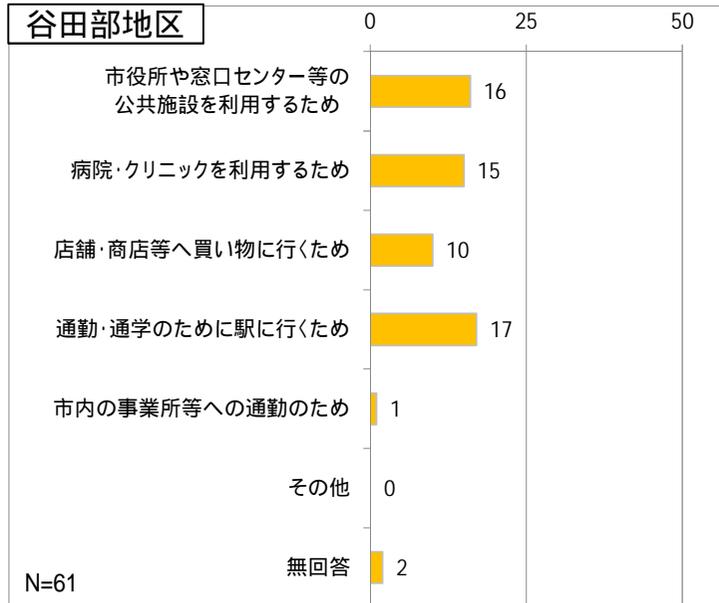
路線バス・つくバス【問3-7】



3. 調査概要（バス停設置場所を考える際に重視する利用目的：路線バス・つくバス）

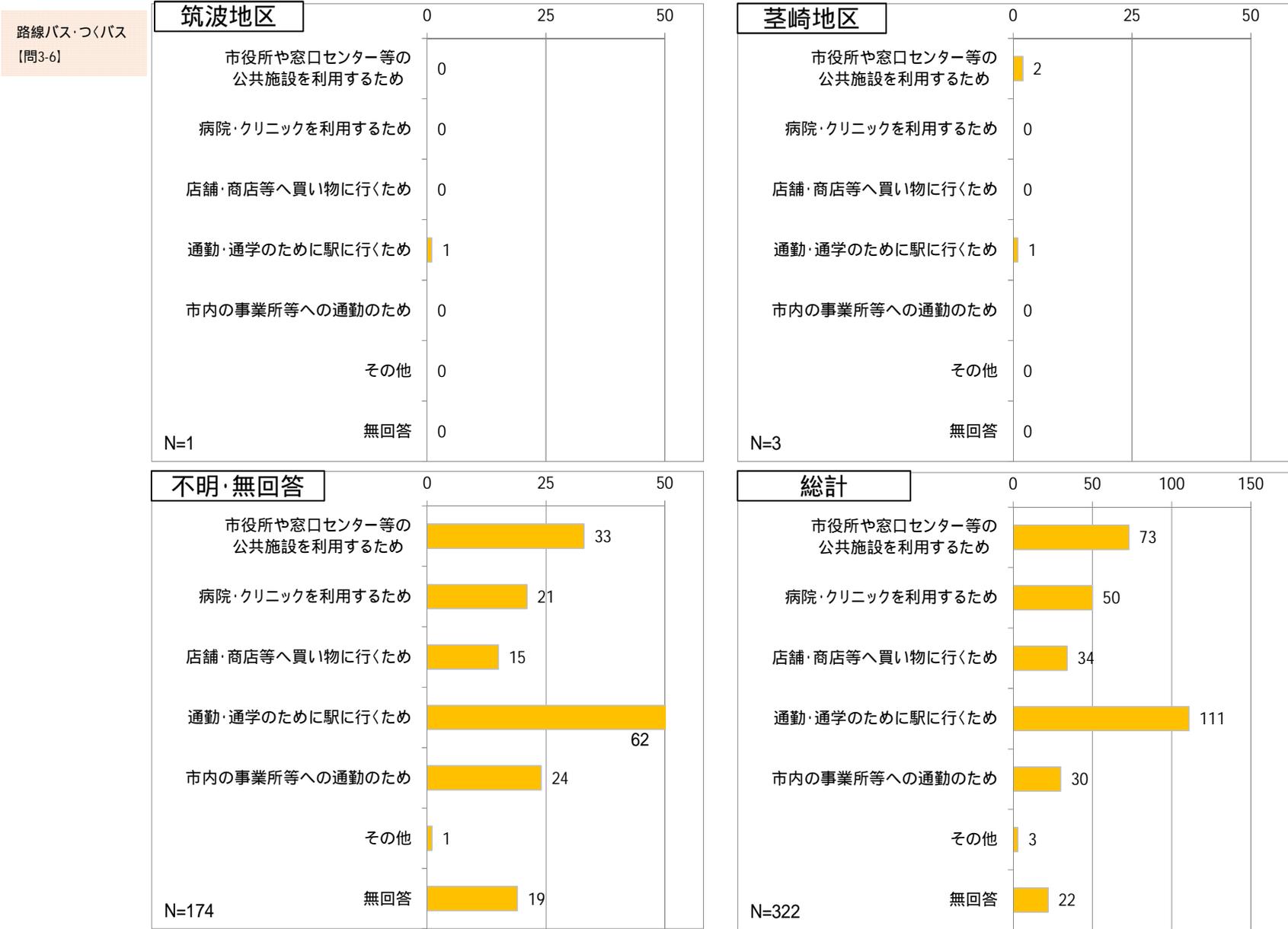
- 各地区ともに、通勤・通学のために駅に行くため、市役所や窓口センター等の公共施設を利用するための割合が高い傾向にある。

路線バス・つくバス
【問3-6】



3. 調査概要（バス停設置場所を考える際に重視する利用目的：路線バス・つくバス）

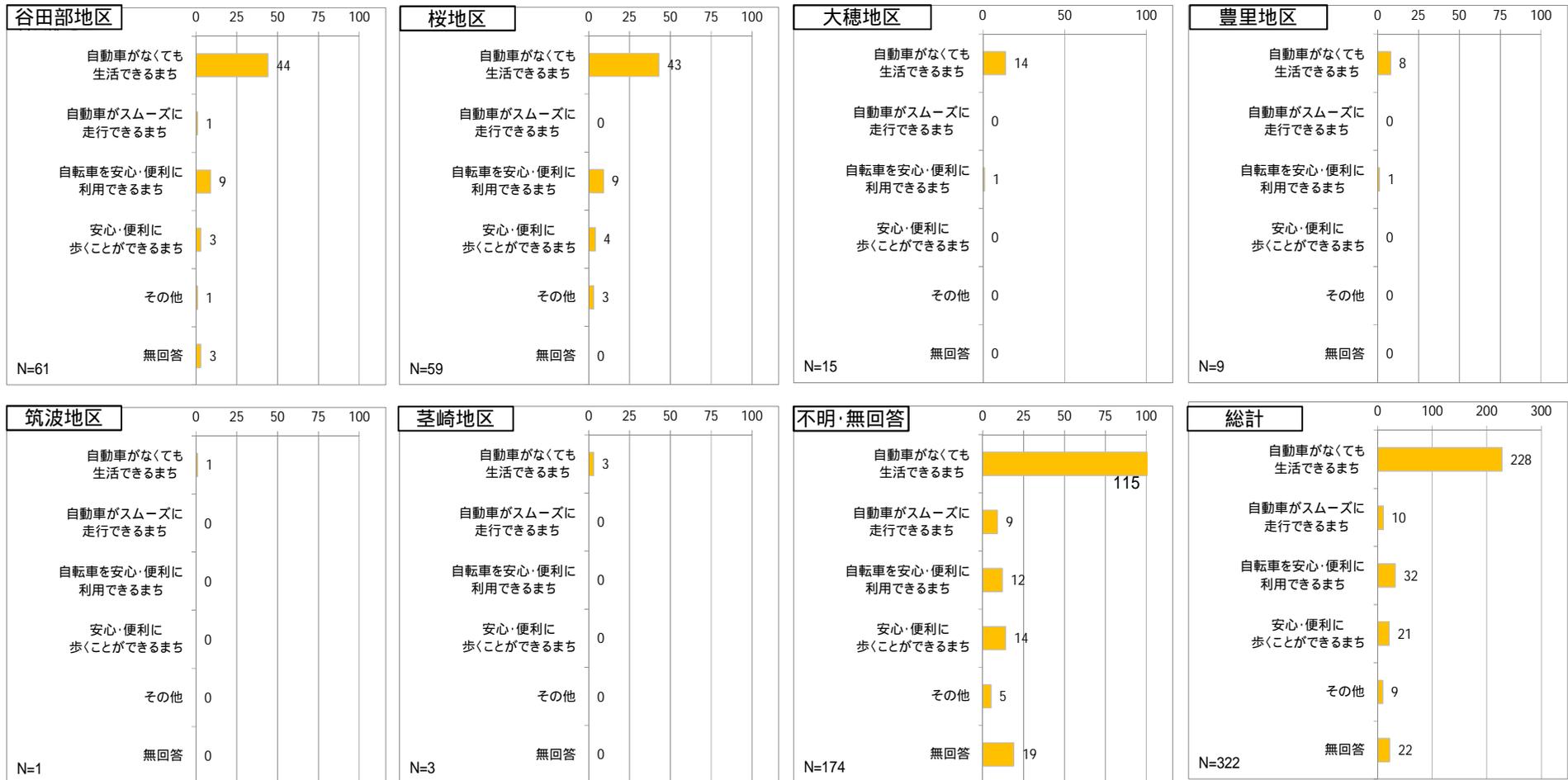
- 各地区ともに、通勤・通学のために駅に行くため、市役所や窓口センター等の公共施設を利用するための割合が高い傾向にある。



3. 調査概要（望ましい公共交通について：路線バス・つくバス）

• 各地区ともに、「自動車でもなくても生活できるまち」の回答割合が高い。

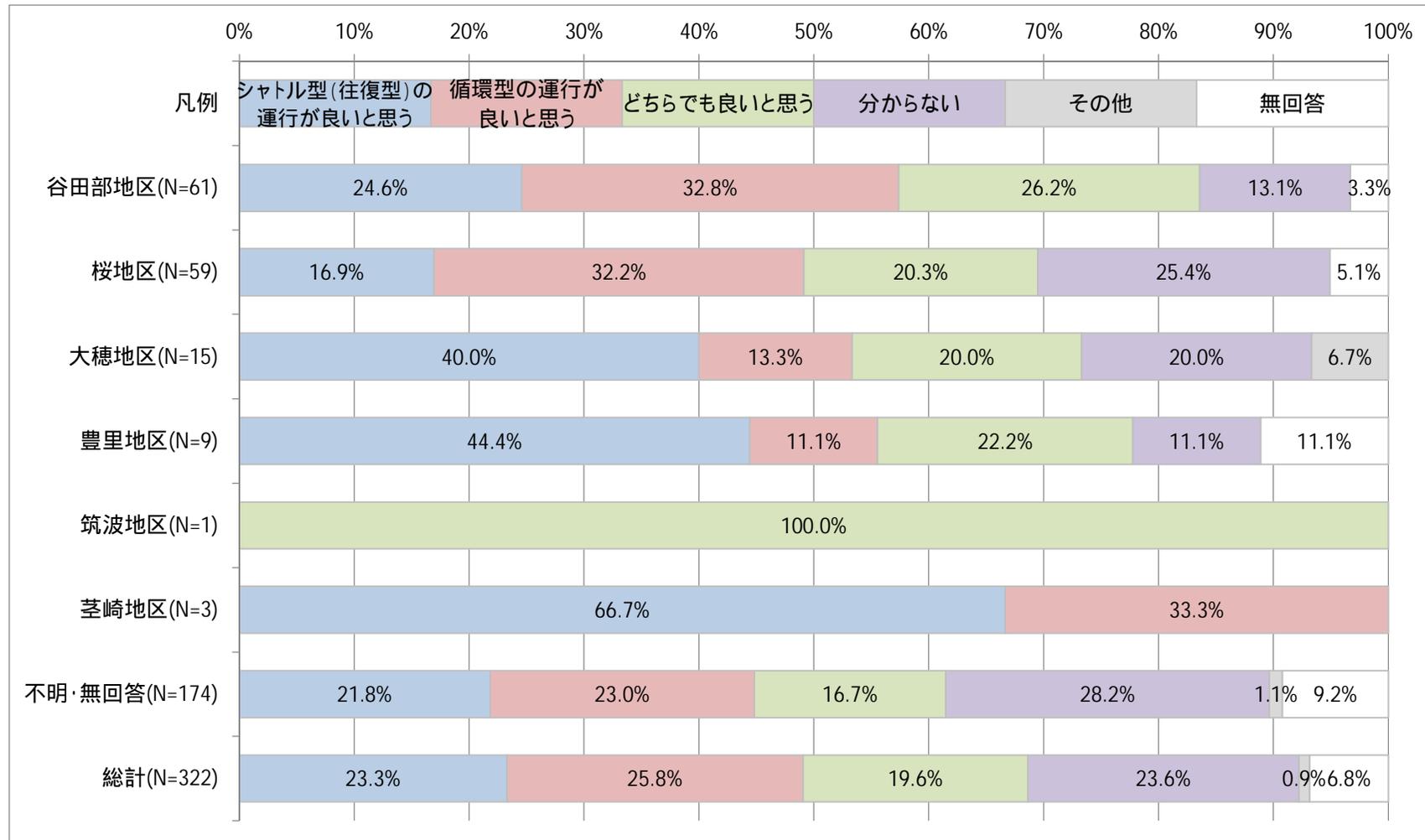
路線バス・つくバス【問3-8】



3. 調査概要（つくバスの望ましい運行方法：路線バス・つくバス）

- 谷田部地区と桜地区では循環型の運行が良いと思うとの回答が多く、大穂地区と豊里地区ではシャトル型の運行が良いと思うの割合が高い。

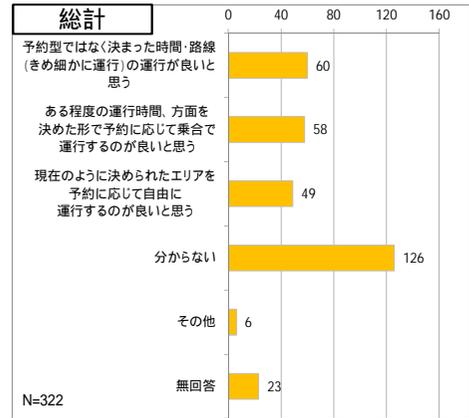
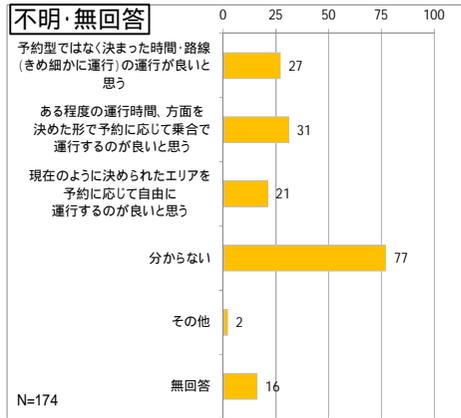
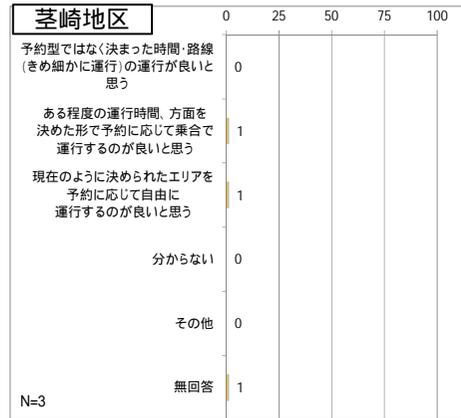
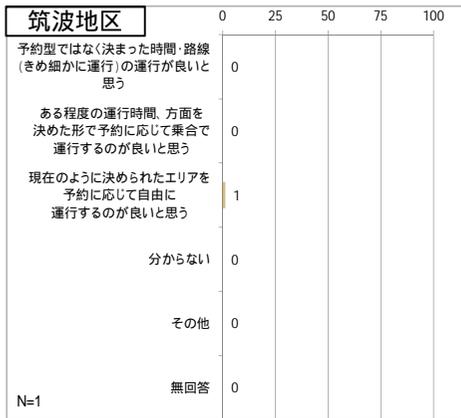
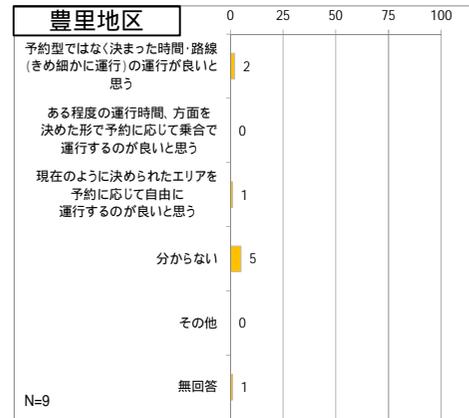
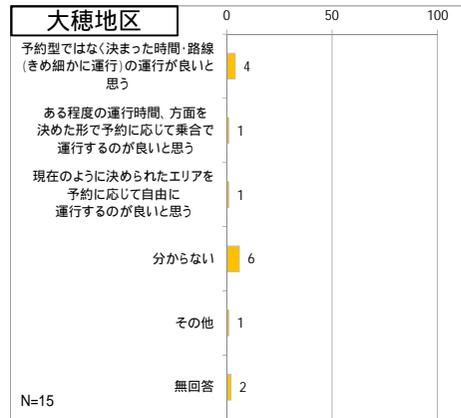
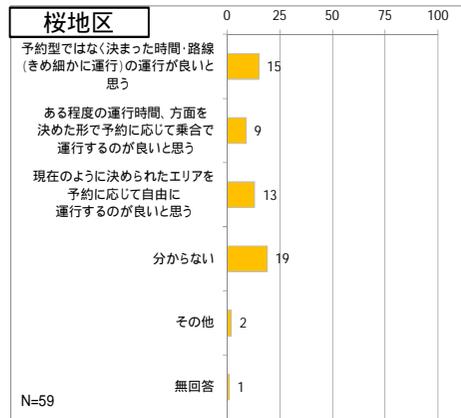
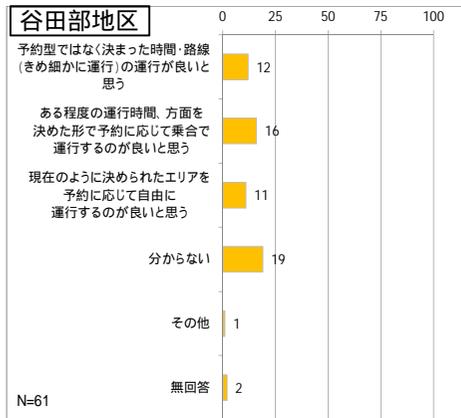
路線バス・つくバス【問4-1】



3. 調査概要（つくタクの変更内容について：路線バス・つくバス）

• 全体的に現在のように決められたエリアを予約に応じて自由に運行するのがよいと思うが多い。

路線バス・つくバス【問4-2】

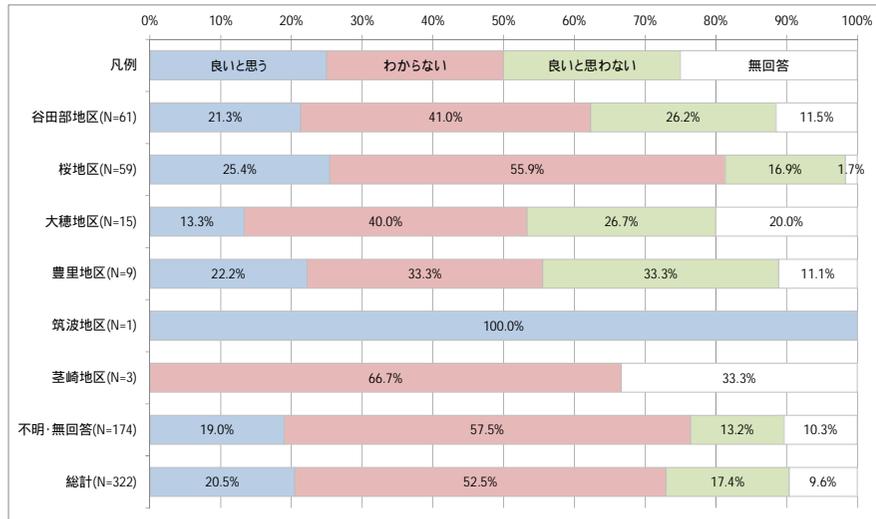


3. 調査概要（手法の導入について：路線バス・つくバス）

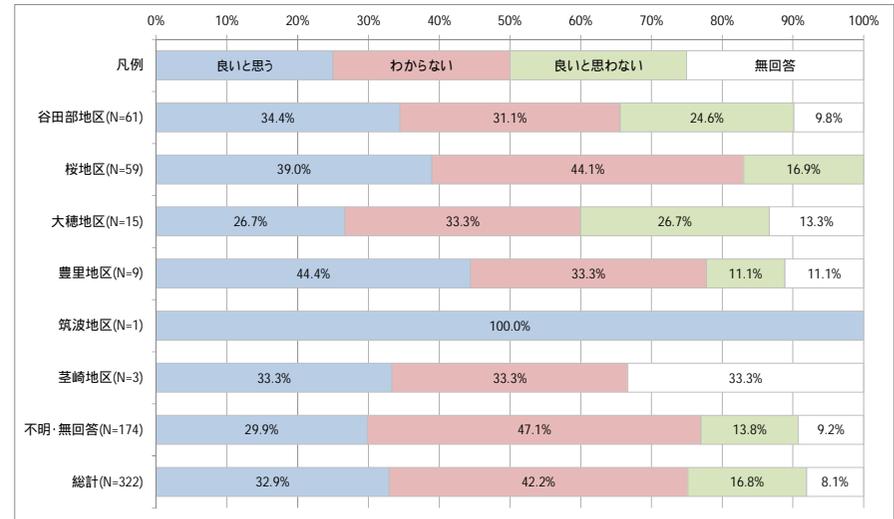
- 各地区で良いと思う割合が若干異なり、大穂地区では各項目について良いと思う割合が低い。

路線バス・つくバス【問4-3】

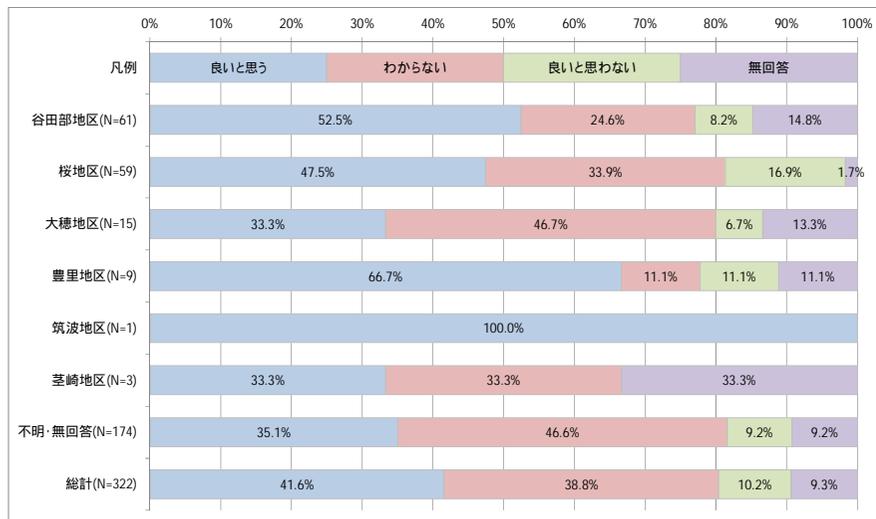
・現在のつくタクのサービスを変更せず継続して運行する



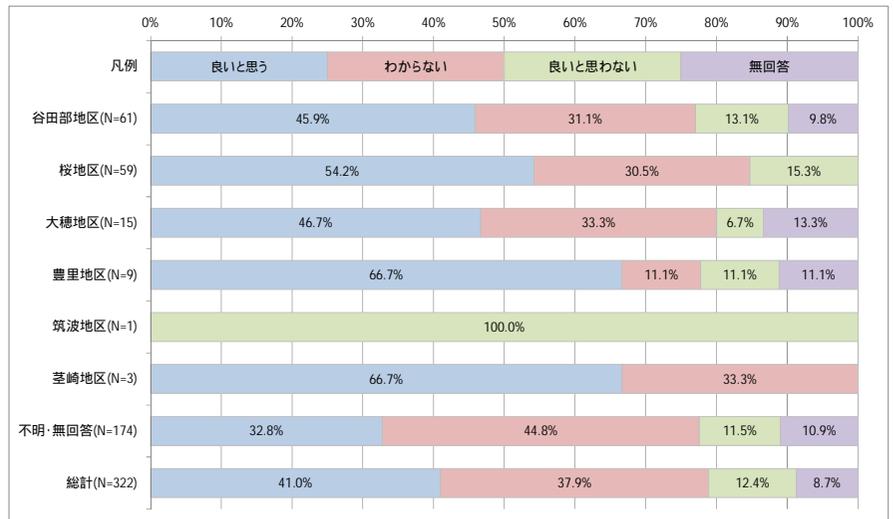
・定時路線で運行するつくタクを運行する



・医療機関だけを巡回するつくタクを運行する



・タクシー利用料金助成事業の充実

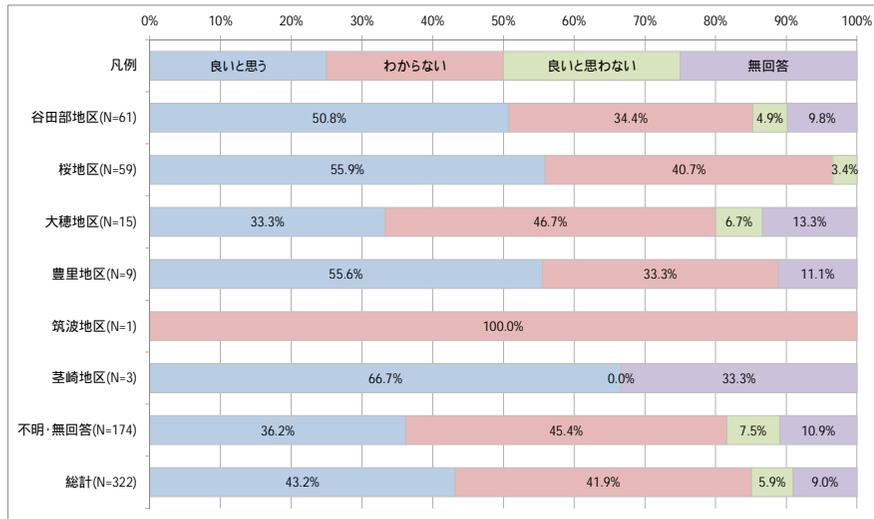


3. 調査概要（手法の導入について：路線バス・つくバス）

- 各地区で良いと思う割合が若干異なり、大穂地区では各項目について良いと思う割合が低い。

路線バス・つくバス[問4-3]

・福祉有償運送を実施する団体を増やし、福祉有償運送サービスを利用できる人を増やす



・住民主体の公共交通サービスの導入

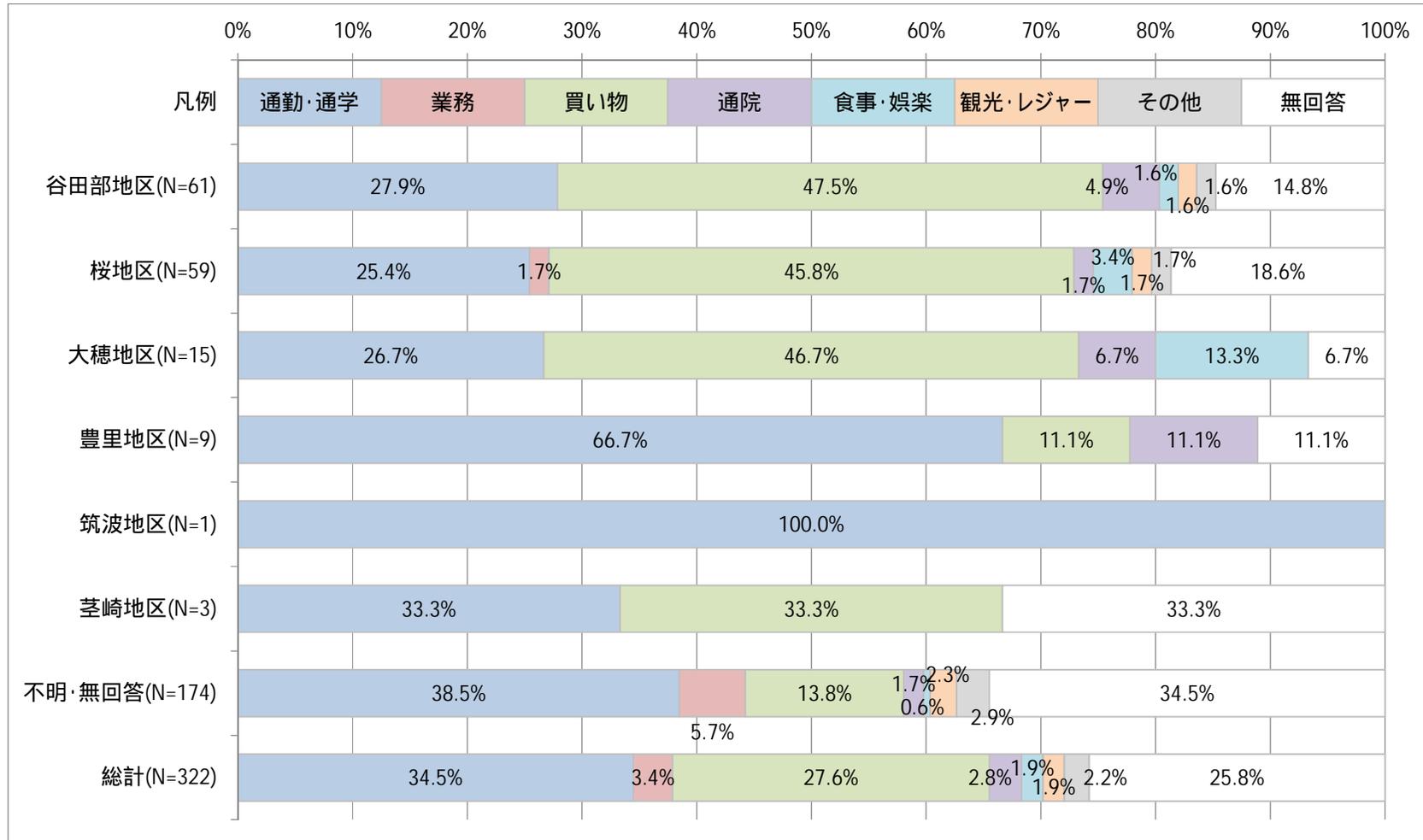


3. 調査概要（つくバス・つくタクの今後の方針について：路線バス・つくバス）

- 利用目的は、谷田部地区、桜地区、大穂地区では買い物が最も多く、他地区では通勤・通学の割合が高い。

・利用目的

路線バス・つくバス【問5】

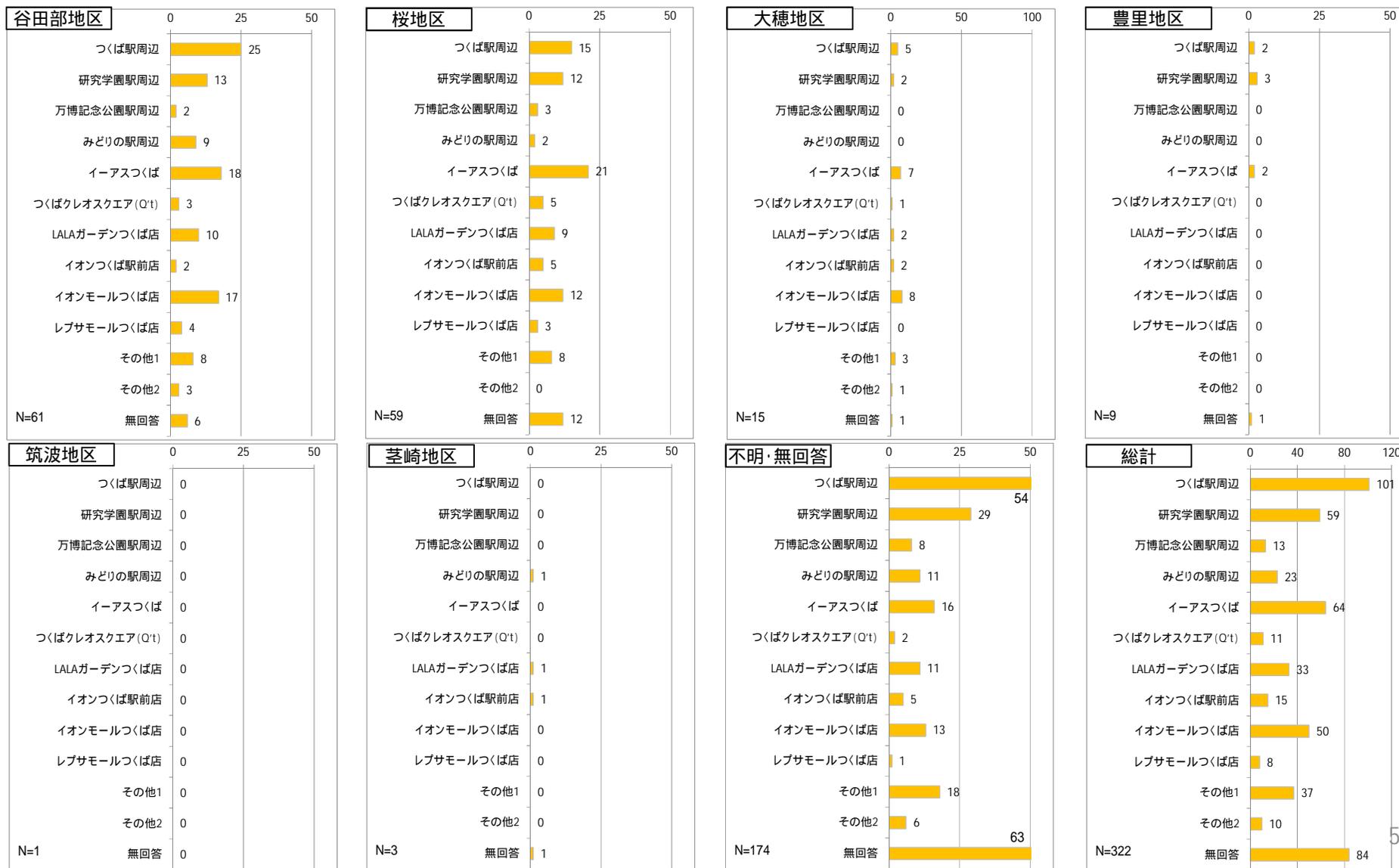


3. 調査概要（つくバス・つくタクの今後の方針について：路線バス・つくバス）

- 希望目的地は、つくば駅周辺、研究学園周辺、イーアスつくばが高い傾向にある。

希望目的地

路線バス・つくバス【問5】

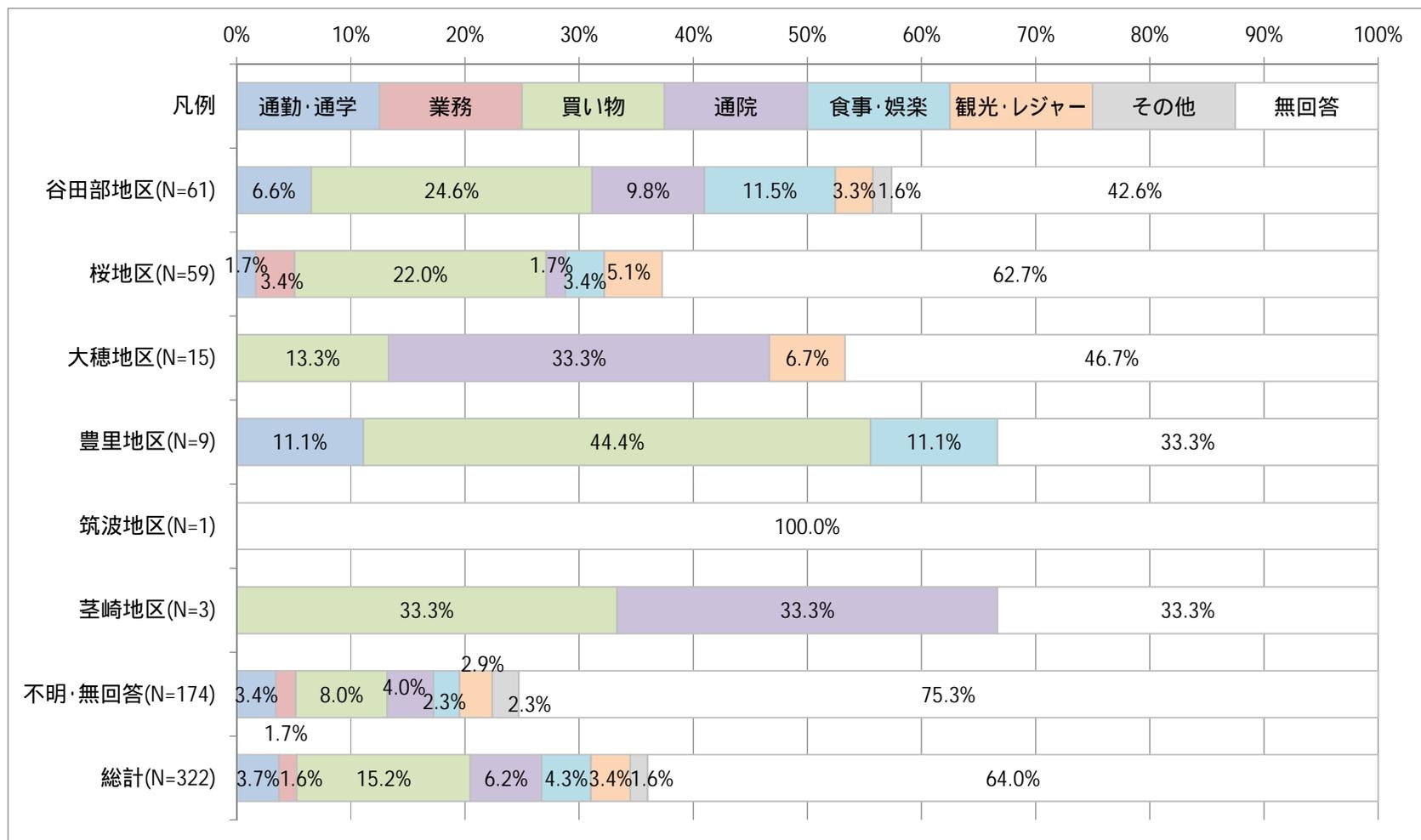


3 . 調査概要 (つくバス・つくタクの今後の方針について：路線バス・つくバス)

- 各地区ともサンプルが少ないが、買い物、通院の割合が高い。

・利用目的

路線バス・つくバス【問5】

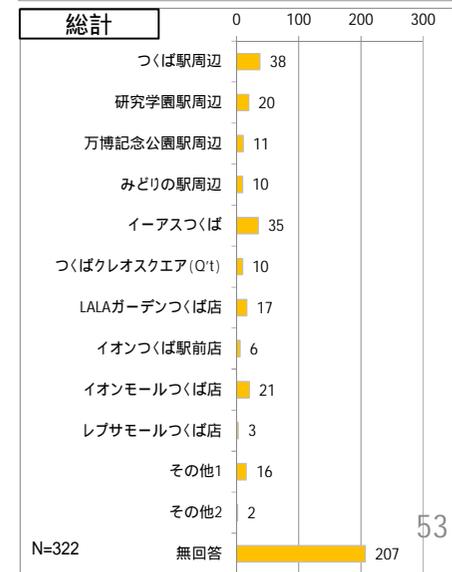
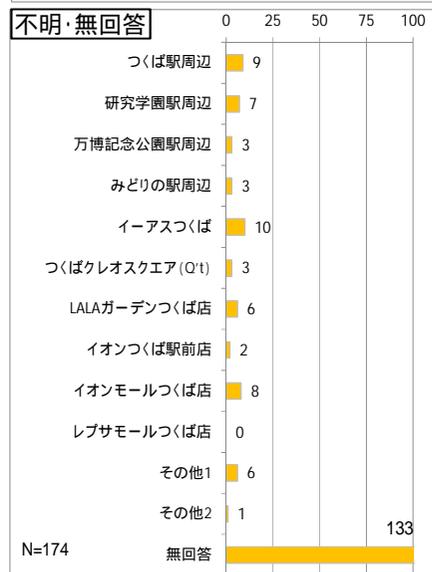
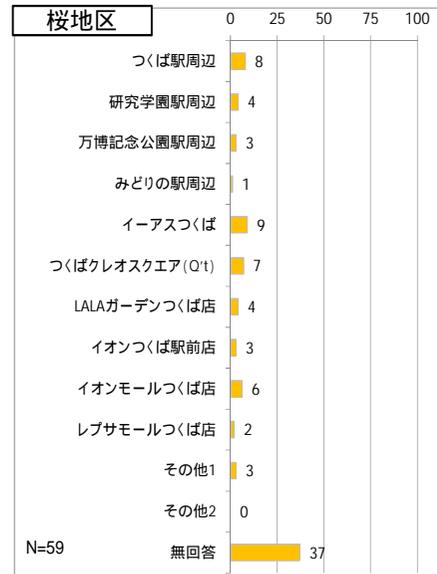
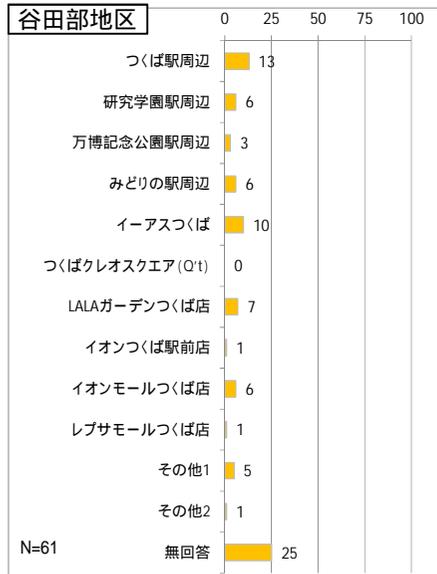


3. 調査概要（つくバス・つくタクの今後の方針について：路線バス・つくバス）

- 各地区ともサンプルが少ないが、つくば駅周辺とイーアスつくばの回答が多い。

希望目的地

路線バス・つくバス【問5】

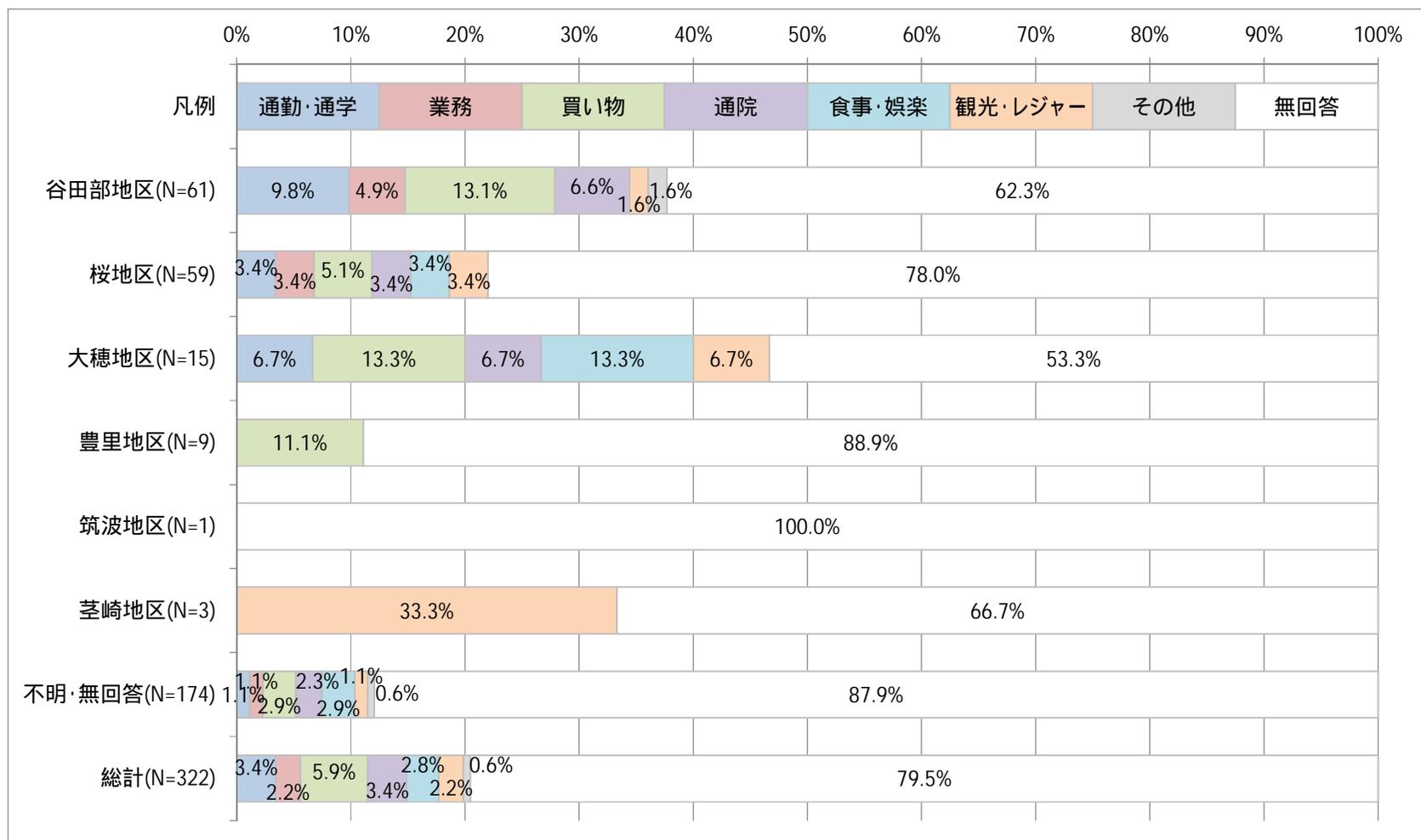


3. 調査概要（つくバス・つくタクの今後の方針について：路線バス・つくバス）

- サンプル数が少ないが、買い物や食事・娯楽の割合が高い。

・利用目的

路線バス・つくバス【問5】

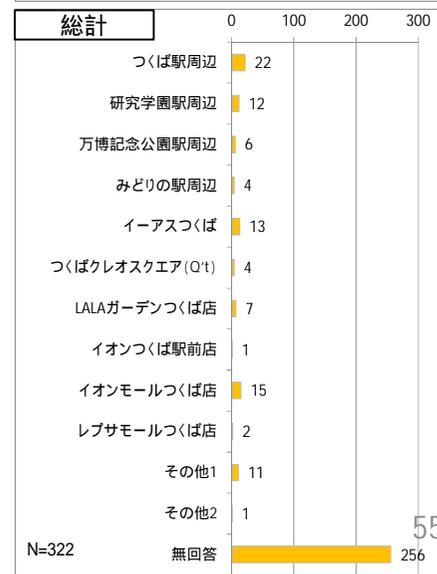
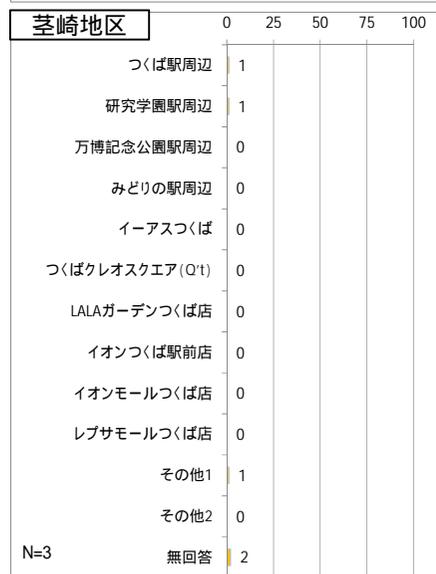
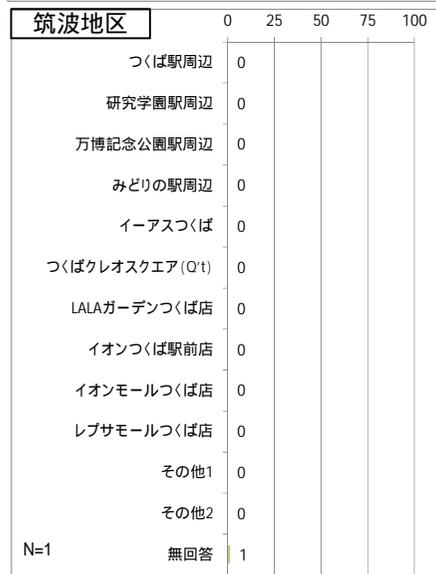
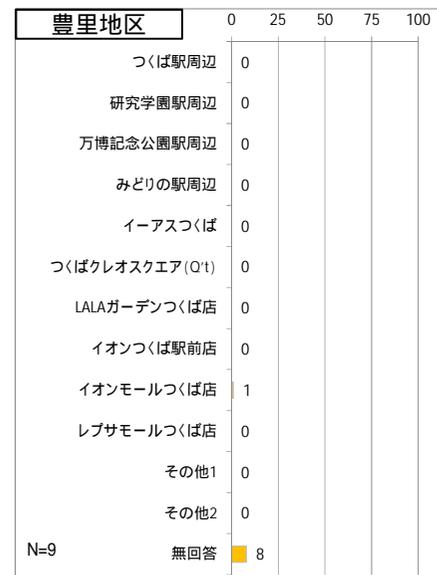
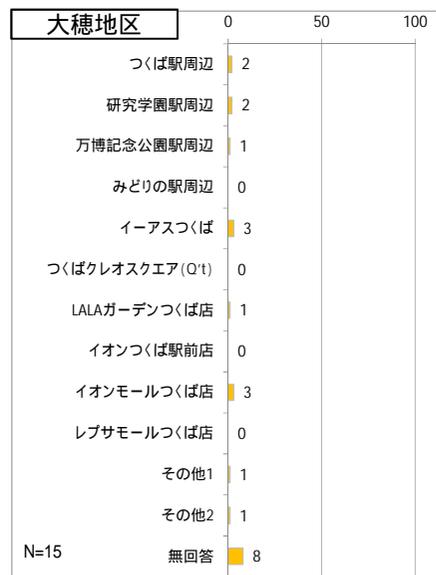
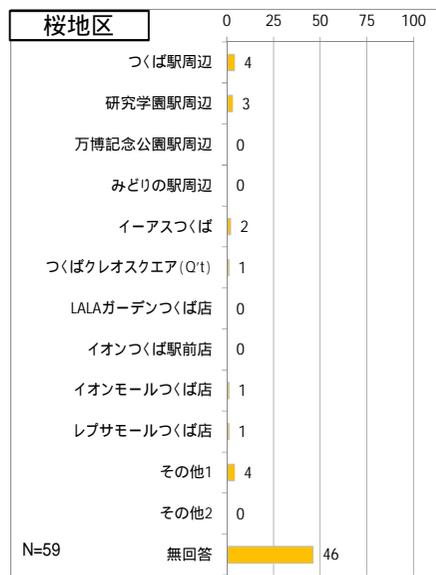


3. 調査概要（つくバス・つくタクの今後の方針について：路線バス・つくバス）

- 各地区ともサンプルが少ないが、つくば駅周辺と研究学園の割合が高い。

・希望目的地

路線バス・つくバス【問5】





平成29年度アンケート クロス集計（つくタク）

3. 調査概要 (市内の公共交通を利用するために必要な条件：つくたく)

- 各地区ともに、運行本数の増便、バス停までの距離の近さ、行き先の選択肢の増加、時間通りの運行の回答が多い。

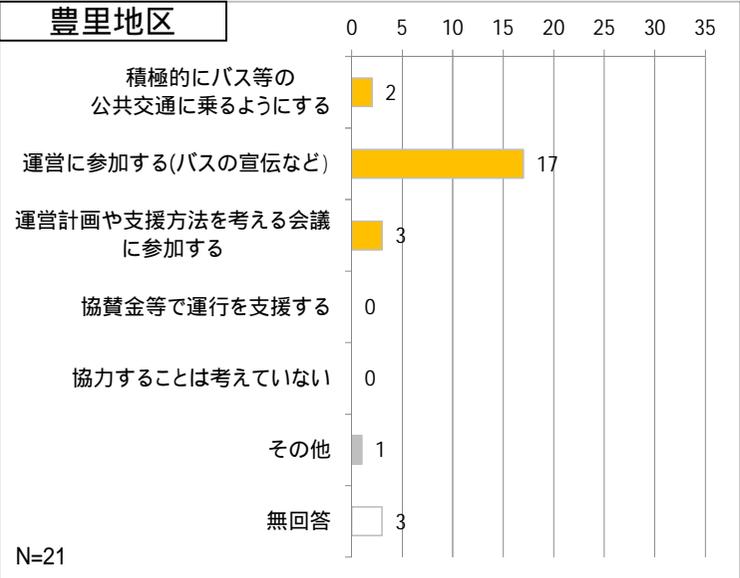
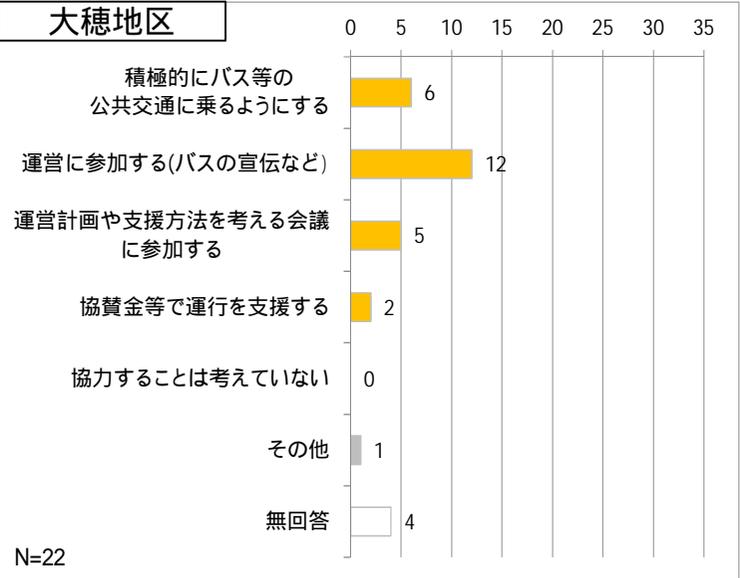
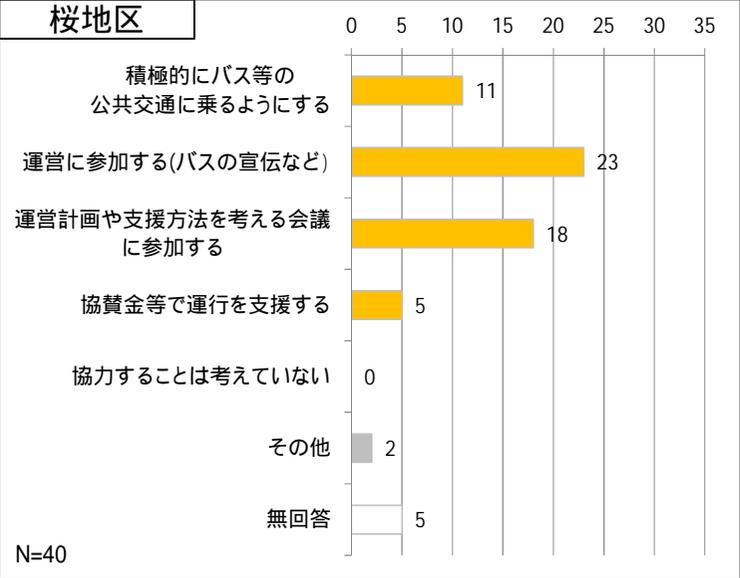
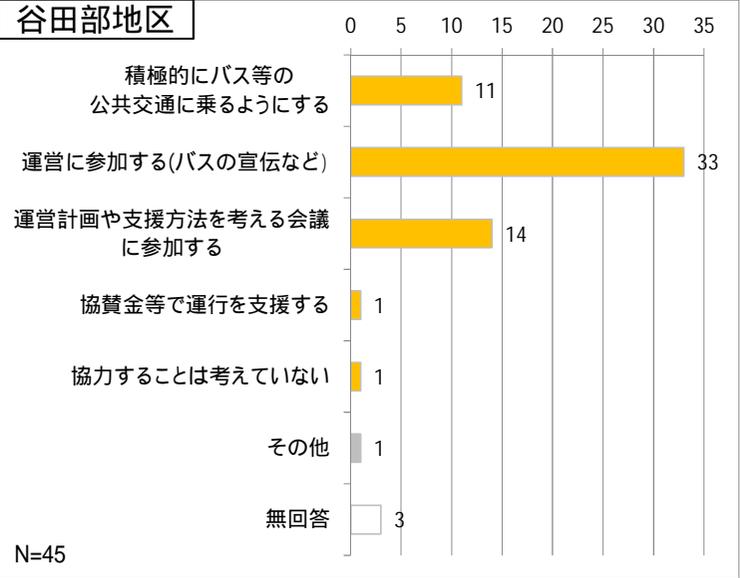
つくたく
[問3-7]



3 . 調査概要 (公共交通の運営に協力できること : つくタク)

- 各地区ともに、運営に参加する (バスの宣伝など) の割合が高い。

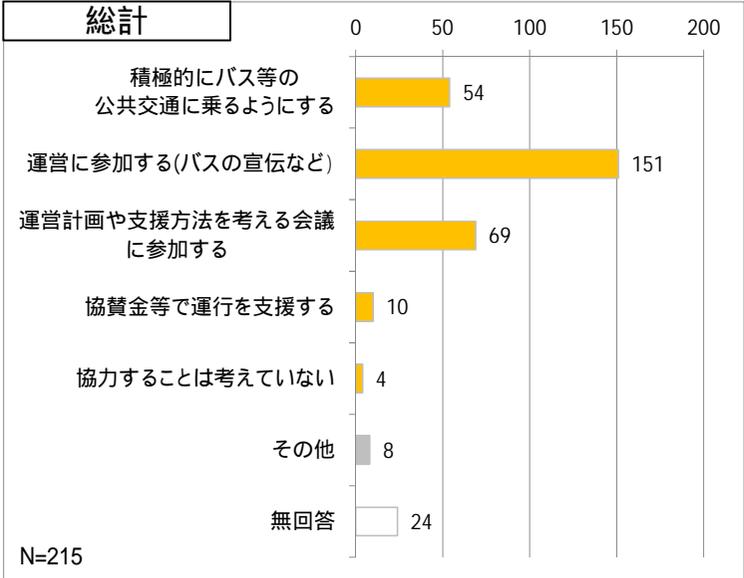
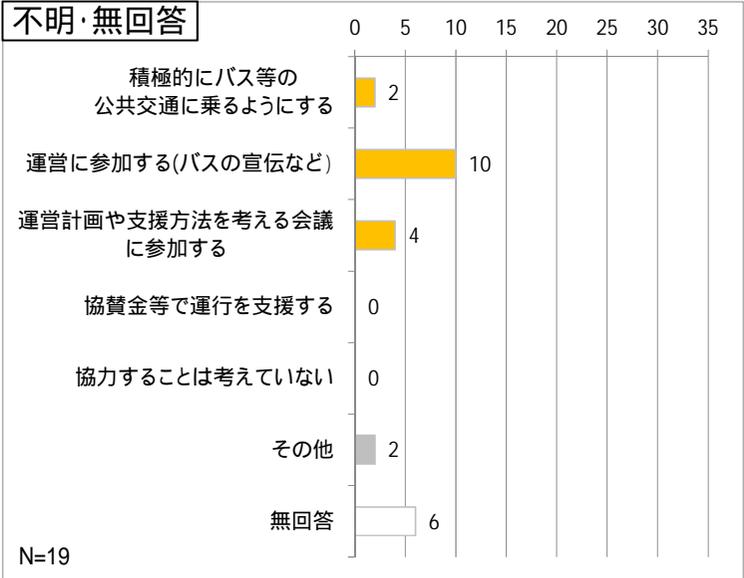
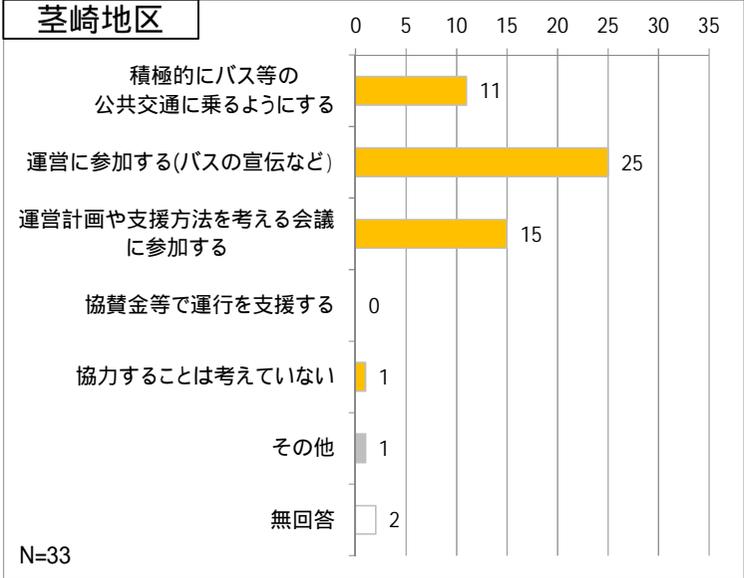
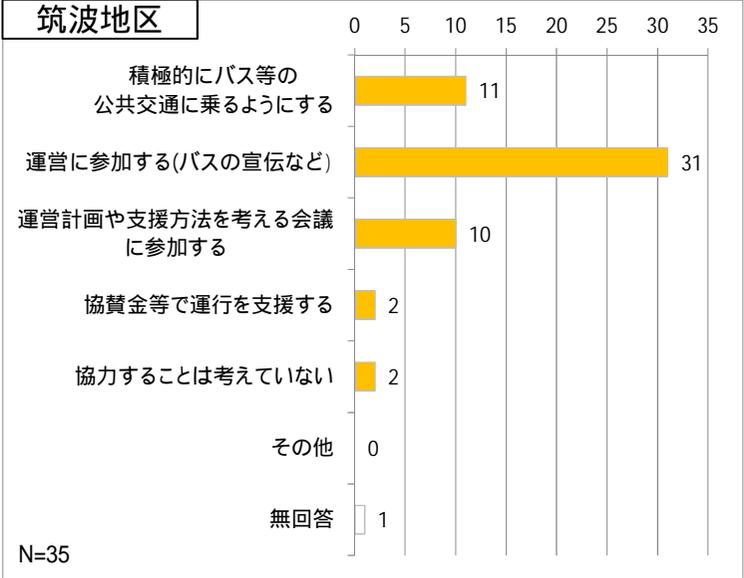
つくタク [問3-9]



3. 調査概要（公共交通の運営に協力できること：つくタク）

• 各地区ともに、運営に参加する（バスの宣伝など）の割合が高い。

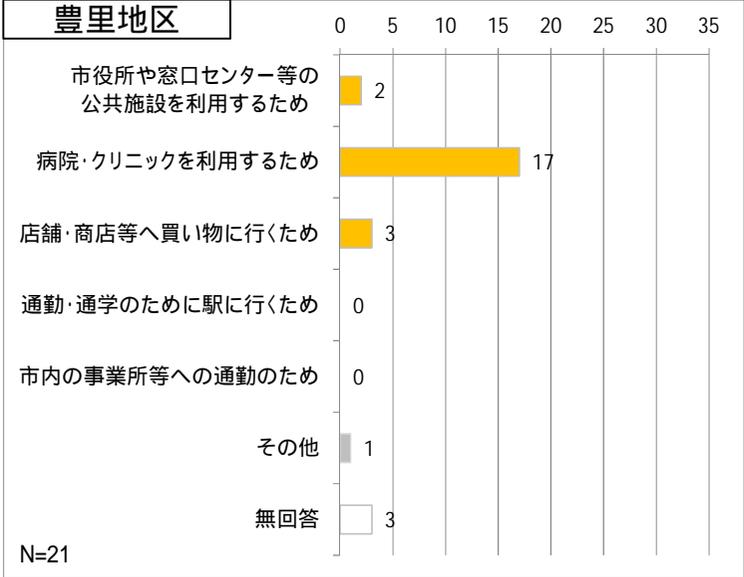
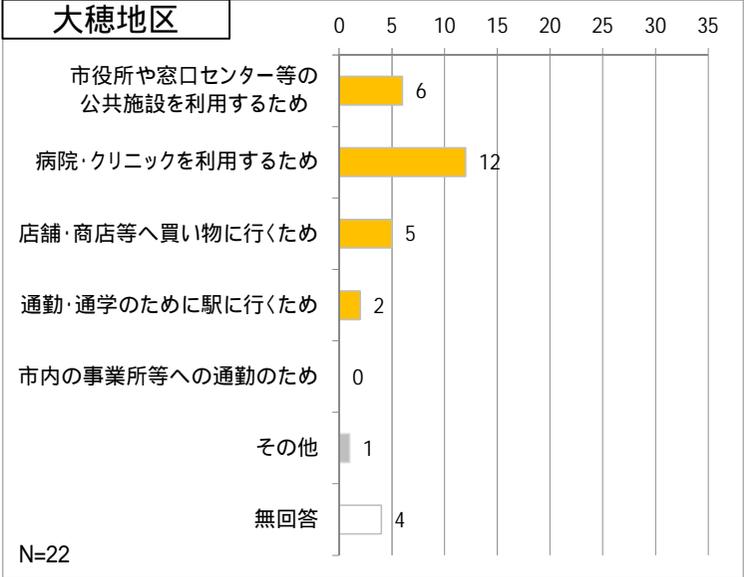
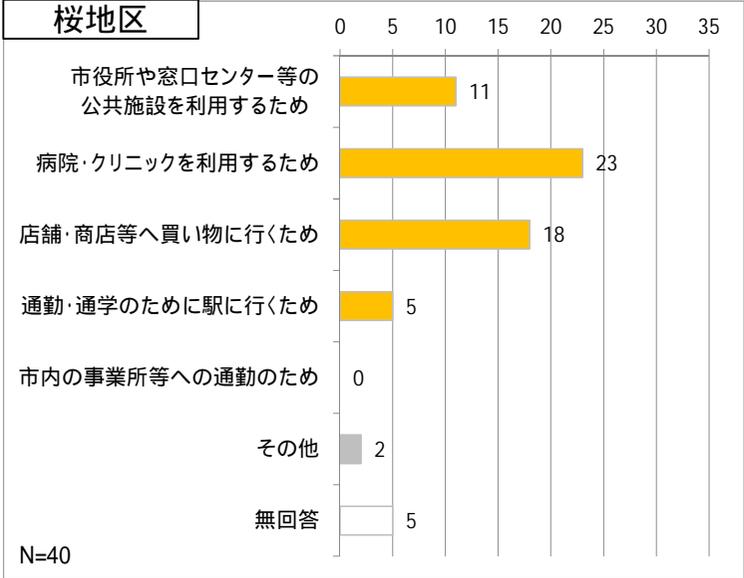
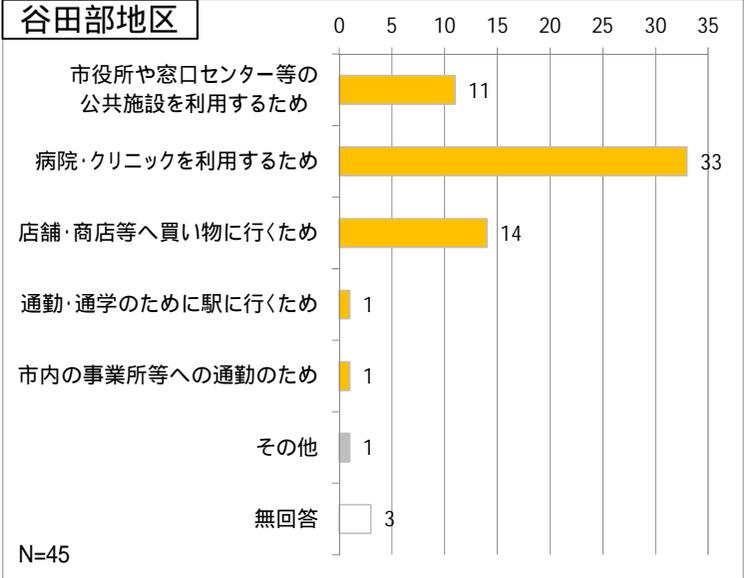
つくタク[問3-9]



3. 調査概要（バス停設置場所を考える際に重視する利用目的：つくたく）

• 各地区ともに、病院・クリニックを利用するための割合が高い。

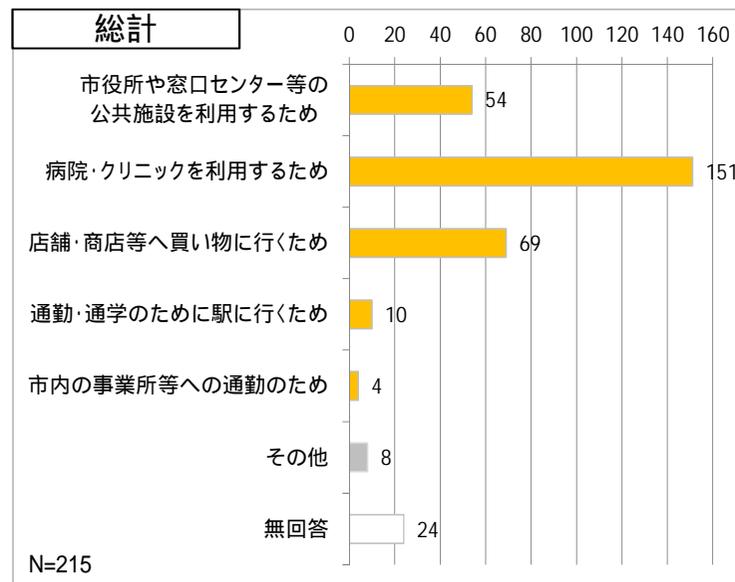
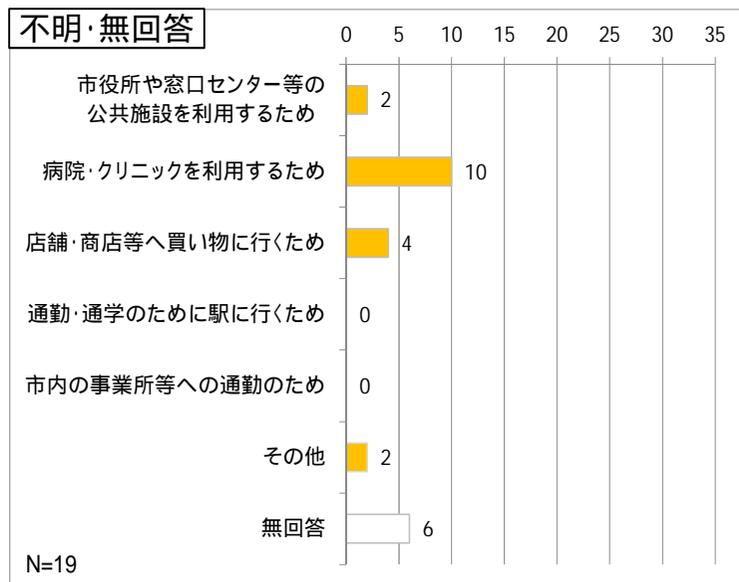
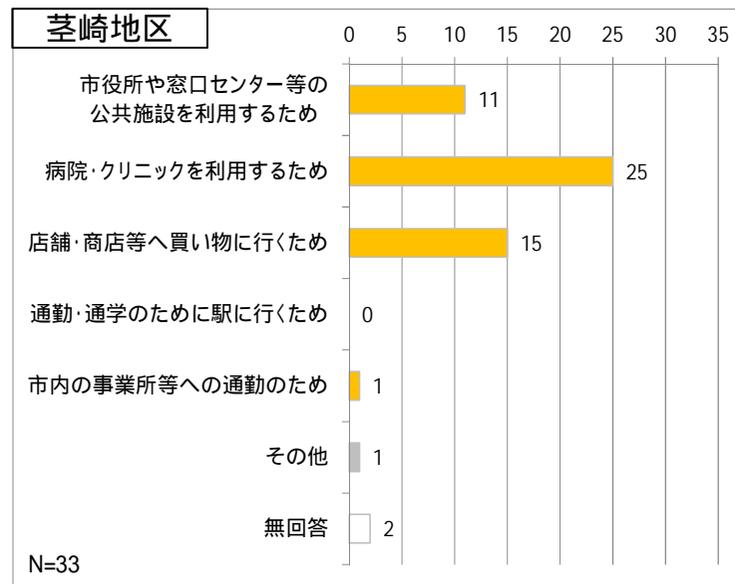
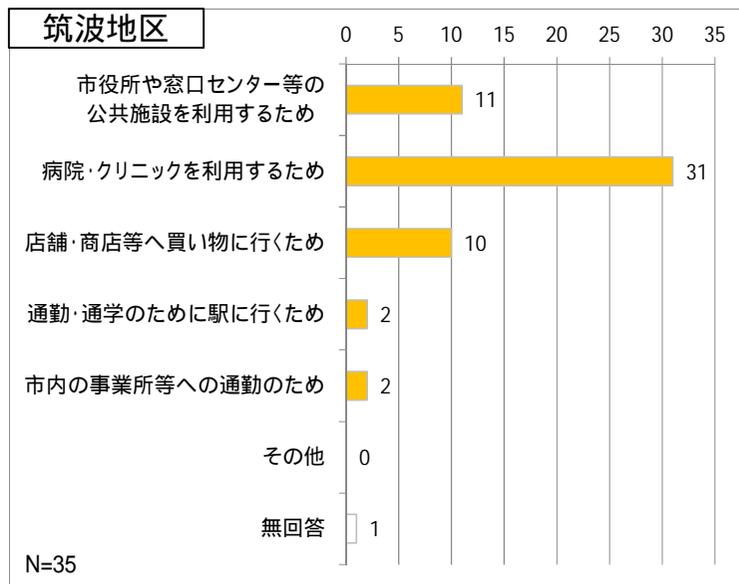
つくたく[問3-8]



3. 調査概要（バス停設置場所を考える際に重視する利用目的：つくたく）

- 各地区ともに、病院・クリニックを利用するための割合が高い。

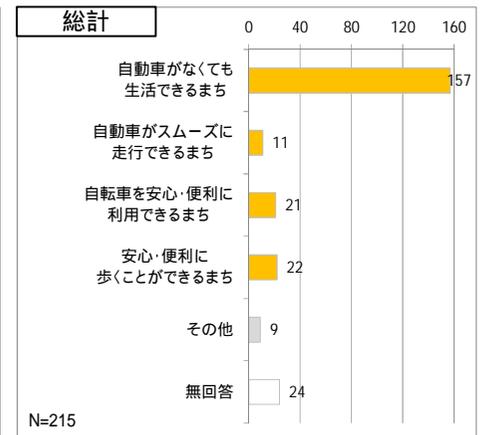
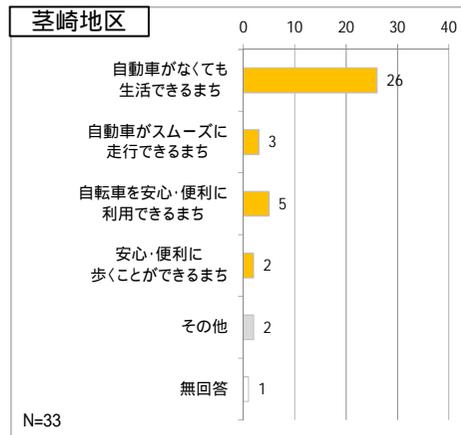
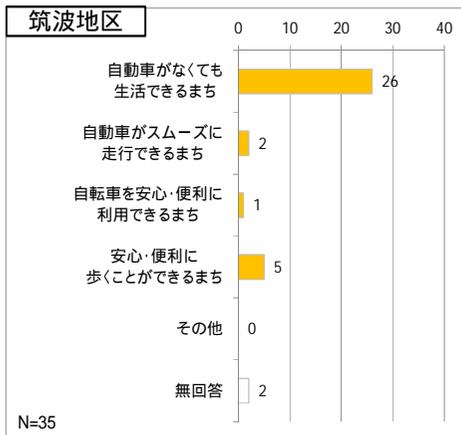
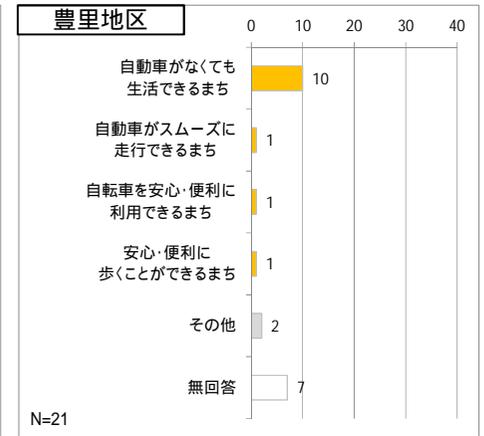
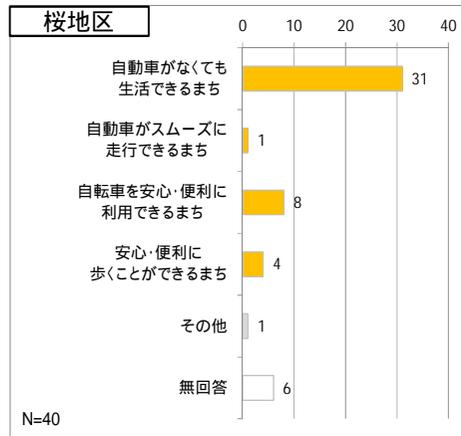
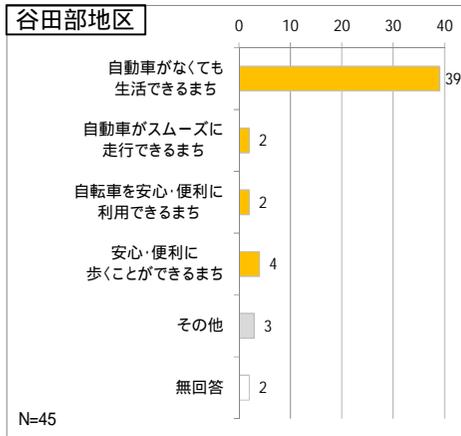
つくたく[問3-8]



3. 調査概要（望ましい公共交通について：つくタク）

• 各地区ともに、自動車がなくとも生活できるまちの割合が高い。

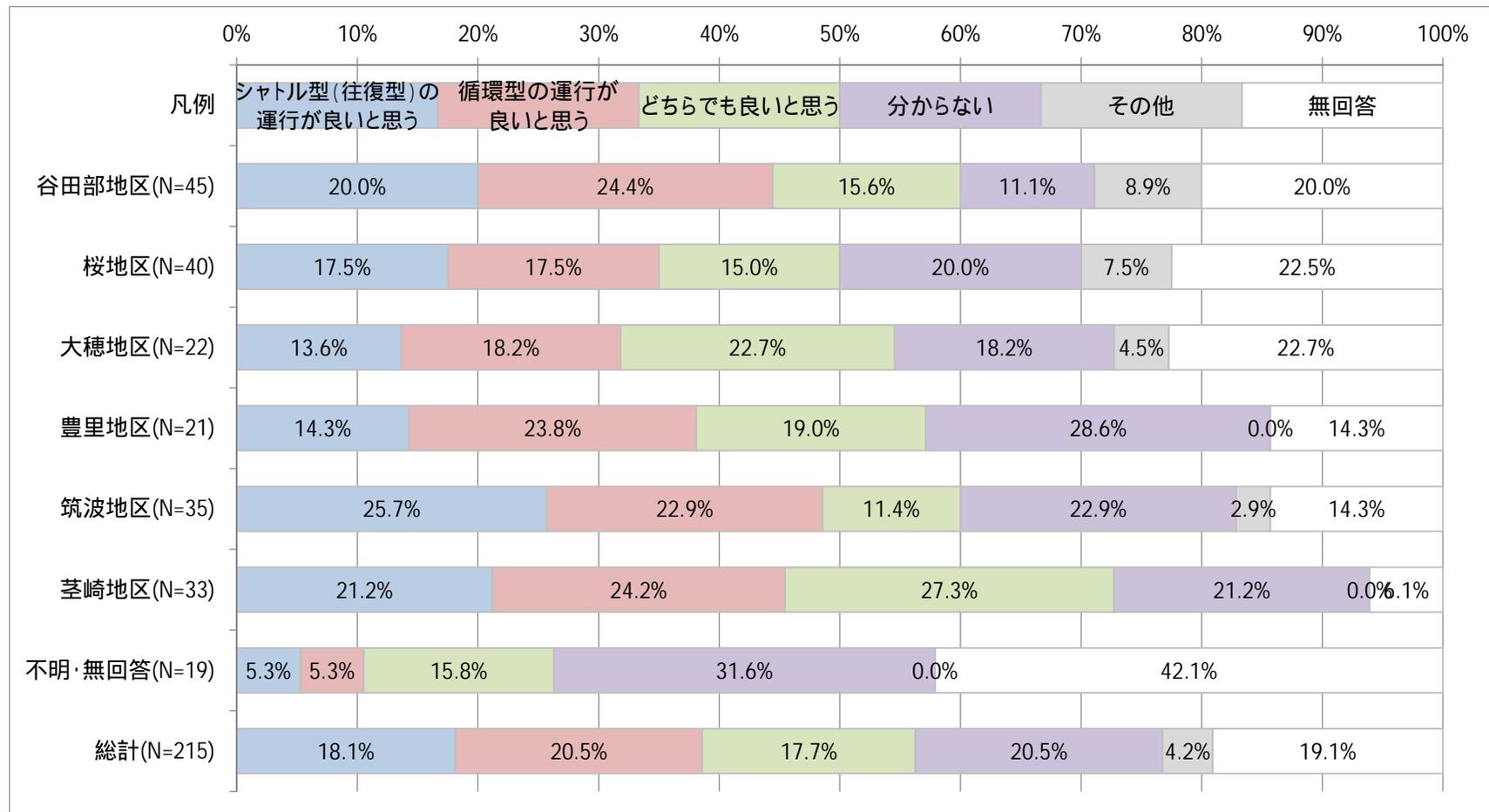
つくタク【問3-10】



3. 調査概要（つくバスの望ましい運行方法：つくタク）

- シャトル型と循環型の比較をすると、谷田部地区、大穂地区、豊里地区、荃崎地区では「循環型の運行が良いと思う」との割合が高いが、桜地区では同割合、筑波地区では「シャトル型の運行が良いと思う」との割合が高い。

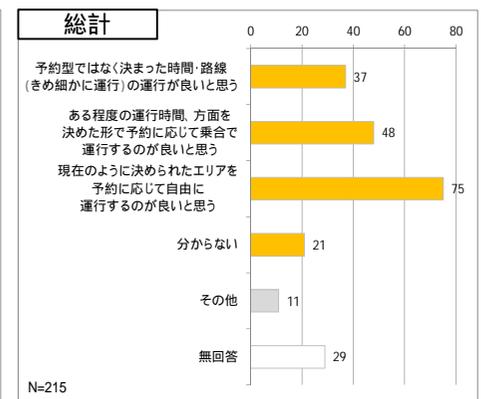
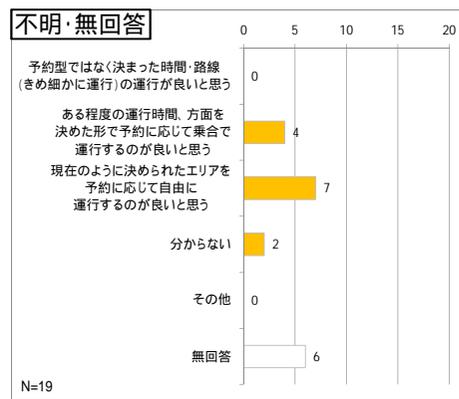
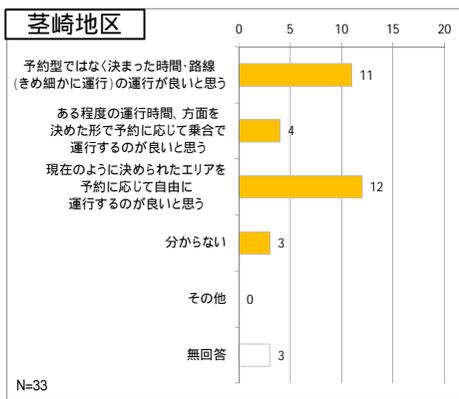
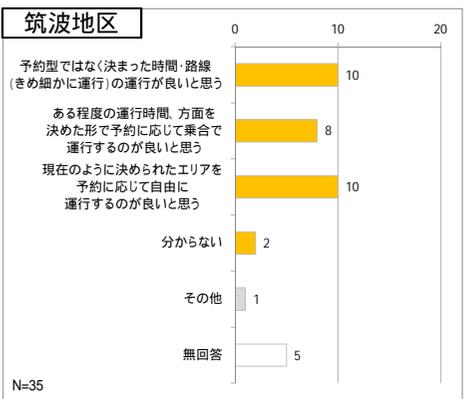
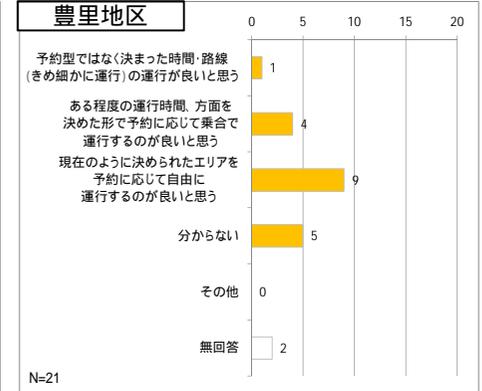
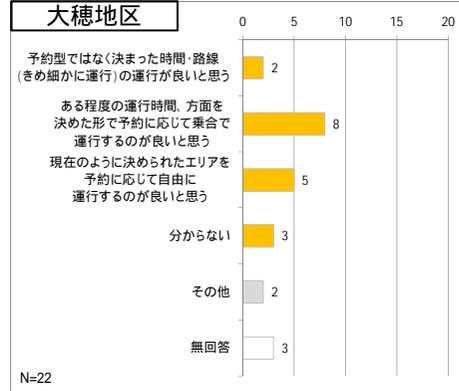
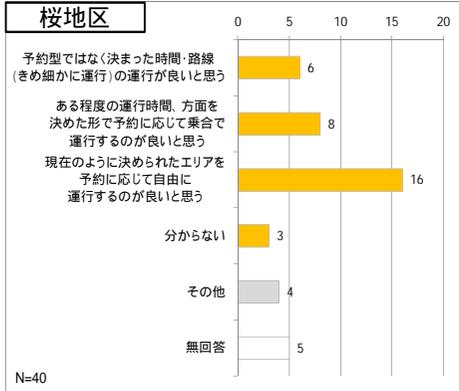
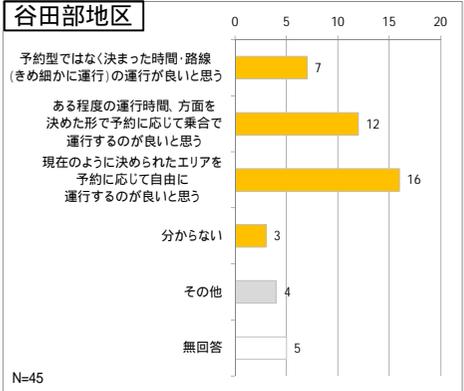
つくタク(問4-1)



3. 調査概要（つくタクの変更内容について：つくタク）

• 全体的に現在のように決められたエリアを予約に応じて自由に運行するのがよいと思うが多いが、大穂地区では、ある程度の運行時間、方向を決めた形での予約の応じた運行の方が回答が多い。

つくタク[問4-2]

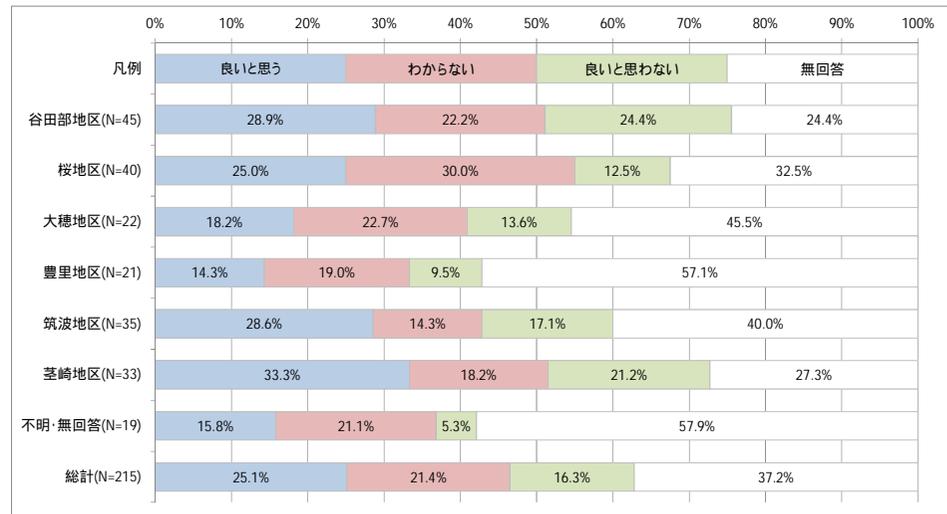
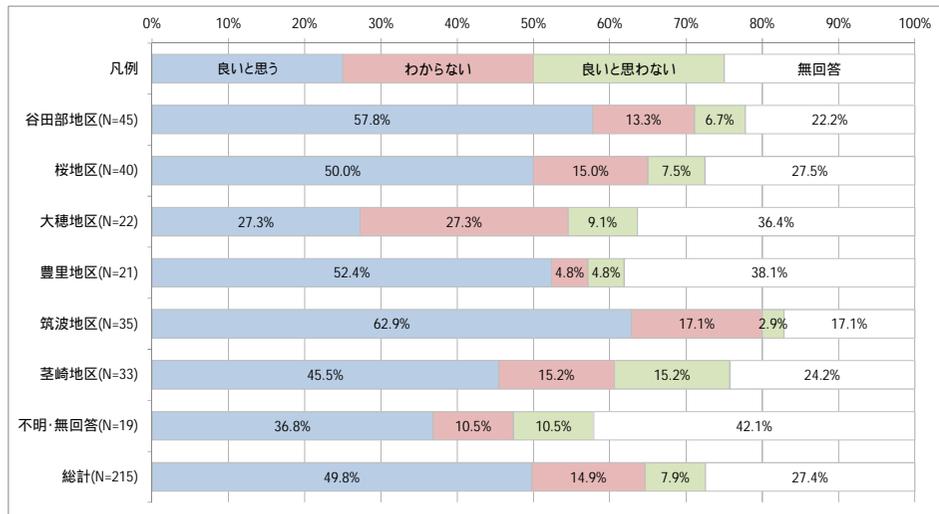


3 . 調査概要（手法の導入について：つくタク）

- 地区によって傾向が若干異なり、現在のつくタク継続は大穂地区で良いと思うとの回答が低く、桜地区では医療機関だけを巡回するつくタクを運行するについて、良いと思うの割合が低い傾向にある。

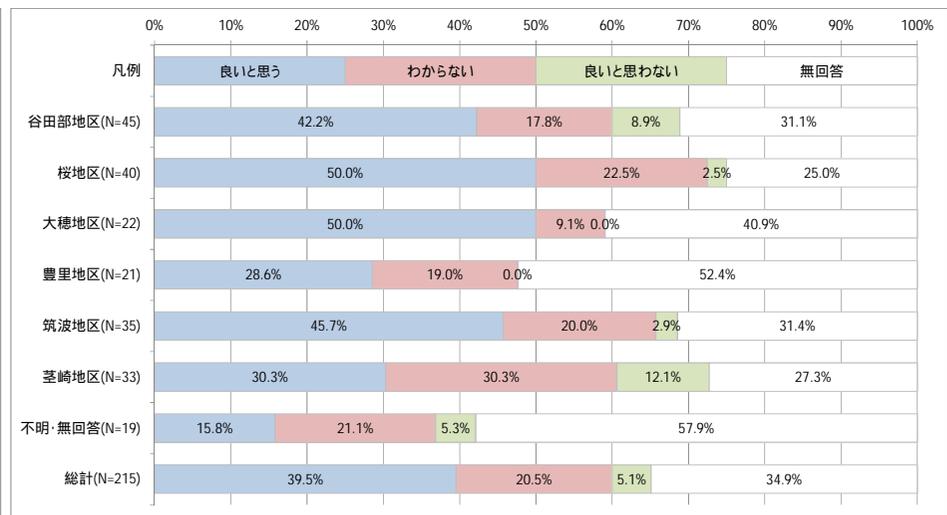
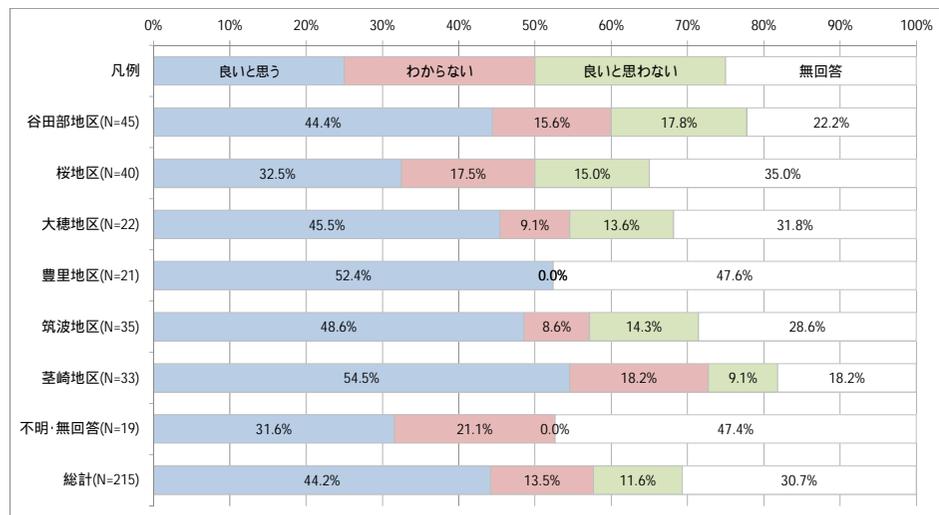
・現在のつくタクのサービスを変更せず継続して運行する つくタク[問4-3]

・定時路線で運行するつくタクを運行する



・医療機関だけを巡回するつくタクを運行する

・タクシー利用料金助成事業の充実

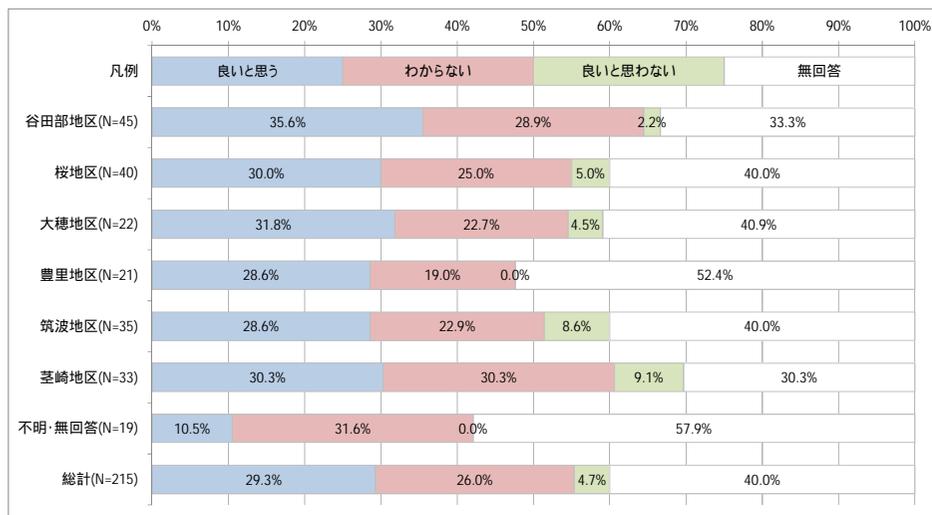


3 . 調査概要（手法の導入について：つくタク）

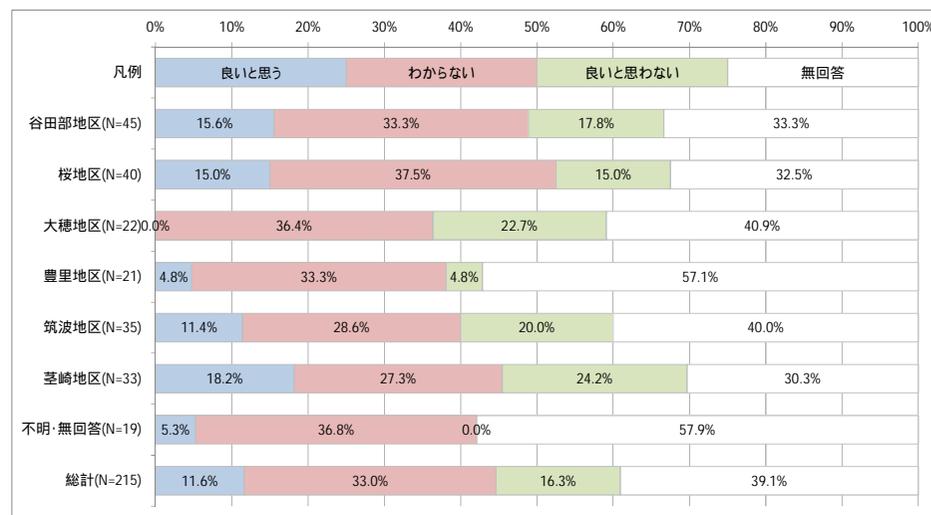
- 住民主体の公共交通サービスの導入については、良いと思う割合が低い、特に大穂地区と豊里地区での割合が低い傾向にある。

つくタク【問4-3】

・福祉有償運送を実施する団体を増やし、福祉有償運送サービスを利用できる人を増やす



・住民主体の公共交通サービスの導入

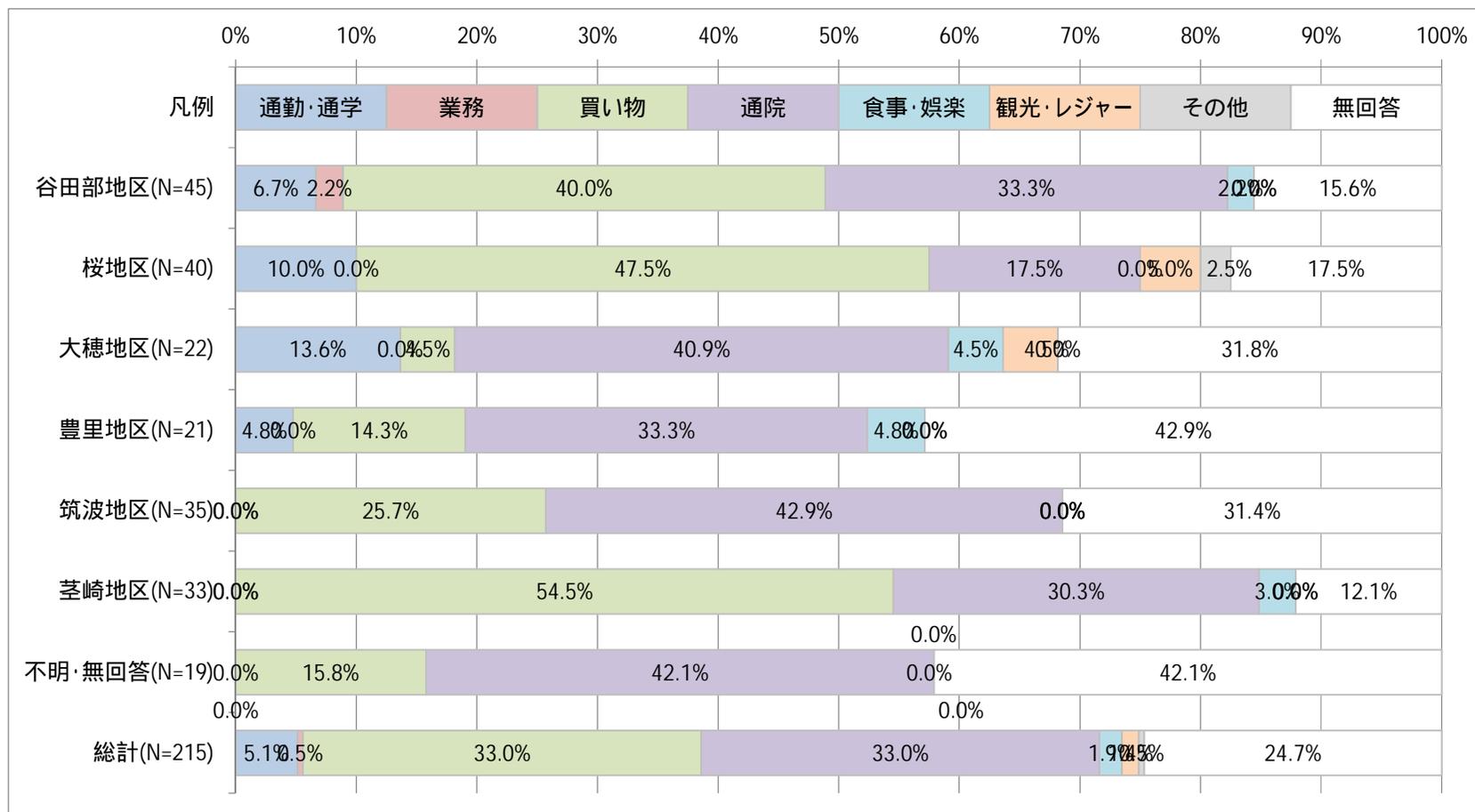


3 . 調査概要 (つくバス・つくタクの今後の方針について：つくタク)

- 谷田部地区、桜地区、荃崎地区では買い物の割合が高く、大穂地区、豊里地区、筑波地区では通院の割合が高い。

・利用目的

つくタク [問5]

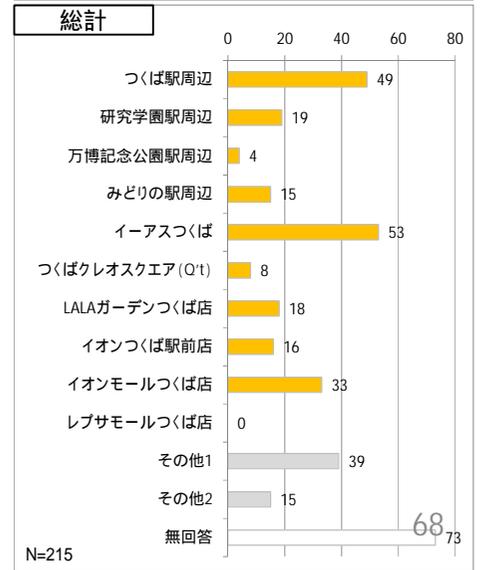
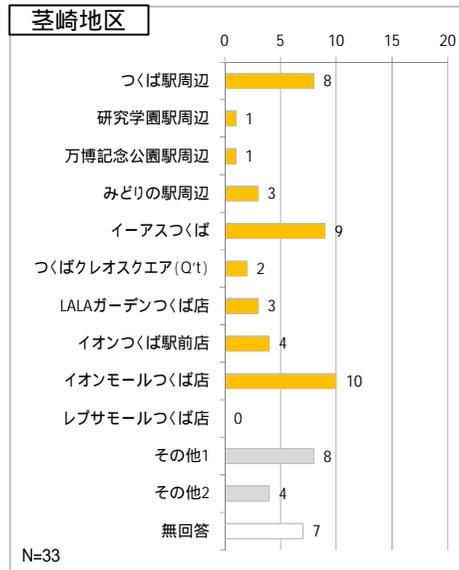
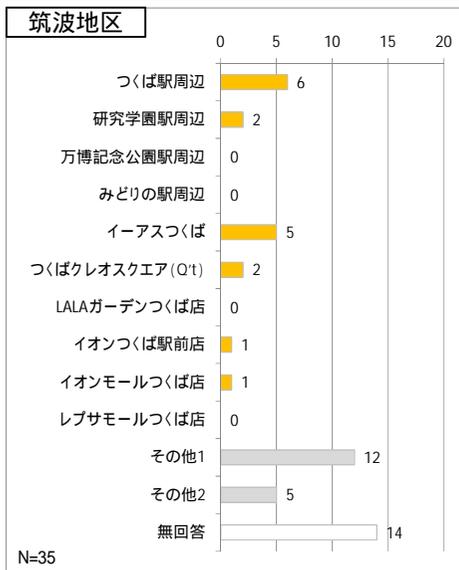
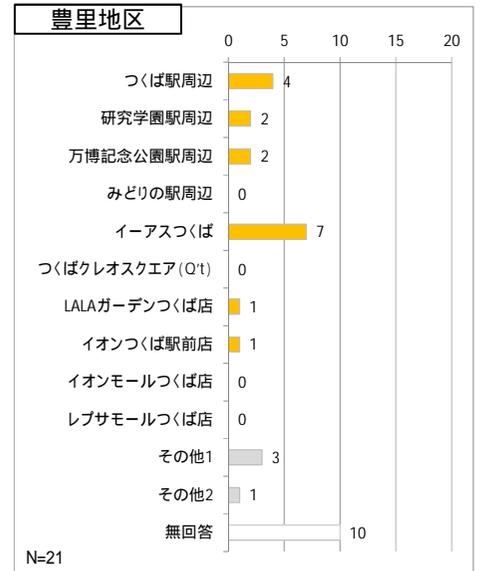
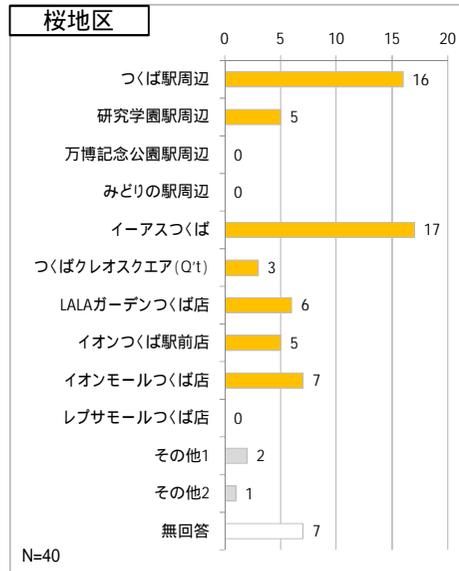
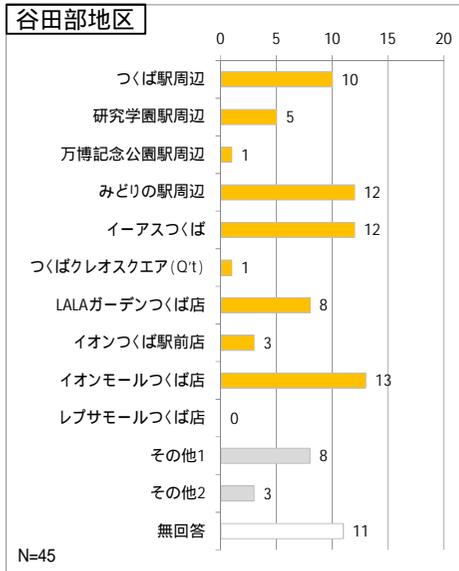


3. 調査概要（つくバス・つくタクの今後の方針について：つくタク）

・谷田部地区、荃崎地区ではイオンモールつくば、桜地区、豊里地区ではイースつくばの回答が多い。

希望目的地

つくタク[問5]

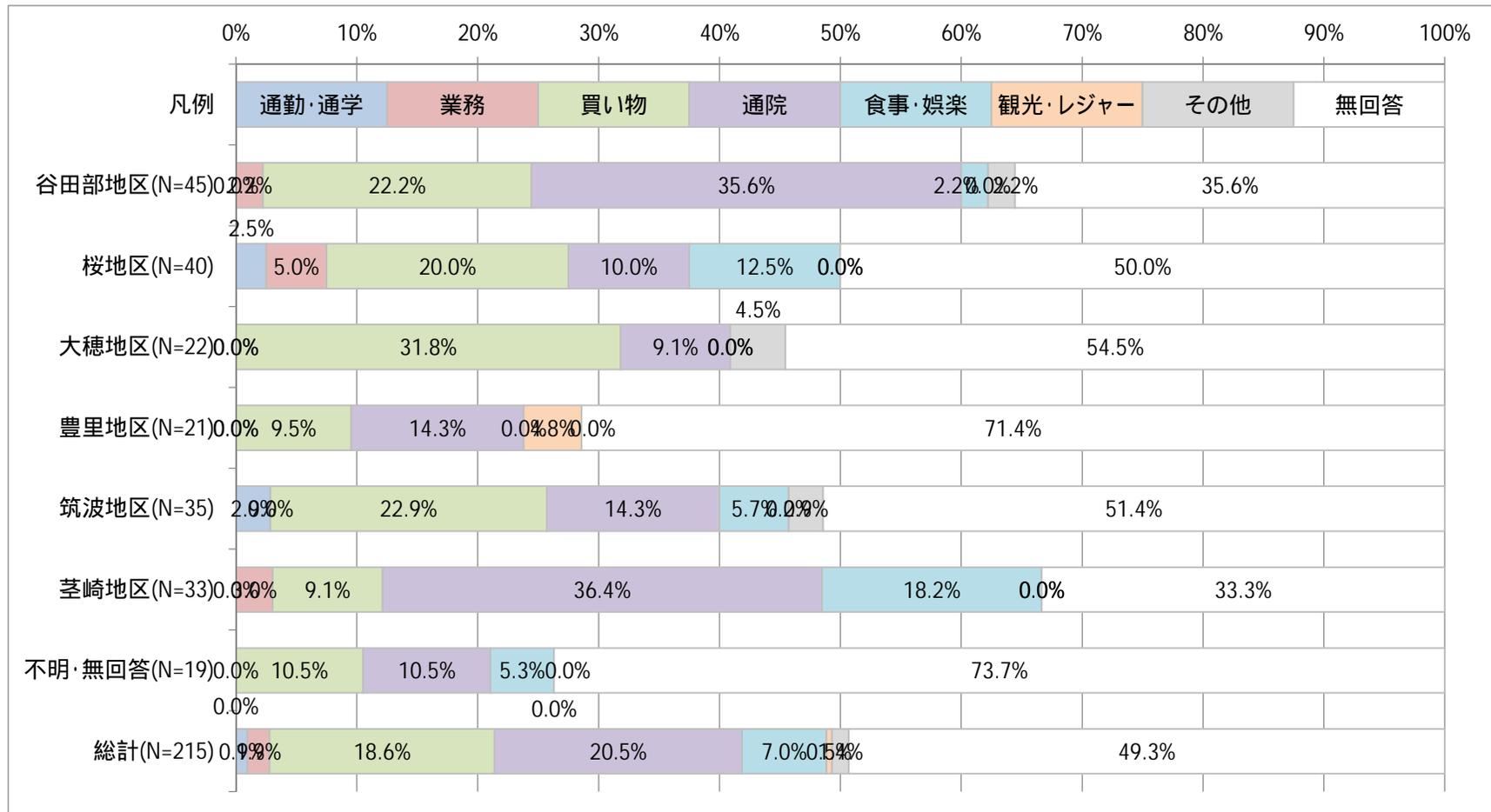


3. 調査概要（つくバス・つくタクの今後の方針について：つくタク）

- 桜地区、大穂地区、筑波地区では買い物の割合が高く、谷田部地区、豊里地区、荃崎地区では通院の割合が高い。

・利用目的

つくタク【問5】

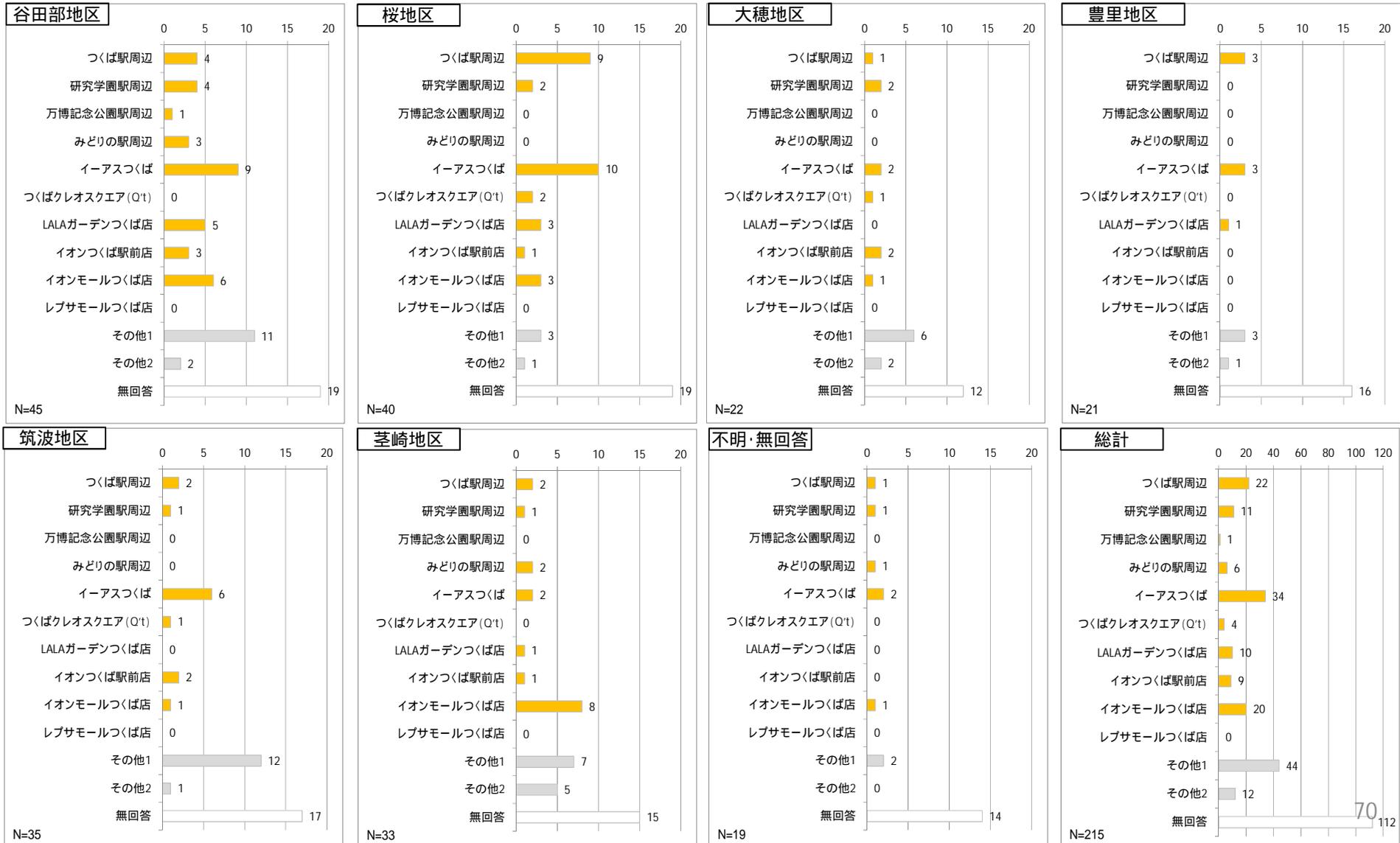


3. 調査概要（つくバス・つくタクの今後の方針について：つくタク）

・全体的にイーアスつくばの回答が多いが、谷田部地区ではイオンモールつくばの割合が高い。

・希望目的地

つくタク[問5]

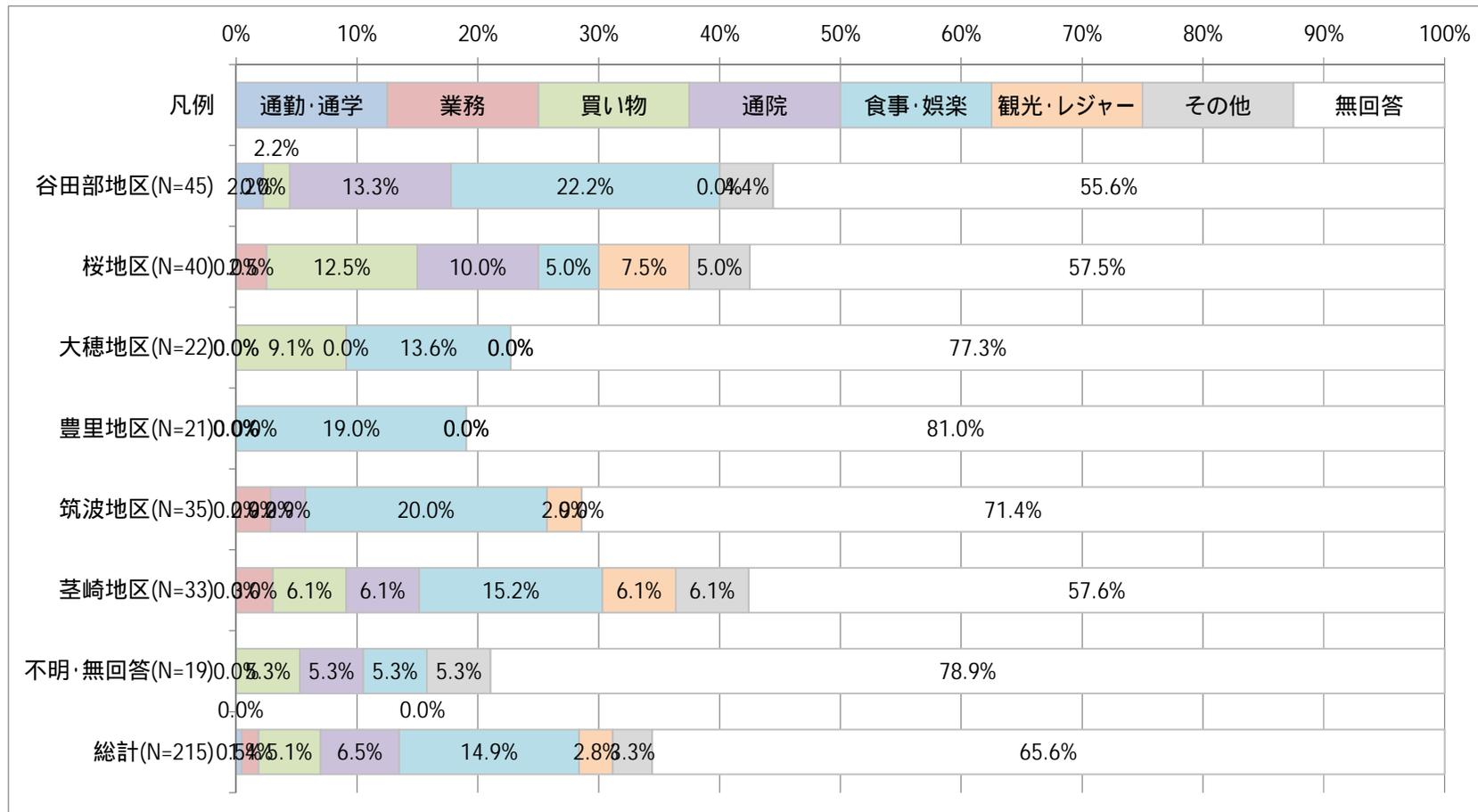


3 . 調査概要 (つくバス・つくタクの今後の方針について：つくタク)

- 回答は少ないが、全体的に食事・娯楽の回答割合が高い。

・利用目的

つくタク [問5]



3. 調査概要（つくバス・つくタクの今後の方針について：つくタク）

・回答は少ないが、つくば駅とイーアスつくばの回答が多い。

・希望目的地

つくタク[問5]



道路・公共交通体系及びT X沿線整備調査特別委員会 開催結果

実施日：平成 30 年 3 月 8 日（木曜日）

内容

利便性向上に関すること

- ・筑波地区や荳崎地区で予定する、支線型バスについては、他の地区においても要望が上がってくるだろう。
- ・牛久市に向かう広域連携バスを検討することはできないか。
- ・住民とともに利用促進の仕組みづくりを行うべきではないか。
- ・共通ポイントや特例ポイントの増設をしたほうがよいのではないか。
- ・免許返納対策で、福祉タクシー利用助成券を提供できないか
- ・つくたくの運用の工夫は重要である。新規顧客の獲得が課題である。

事業費などについて

- ・乗せる工夫が必要であり、利用者が多い路線については、民間に渡すことも必要。
- ・住民にコストを意識するような工夫が必要。
- ・この案を推進する立場で後押しは行いたい。
- ・予算については、最終的な執行部の判断としたい。
- ・新規路線への投資による費用負担増はやむを得ない。

高齢者対策・街づくりなどについて

- ・なるべくある程度の年齢で免許を返して、公共交通に乗り換えるという方向にしていくべき。
- ・中心地区活性化なども視野に入れた交通網を形成することが望ましい。
- ・交通網が形成されていれば、企業立地などにもプラスに働く。研究機関などの含めたルートを検討してほしい。
- ・利用者数などが未知数な新規路線については、ワゴン車などを最初に導入したらどうだろうか。
- ・上郷シャトルは、現行の上郷十字路から出たらよい。